

セルモノ等アレドモ何レモ理想的ノモノナラズ。感音装置ノ障碍ニ對スル補聽装置ハ絶對ニ之ナシ。

第八節 聽器保護法

第一 あんちふおん。

「あんちふおん」Amiphon (c) (續響器)トハ此目的ニ對スルモノノ一般名稱ナリ構造ノ要領ハ爆音其他強度ノ音響ヲ防止スルガ爲メ外聽道ヲ極メテ纖細ナル氣孔ヲ貽シ閉塞スルモニシテ、未ダ理想的ノ装置ナシ。

第二 海水浴ト聽器ノ保護。

海水浴ニ際シ慢性鼓膜穿孔アルモノノ中耳炎再發ヲ豫防スルニハ、含脂綿 (或ハ脫脂綿ニ油劑ヲ浸シタルモノ)ヲ輕ク耳孔ニ插入スベシ。

海水浴後ニ於ケル耳疾ノ最多數ハ外聽道炎ニシテ多クハ盯瞤耳垢ノ蓄積セルモノニ海水ノ浸

入スルガ爲メナリ、加之健康者ト雖耳孔ニ浸入セル海水ノ寒冷刺戟トナリ反射性ニ眩暈發作ヲ起シ溺死ノ原因トナルモノアリト云フ特ニ注意ヲ要ス。(海水浴後ノ中耳炎ハ外耳ヨリスル海水ノ浸入ヨリハ寧ロ咽頭ヨリスルモノ多シ)。

第九節 鼻清淨法

第一項 鼻洗法

噴霧法ヲ最モ安全トス、噴霧法ハクラウゼー氏噴霧器ヲ以テナスベシ。(鼻内ニ液體ヲ啜リ込ム方法ハ好マシカラズ)。

第二項 たんぼん法

鼻内ニ生ゼル結痂ヲ除去スル爲メニ行フ、綿花ニテ「たんぼん」ヲ作り、之ヲ鼻道ニ插入シ時ヲ經テ除去スベシ。

第十節 局所的藥物用法

第一項 塗布法

圖一十五第

子綿捲頭咽氏 シマトルハ



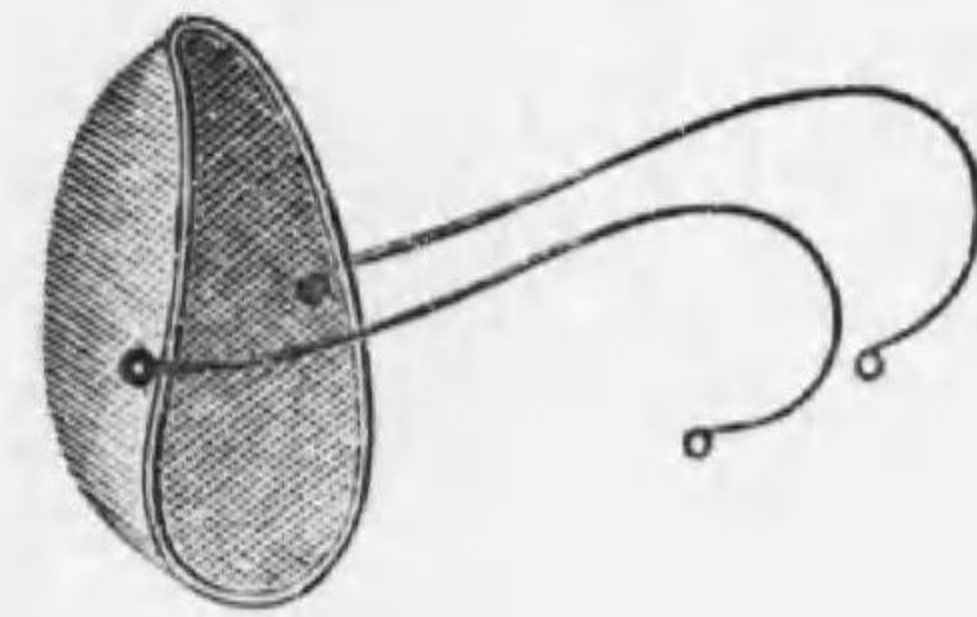
圖二十五第

子綿捲用鼻氏 ソイタストツゴ



圖三十五第

器入吸製線鑷



圖四十五第

氏 スグンニユリブ

器入注頭喉



第一 鼻内藥液塗布法。
細キ捲綿子ヲ以テ可成粘膜表面ニ竝行シテ塗布スベシ、通規トシテハ綿棒ヲ下鼻道ニ沿ヒテ

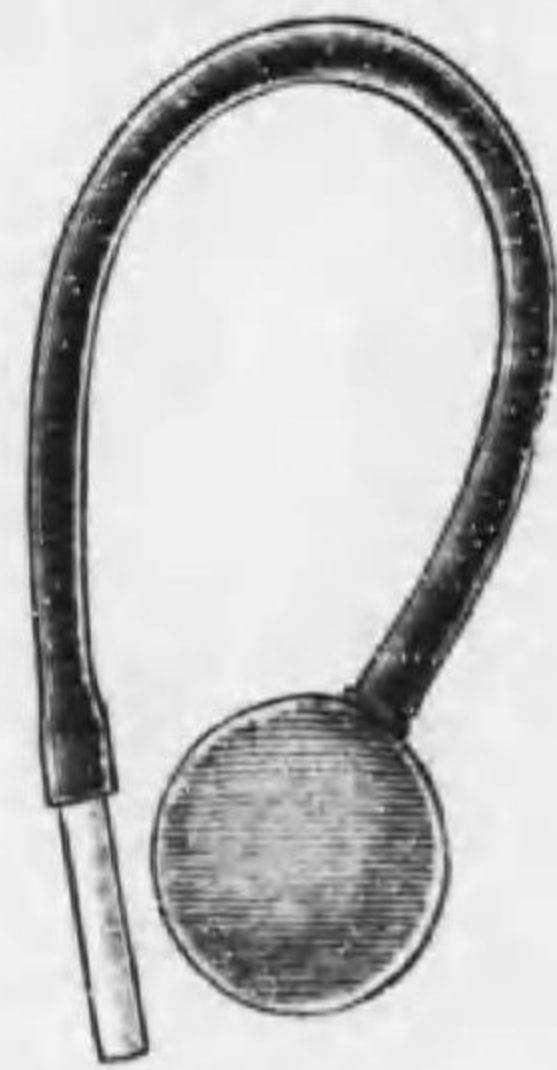
圖五十五第

子綿捲頭喉



圖六十五第

器粉吹用耳氏 トルオツベ



插入シ抽出ノ際總鼻道中鼻道ニ塗布スルヲ良シトス、然ル場合ニハ鼻内ニ於テ障礙ニ接セズ且ツ噴嚏ヲ發スルコトナシ。

第二 咽頭藥液塗布法。

ハルトマン氏捲綿ヲ以テ先ヅ扁桃腺部ニ塗布シ、後壁及ビ上咽頭ニ塗布ス、舌根ハ接觸ニヨリ咬扼運動ヲ起シ易キ部位ナルガ故ニ最後ニ行フ。何レニシテモ粘膜面ニ接觸スルニ止メ決シテ壓迫スベカラス。

第三 喉頭内藥液塗布。

何レモ喉頭鏡指導ノ下ニ行フ、決シテ暗中ニ處置スベカラ

圖七十五第

器霧噴氏 セウラク



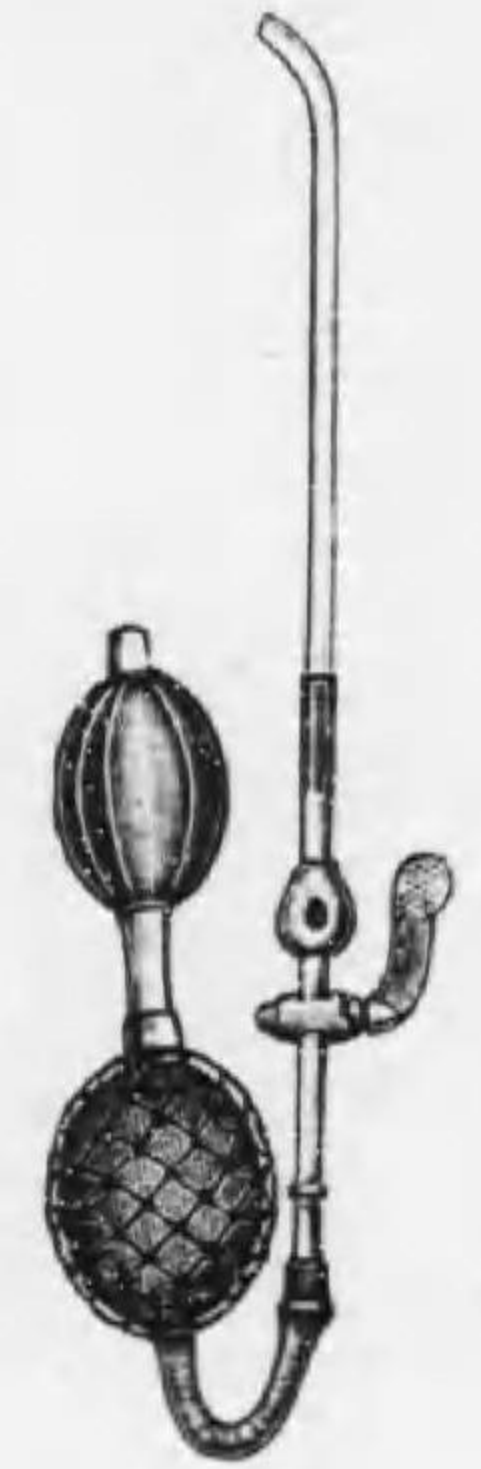
治療技術編

ズ。

非觀血的處置

第二項 耳内吹粉器

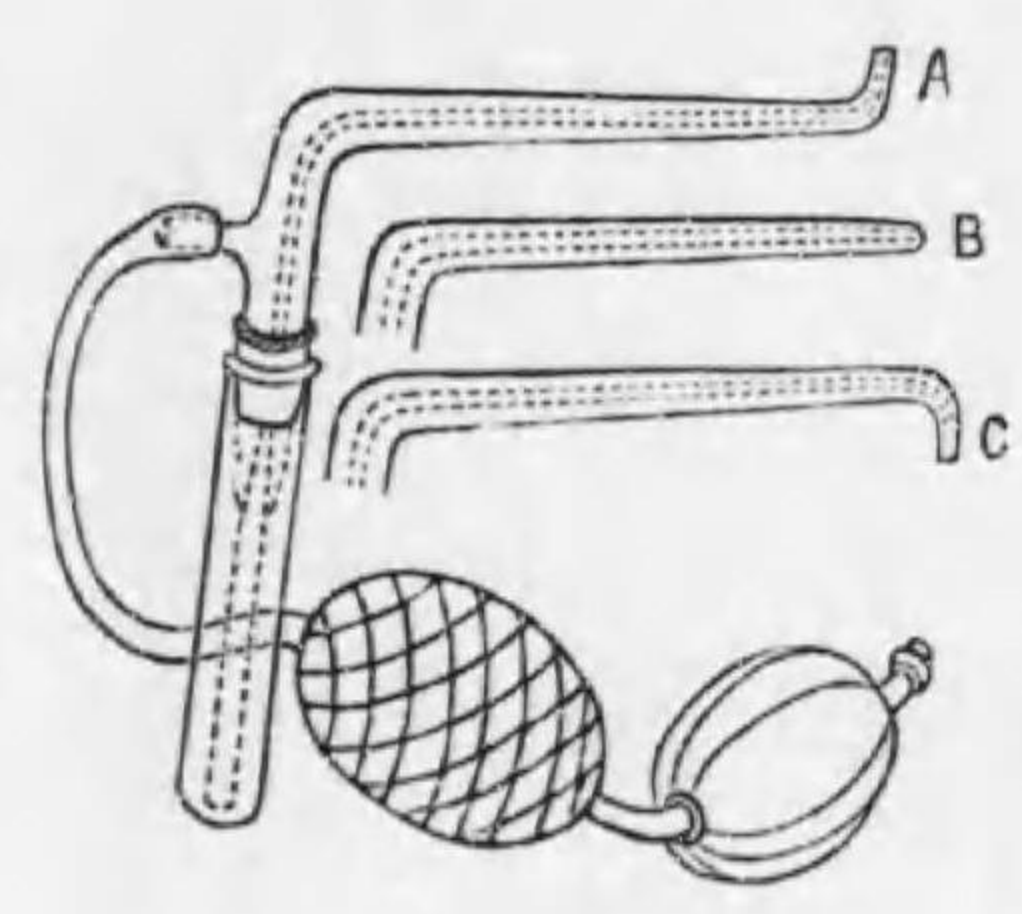
圖八十五第 氏トツミユシ 器粉吹



鼻用吹粉器・喉頭用吹粉器等ヲ以テ夫々所要ノ個所ニ粉末ヲ撒布ス。鼻内或ハ喉頭内ニ撒布スル場合ニハ「オー」ト發音セシメツツ行フ、然ラザレバ吸氣ニ混シ咳嗽刺戟トナル。

第三項 噴霧法

圖九十五第 氏ハバルゼーキ 器霧噴



鼻洗ノ目的ニ行フ噴霧法ハ已ニ述ベタルガ如シ(第一七五頁參照)其他藥液撒布ノ目的ニモ亦之ヲ行フ。キーゼルバハ氏噴霧器ハ嘴管ヲ交換スレバ鼻腔咽頭ニ應用スルヲ得テ便利ナリ。

噴霧法ハ藥液使用ニ際シ接觸刺戟ヲ與フルコト尠ク塗布法ニ勝レリト雖、粘膜ノ極度ニ腫脹セル場合ニハ彼ニ及バズ。

第四項 喉頭注入法

喉頭注入器ヲ以テ喉頭鏡使用ノ下ニ注入ス、但シ藥液ノ聲門ヲ超ヘテ氣管ニ侵入スル場合ニハ咳嗽聲門痙攣等不快ノ現象アリ必ズ發聲セシメツツ行フベシ。

第五項 鼻内たんぼん

第一 壓搾たんぼん 鼻入口部ノ濕疹・髮瘡・癬等ニ行フ、可及的入口部ニ堅ク綿花たんぼんヲナスベシ。
第二 清淨たんぼん。臭鼻症痂皮除去ニ行ハル、捲綿子ニ綿花ヲ卷キツク鼻腔内ニ插入シ一日ヲ經テ抽出ス(鼻内清淨法參照)。

治療技術編

第三 止血たんぼん(救急療法衄血ノ部ニ詳ナリ)。

第六項 腐蝕法

特發衄血ヲ止血スル目的ニテキールバハ Kieslbach 氏局所ヲ腐蝕セント欲セバ灼熱シタル消息子ニ結晶くろーむ酸ヲ蝕解附着セシメ其部位ヲ腐蝕ス、藥品使用ノ後ハ其過剰ヲ食鹽水ヲ以テ中和ス。

創面ノ無力性肉芽ヲ腐蝕スルニハ一〇%硝酸銀水或ハ硝酸銀桿ヲ以テス。

第七項 吸入法

蒸汽吸入蒸散吸入ノ外揮發性藥液ヲ鑛線吸入器ニ依テ吸入セシムルコトアリ。

第八項 鼓膜按摩法

應用 中耳ノ加答兒性分泌物ノ吸收・癒着剝離・耳硬化症。

實施 ルーツエー Lucare 氏壓迫消息子或ハテルスタンシ氏鼓膜氣動按摩器ヲ以テス。

第十六圖

氏—エツール
子息消迫壓



第十六圖

氏シンタスルデ
器摩按膜鼓式轉廻



第九項 吸引療法

目的 耳科ニ於テハ急性中耳炎ノ排膿不良或ハ急性乳嘴突起炎ヲ惹起スル懼アル時。鼻科ニ於テハ急性副鼻腔炎。

實施 耳ノ吸引ニハジーンダ氏漏斗ヲ應用シ之ヲ外聽道ニ氣密ニ插入シ輕キ壓ニテ吸引ス。鼻科ニ於テハ鼻入口ニ適應スル嘴管ヲ插入シ水流「ほんぶ」或ハ吸引「ほんぶ」ヲ以テ吸引ス、此際

「オート」ト發音スルカ或ハ嚙下運動ヲ行ハシメ口蓋帆ヲ咽頭後壁ニ密著セシム、但シ歐氏管ニ陰壓ノ傳ハリ患者ガ不快ノ感ヲ惹起セル際ハ中止スベシ。

第五章 外科的療法

第一節 水蛭ノ帖用

應用 急性乳嘴突起炎。

方法 局所ヲ清潔ニシ消毒シテ水蛭ヲ廣口瓶ニ容レ皮膚ニ密著セシム。

第二節 耳茸絞斷法

適應症 耳茸。

術式 ワイルド Weild 氏耳用蹄係ヲ以テ根



圖二十六第
氏ドルイワ
係蹄用耳

部ヨリ絞斷ス。

第二節 鼓膜穿刺術 Paracentesis

適應症 急性化膿性中耳炎ニシテ發熱高度耳痛劇甚ナル時、或ハ發病後一週ヲ經テ未ダ自ラ穿孔ヲ來サザル時、或ハ乳嘴部壓痛劇シキ時。

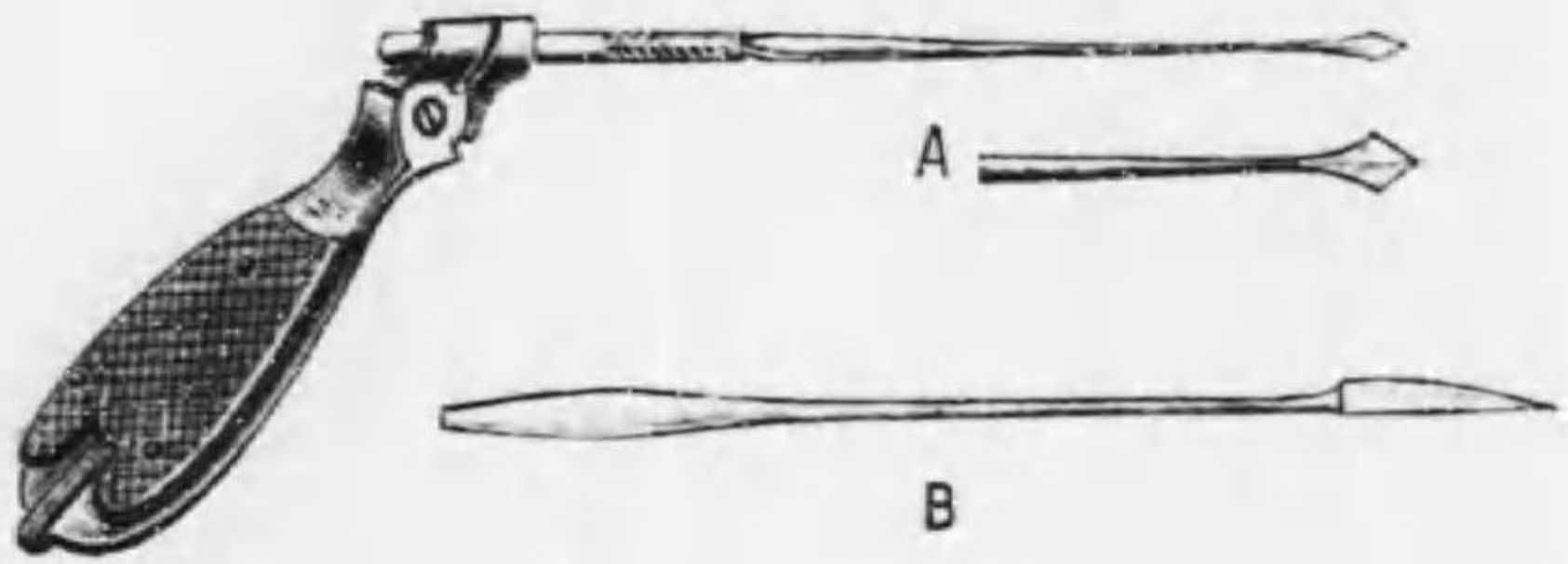
方法 局所麻醉ニテ充分ナリ、不安ノ患者又ハ小兒ニハ吸入迷朦法ヲ要ス。

患者ハ仰臥位ニ於テ頭部ヲ稍々健側ニ廻轉シテ横臥セシム。

穿刺刀ハ何レノ式ヲ以テスルモ可ナリ、刀ヲ加温シ(之レ金屬ガ冷氣ノ爲メ外聽道内ニテ雲霧ヲ生ジ視野ヲ不明ナラ

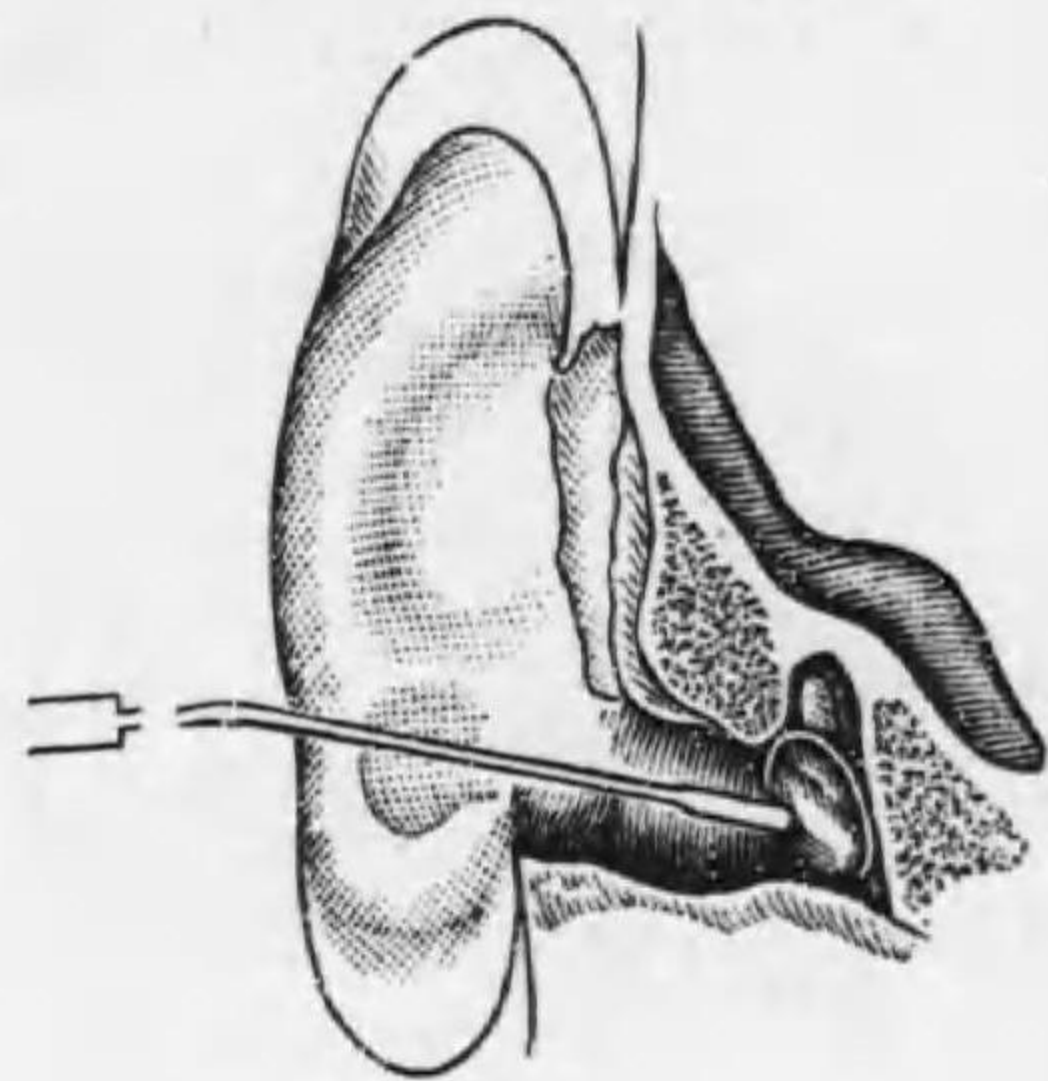
圖三十第六第

氏ンアリメ・ドルハクッルブ
針刺穿膜鼓



治療技術編

圖四十六第
術刺穿膜鼓



嘴突起炎ヲ誘發スルコトアリ。

シムルヲ防止スルガ爲ナリ)鼓膜ヲ切開ス。
切開ノ部位、後下方(又ハ後上方ニ於テ後皺襞ノ外三分ノ一部)ヲ標準ニ鼓膜輪ト竝行ニ上方ヨリ下方ニ向ツテ行フ、切創ハ小ニ過グルヨリハ却テ大ナルヲ良シトス。危険トシテハ横竇靜脈壁ノ損傷ナル記載アレド實際ニ於テ之ニ遭遇スルコトナシ。

穿孔ノ直後ニ通氣法ヲ行フ學者アリ、然レドモ間々乳

第四節 小聽骨剔出術

適應症

慢性化膿性中耳炎ニ於ケル小聽骨ノかりえす。

術式

A、槌骨剔出。〔第一節〕槌骨柄ノ遊離 鼓膜ヨリ槌骨ヲ離斷ス、〔第二節〕鼓膜張筋腱ノ切

圖五十六第

氏一エチルワユシ

刀斷切腱



斷、シユワルツエー *W. Schwaninger* 氏腱切斷刀ヲ以テ槌骨柄ノ後方ヨリ刀刃ヲ送り之ヲ前方ニ九十度廻轉ス、〔第三節〕ハルトマン氏鉗子ヲ以テ遊離セル槌骨頸ヲ把持シテ摘出、

B、砧骨ノ剔出。クレッチマン或ハルーデウキヒ氏槌骨鉤ヲ槌骨除去ノ空隙ニ前方ヨリ插入、槌骨體ノ上方ニ其鉤ノ匙狀部ヲ送り之ヲ後方ニ九十度廻轉ス。

第五節 乳嘴突起鑿開術

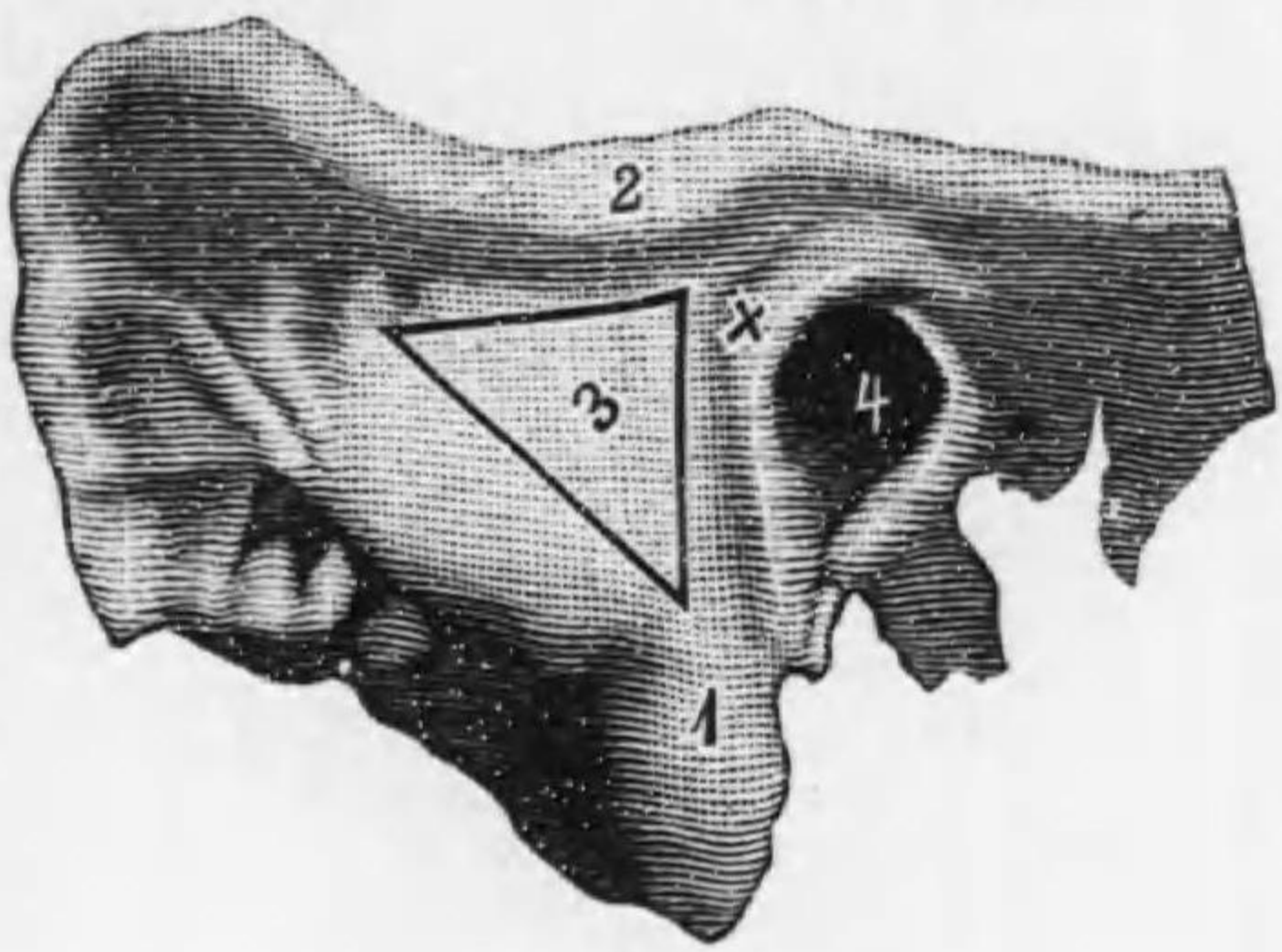
適應症

急性乳嘴突起炎(但シ眞珠腫ヲ除ク)ニシテ耳後膿瘍ヲ作ラザル場合ト雖モ急性中耳炎發病後四週ヲ經テ排膿多量ナル場合又ハ乳嘴部ニ壓痛アル場合或ハ迷路症候アル場合ニハ敢行スベシ。

術式

シユワルツエー氏手術。〔第一〕皮膚切開、耳翼附著輪ノ後方約二分ノ一仙ニテ之ニ沿ヒ

第六十六圖
乳嘴突起手術三角



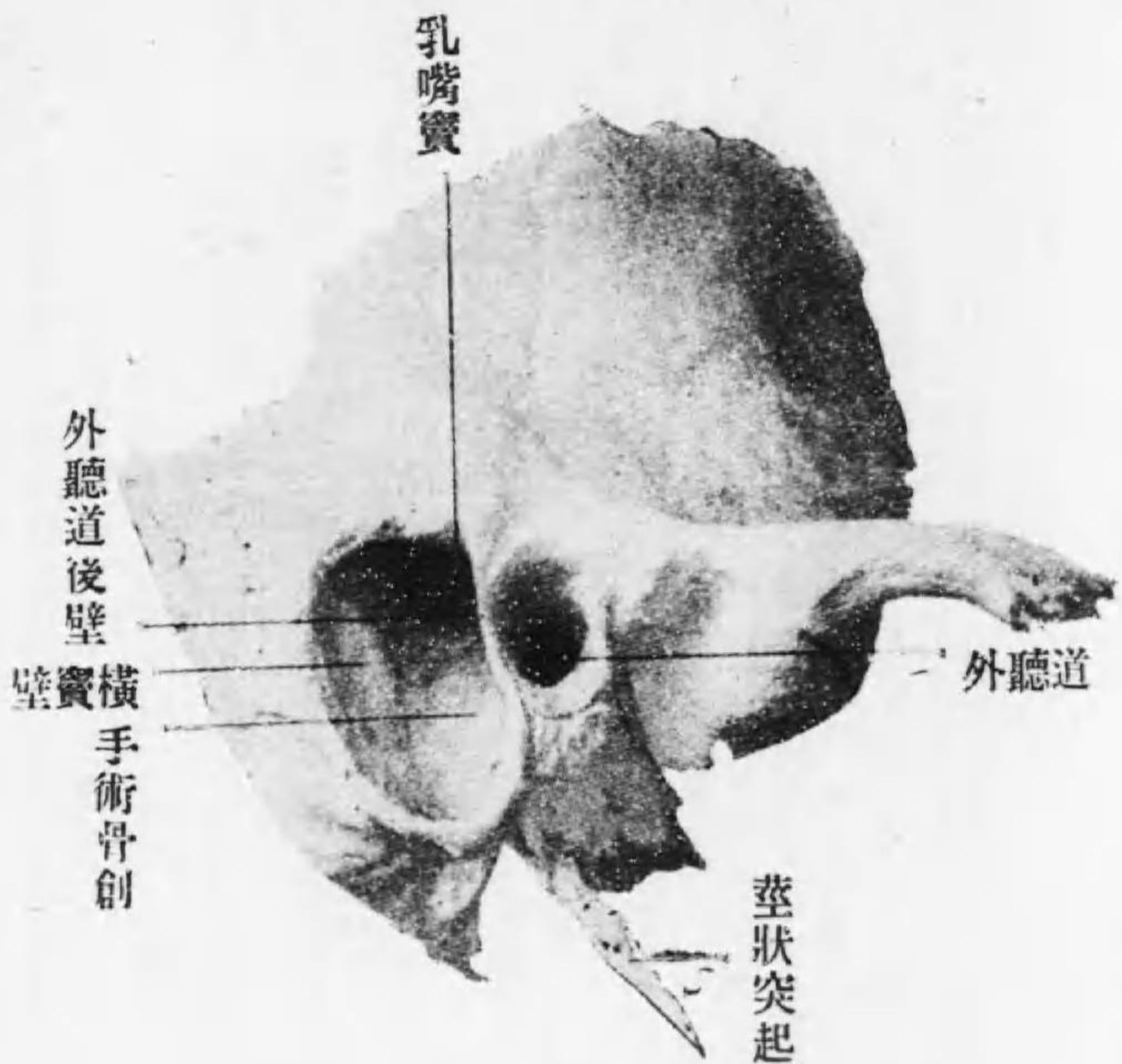
× 外聽道上棘
1 乳嘴突起
2 顳顳線
3 手術三角
4 外聽道

上方毛生部ヨリ下方乳嘴突起尖端部マデ（之ヲワイルド氏切開ト稱シ乳嘴突起炎ノ應急處置トス）骨膜下ニ至ル皮切。

〔第二〕 骨鑿除、層次的ニ行ヒ瘻孔アレバ之ヲ周圍ニ擴張ス、然レドモ所謂手術三角部（第七十圖）ヲ超ユベカラズ。手術三角部トハ上方ハ外聽道上棘ニ起始シ之ヨリ後方ニ走ル顳顳線ノ下縁、前方ハ外聽道後壁、後方ハ橫竇壁トス。

〔第三〕 搔爬、竇内ニ於ケル肉芽、炎性蜂窠ヲ悉ク搔爬シ特ニ終末細胞ノ開放ヲ怠ルベカラズ、ベツオルト氏型ニ在リテハ乳嘴突起尖端及内面ノ骨ヲ除去シ、頸部ノ皮膚ニ對孔ヲ作製スベシ。

第六十七圖
乳嘴突起ノ單純ナル鑿開



手術ハ危険、根治手術ノ項ニテ併セテ述ブベシ。

後療法 A、二次的治癒機ヲ行ハシメント欲セバ術後發熱出血等無キ場合第五日目ニ第一繃帶交換ヲ行ヒ爾來連日乾燥ガ一ゼ（又ハ五百倍リバの一のる溶液ニ浸シタルガ一ゼヲ以テ交換ス。全治ニ要スル日子ハ大凡一ヶ月乃至三ヶ月ナリ。

B、然レドモ輓近此創面ノ一期縫合ヲ試ミテ成效セル報告尠カラズ、殊ニ斯カル場合ニ「ヂちん」ノ油劑

ヲ創孔ニ注入シ奇效ヲ奏セル報告例アリ。(東北大學和田博士ニ依ル)

第六節 耳根治手術ニ乳嘴突起全鑿開術

適應症 (1)中耳眞珠腫、(2)骨疽ヲ有スル慢性中耳炎、(3)顔面神經麻痺、迷路又ハ頭蓋内合併症ノ危険アル慢性化膿性中耳炎。

術式

〔第一段〕乳嘴突起鑿開、(二式アリ)。

第一式 ツアウフワル Naufal 氏手術。

〔第一〕 シユワルツエー Schwarze 氏手術ヲ行ヒ、〔第二〕骨外聽道後壁及上壁ヲ鑿除シ、〔第三〕小聽骨ヲ摘出シ鼓室内ヲ搔爬ス〔第四〕外聽道成形術ヲ行フ。

第二式 スタツケー Stacke 氏術式(特殊適應症、骨硬化・橫竇壁ノ異常)

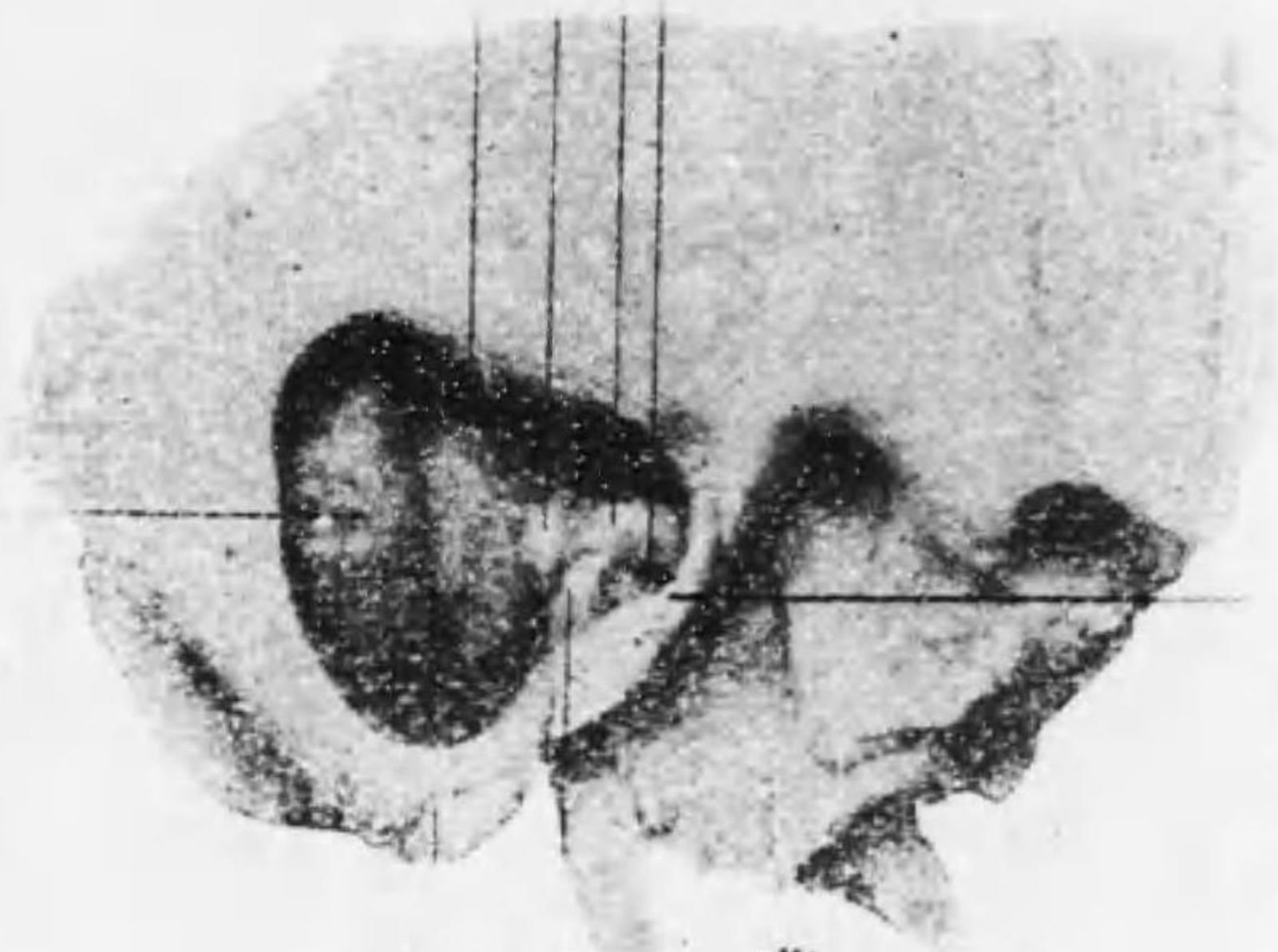
皮膚切開ノ後、外聽道ヲ剝離シ、外聽道後上壁ヲ鑿除シ中耳ニ達シ漸次乳嘴竇ニ向ツテ骨創ヲ

第六十八圖

乳嘴突起全鑿開

(耳根治手術ノ骨創)

卵圓窓
外半規管
後半規管
顳額櫛



外聽道前壁

擴大ス。

注意 乳嘴竇鑿開ニ際

シ屢々顔面神經ノ損

傷ヲ來スコトアリ、

是レ解剖的知見ノ不

備ヨリ來ル失策ナレ

ドモ之ヲ豫防セント

欲スレバ、外聽道鑿

除ニ際シスタツケー

氏顔面神經保護器

(第七十三圖)ヲ乳嘴

竇入口ニ插入シテ作

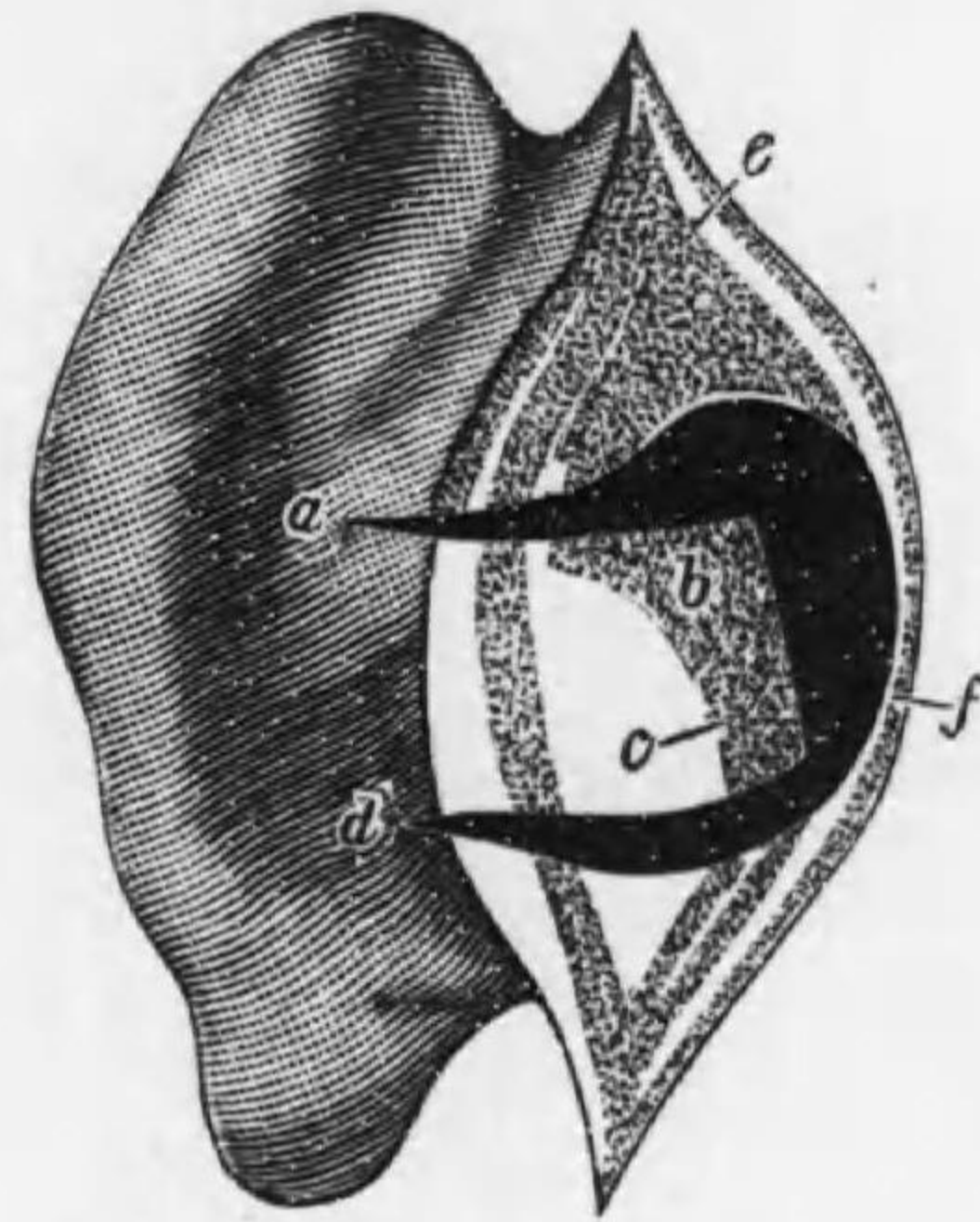
圖九十六第

氏一ケツタス
器護保經神面顔



業スベシ。

圖十七第
成形瓣膚皮氏ルネルク



〔第二段〕 上皮成形術 皮瓣成形術。

此目的ハ創面ト外聽道トチ一ノ骨腔トシテ存在セシメンガ爲ナリ。本法ニ左ノ二大別アリ。

(甲) 第一術式 耳後創口ヲ貽シ、二次的創口成形術ヲ行フ術式。本法ハ創口大ナルカ或ハ眞珠腫形成アル場合ニ行フ手術ニテ、乳嘴創口ヲ開放シテ處置スル術式ナリ。其大要ハ 外聽道切創ト耳後切創トヲ縫合シ表皮ヲ形成セシメ耳後瘻孔ヲ形成セシムルナリ。

(乙) 第二術式 耳後創面ヲ一期ニ癒合セシメ、外聽道切創ヲ耳内ヨリ其内面ニ移植スル術式。

左ニケルキル Kerner 式術式ヲ以テ兩術式ヲ説明セン。

外聽道ヨリ皮瓣 a b c d ヲ作り第一術式ニ在リテハ b c 端ヲ a d 端ニ縫合シ、第二術式ニ在リテハ a d t e f トヲ縫合シ b c 片ヲ耳内ヨリ其縫合ノ内面ニ壓附スルナリ。

第一術式ニ在リテハ此成形術ノ外左ノ術式アリ。

スタツケ―單瓣成形術 外聽道ニL字形切開ヲ加フ。

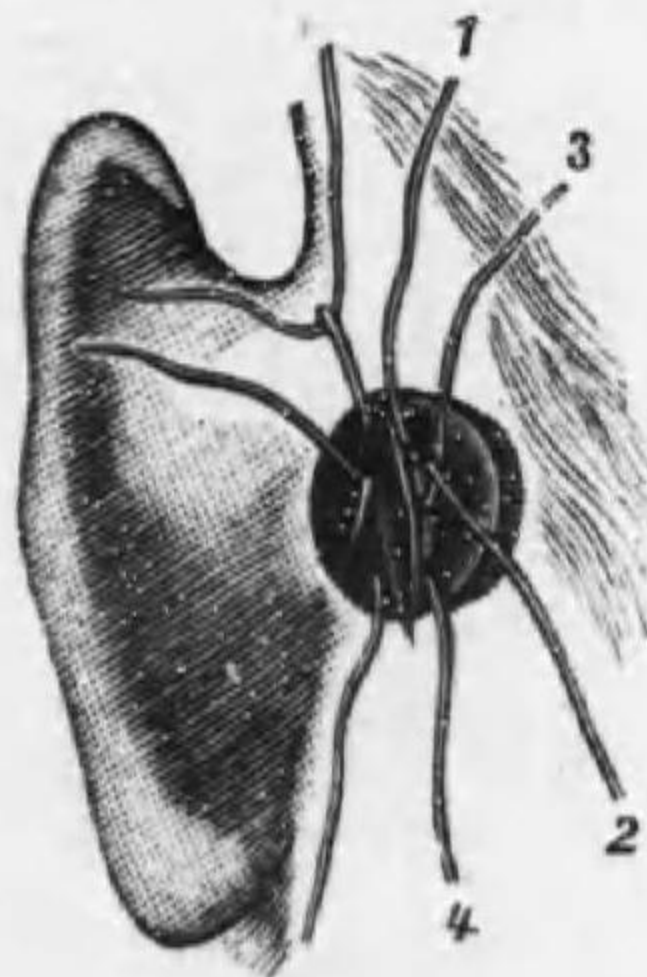
スタツケパンゼー Stacker-Panse 氏成形術 外聽道ニT字形切開ヲ加フ。

圖一十七第
圖ノ術形成氏一ツツバ

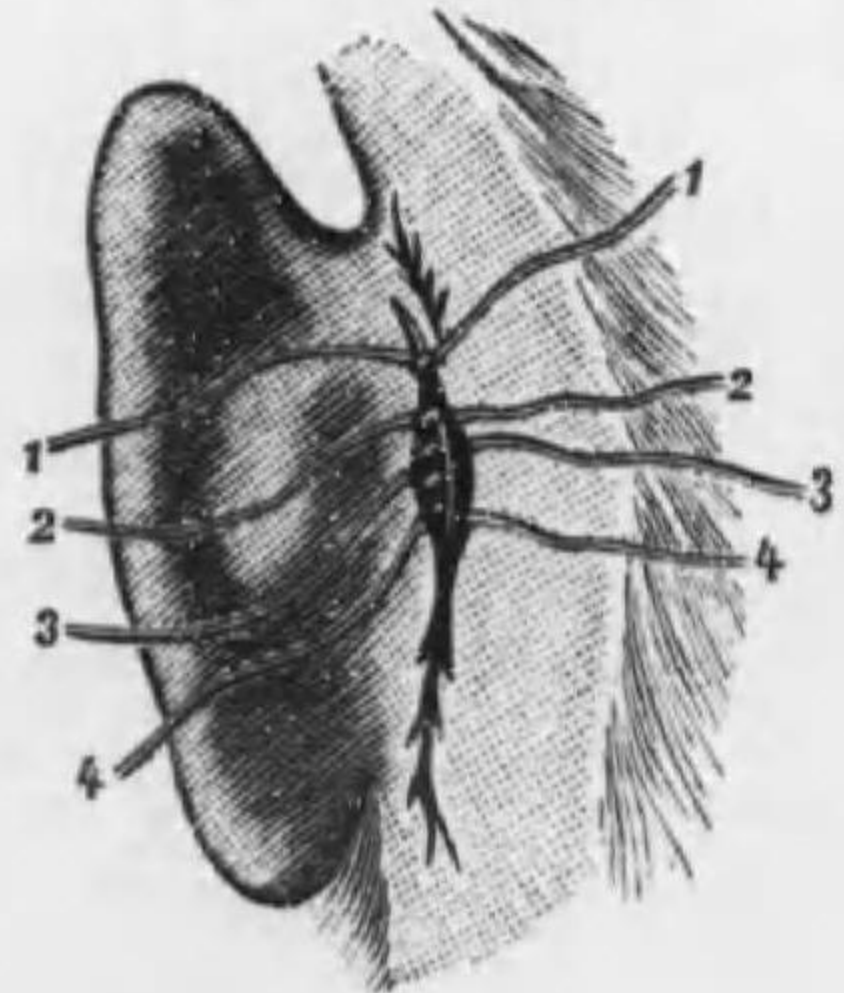
(甲) 節一第



(乙) 節二第



(丙) 節三第



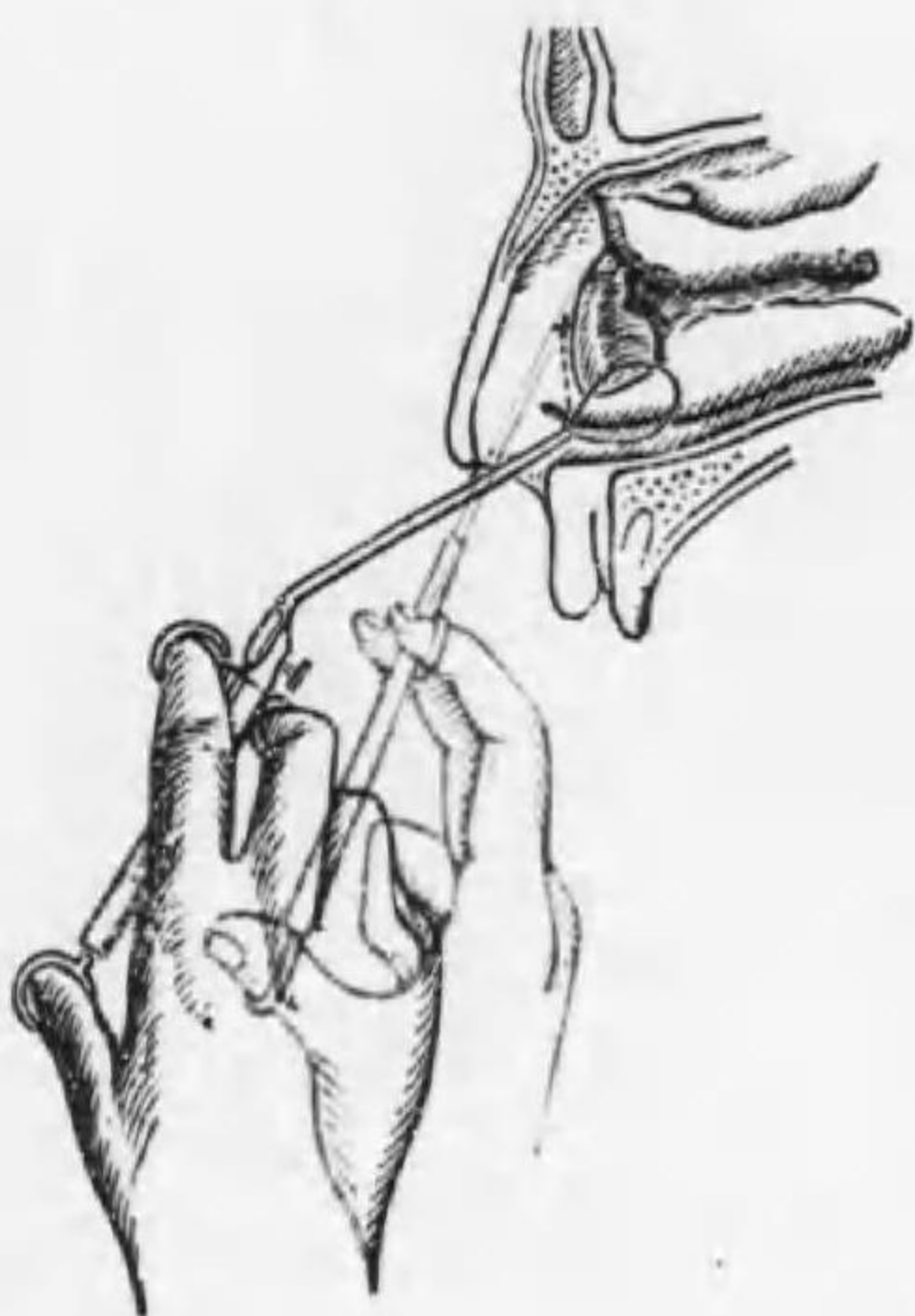
ジーベンマン Siebenmann 氏法外聽道ニY字切開ヲ加フ。
 バランニーロデンチ Barany-Dentch (米)式法 以上ノ外ニチールシュ Tiensch 氏植皮術ヲ
 行フ、其他變法多ケレドモ目的トスル所ハ同一ナレバ略ス。
 耳後創口ノ縫合。

バツツー氏術式ヲ良シトス(八十四圖)、創口ニ沿フ切開ト、原切創ニ一致スル皮切ヲ加ヘ之
 ナ内外葉ニ剝離シテ縫合ス。

第七節 鼻茸絞斷法 Polypotomia

クラウゼー Krause 氏蹄係ヲ以テ行フ、蹄
 係ハ腫瘍ト鼻中隔トノ間ヨリ之ヲ縦ニ插入
 シ、腫瘍ノ體ヲ超ヘタル時ハ其軸ヲ外方ニ轉
 シ縮輪ヲ嗅破裂ニ送り蹄係ヲ絞メ、縮輪ヲ前

圖二十七第
 法斷絞茸鼻
 (ル依ニ氏クツルブ)



下方ニ引ク、然ル時ハ莖ハ絞窄セラレテ縮内ニ在リ莖ハ其ノ基礎ヨリ離斷セラルベシ、決シテ
 蹄係綱線ヲ以テ強度ニ絞窄シ其部ニ於テ切斷スベカラズ。

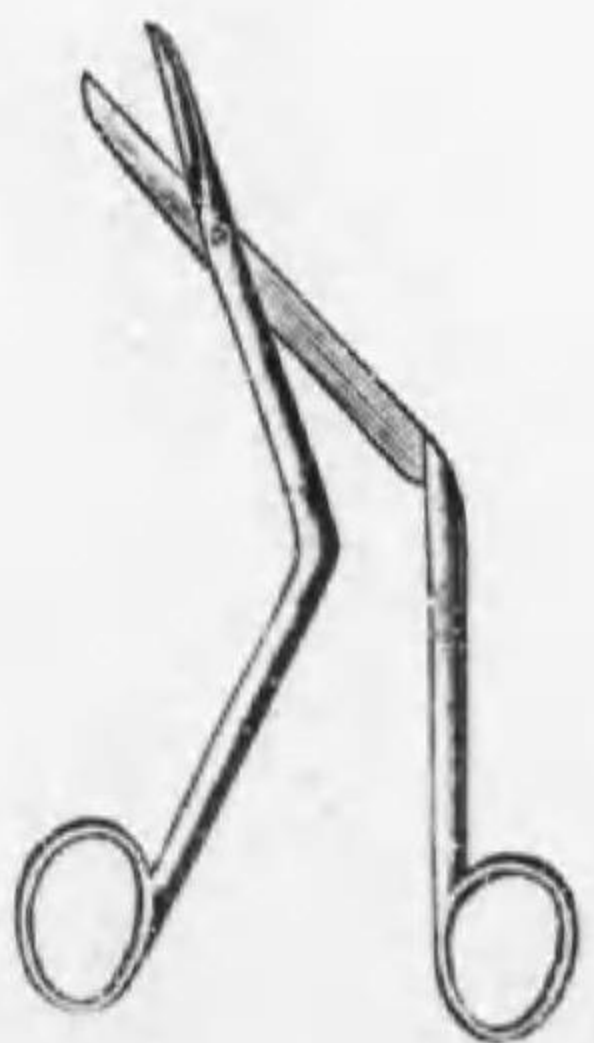
第八節 甲介切除術 Chonchotomia

第一項 下甲介切除法

圖三十七第
 鉸介甲氏 ンマトルハ



圖四十七第
 鉸介甲氏 ンマイハ



外方ニ向フ如クシテ甲介ノ遊離端ニ並行シテ之ヲ切除ス。

治療技術編

鼻鏡検査法第一
 位ニ於テ檢鼻シ
 ツツハイマン氏
 Heymann 鉸ヲ半
 バ開キ剪ノ軸ハ稍

圖五十七第
氏ソマクツベ
鉄介甲中



第二項 中甲介切除法

バックマン Beckmann 氏剪ヲ用キ、中甲介ノ前三分ノ二ニ切開ヲ加ヘ後三分ノ一ハ冷蹄係ヲ以テ絞斷ス。

第九節 鼻中隔粘膜炎下有意切除法

適用症 中隔彎曲・棘・櫛ニ對シ行フ。中隔彎曲症ニ於テ他側ニ中甲介骨ノ代償肥大症アレバ中甲介切除ヲ豫行ス。

術式 粘膜炎切開ハ彎曲或ハ棘櫛ノ存在スル側ニ於テ可久的鼻中隔ノ前端ニ於テ上方ハ垂直ニ下方ハ鼻底ニ沿ヒ即チC字又ハL字切開ヲ加フレバ施術容易ナリ。粘膜炎切開ヲ施セバ其側ノ粘膜炎軟骨膜及骨膜ト共ニ剝離シ、四角軟骨ヲ鑿或ハ軟骨刀ニテ對側ノ粘膜炎損傷セザル程度ニ切

開シ、之ヨリ對側ノ軟骨及骨膜ヲ剝離シ中隔基質ヲ孤立セシメ、先ヅ軟骨ヲ廻轉軟骨刀ヲ以テ切除シ此創孔ヨリ鉗子又ハ鑿ヲ以テ突出部或ハ彎曲部ヲ除去ス。

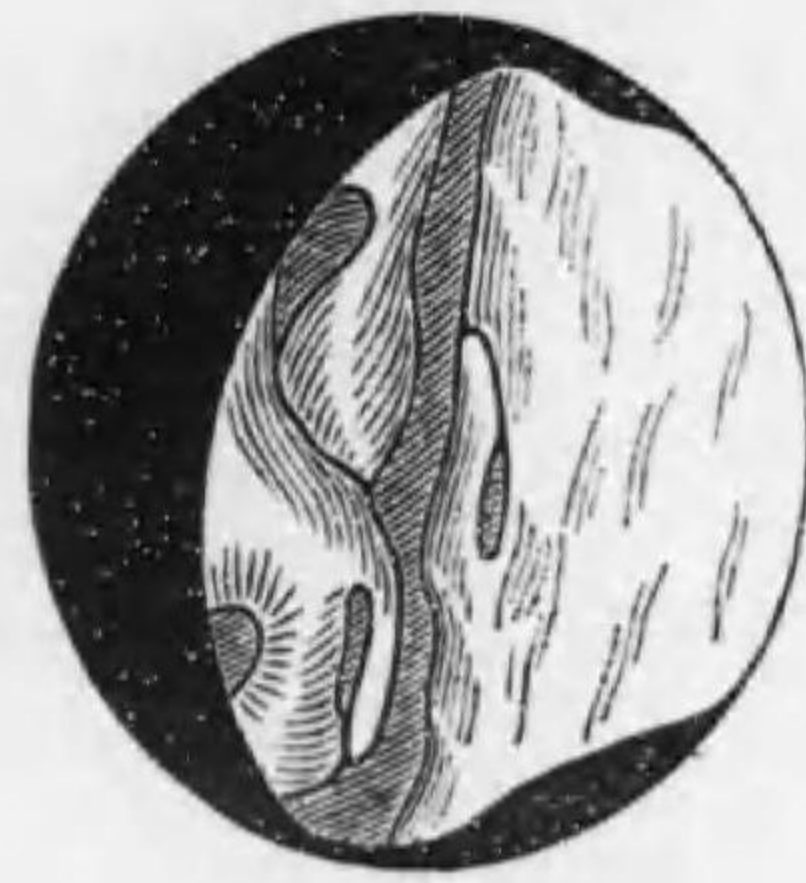
第十節 鼻内癒著剝離法

鼻内癒著ヲ起シ易キ部位ハ鼻中隔及下甲介ニシテ殊ニ中隔畸形アル場合ニ多ク、電氣燒灼・中甲介切除ノ後ニ繼發ス、故ニ癒著ヲ剝離スル場合ニハ先ヅ鼻内畸形ヲ矯正シ癒著ヲ起スベキ

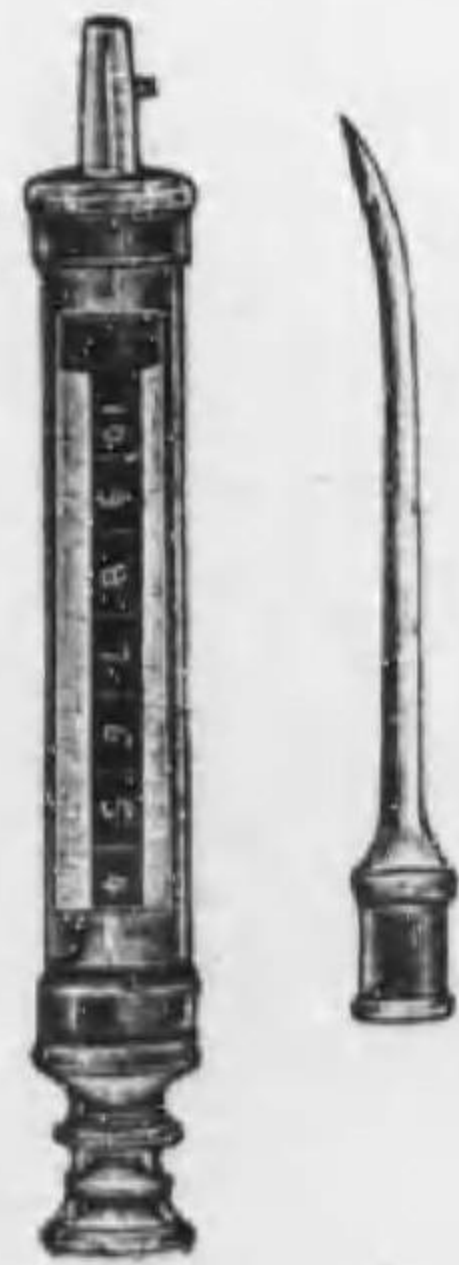
圖六十七第
術形成瓣膜粘隔中



了完同



圖七十七第
針膿深氏トツミユシ



部位ヲ可久的ニ廣潤ナラシメ然ル後成形術ヲ行ヒ相對面ヲ健康ナル粘膜炎ヲ以テ相對立セシム。

第十一節 上顎竇穿刺及洗滌法

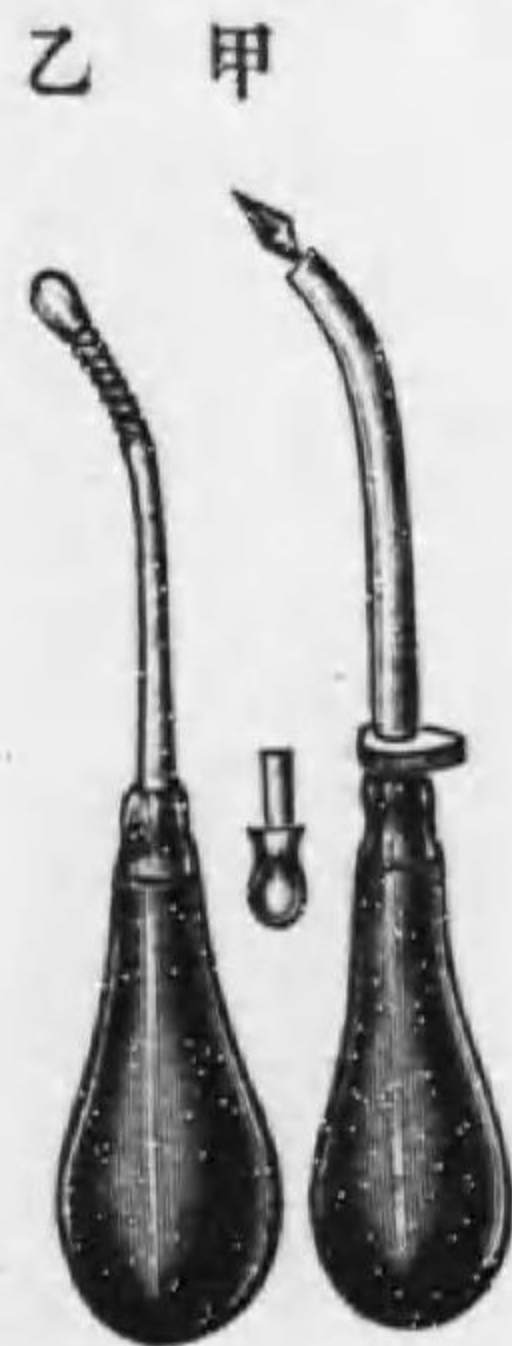
適應症 診斷治療ノ目的ニ行フ。

術式 下鼻道ヨリ穿刺スルヲ容易ナリトス。探膿ノ目的ニハシユミット Schmidt 探膿針ヲ以テ、洗滌ノ目的ニハクラウゼ Krause 套管針ヲ以テ下鼻道ヨリ穿刺ス、自然口ヨリ穿刺スル方法アレド中鼻道ハ自然口ハ檢索不便ニシテ種々ノ障礙(例之鼻茸形成粘膜炎等)アリ却テ下鼻道ヨリスルコト易ケレバナリ。
穿刺ノ部位ハ下甲介附著線ノ直下ニシテ其中央部ヲ良シトス、此部位ハ生理的ニ骨壁菲薄ニシテ殆ンド抵抗ナクシテ竇ニ進入スルコトヲ得

圖八十七第

氏ゼウラク

鑷骨・針刺穿管套

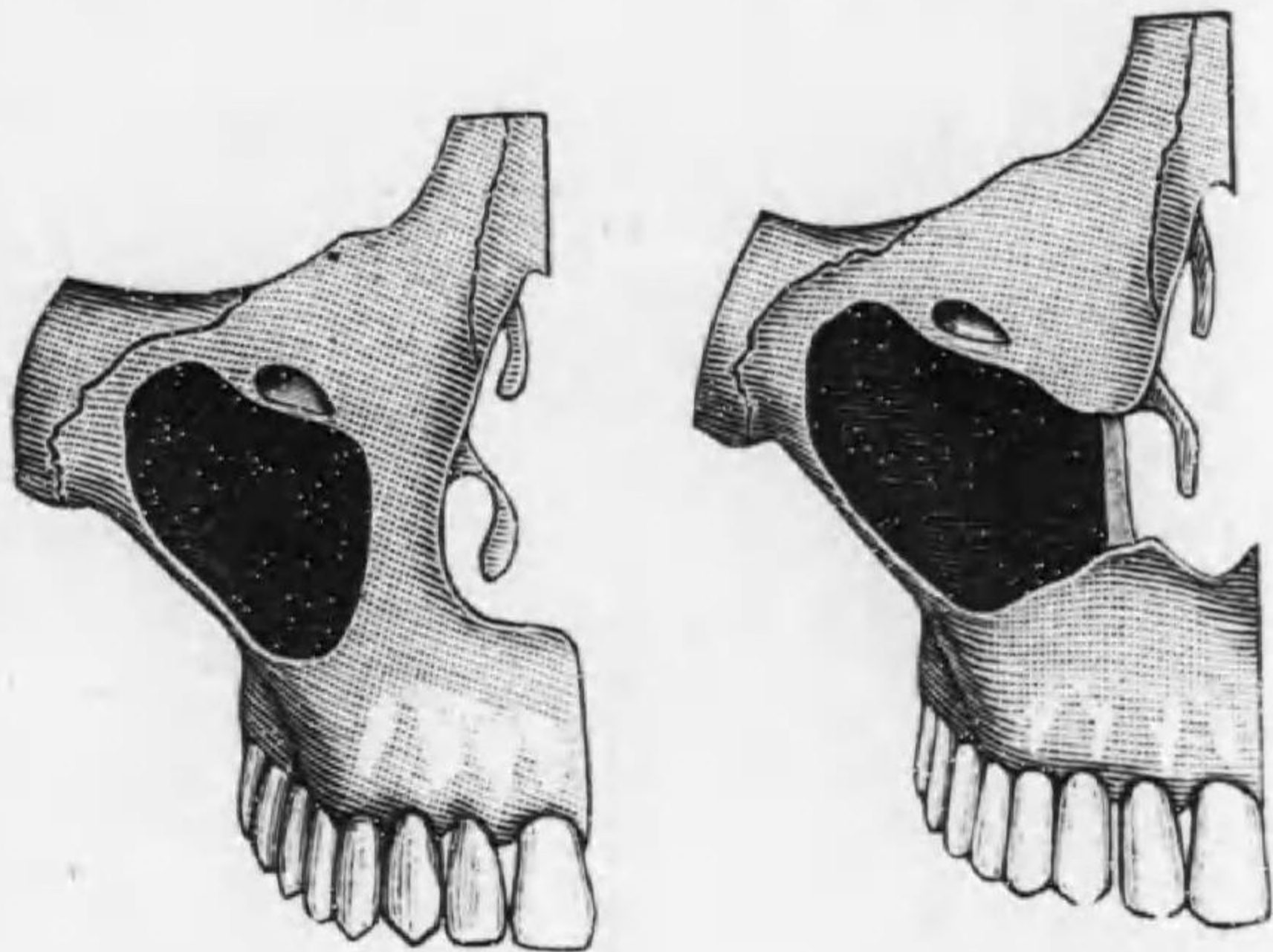


シテ殆ンド抵抗ナクシテ竇ニ進入スルコトヲ得

圖九十七第

式術ノ術手治根竇顎上

B A



テンケル和
辻式(梨子狀
口縁ヲ除去
ス)

テソールト、
キユステル氏
術式(梨子狀
口縁ヲ保存
ス)

穿孔孔ヲ擴張スルニハ骨鑷又ハ彫骨器ヲ以テス。
穿孔ヨリ洗滌スルヲ得ベシ、本法ハ診斷治療ノ目的ヲ兼ヌ。

第十二節 上顎竇根治手術

術式 [粘膜炎切開] 口唇粘膜炎ニ移行スル部位ニ之ト並行ニ大白齒ヨリ口唇繫帶ニ至ル切開ヲ加へ、骨膜ヲ剝離シ犬齒窩ヲ露出ス、

〔骨壁ノ鑿開〕犬齒窩ノ中央ニ第一鑿ヲ加へ圓形ノ骨創ヲ作り之ヲ鼻側壁ニ近ク擴張シ、上方ハ

下脈窩神經孔ヲ超ユベカラズ。此際梨子狀窩縁ヲ保存スルノ術式（コールドウエルリユーク Caldwell-Linc 式）ト之ヲ除去スル術式（デンケル 和辻 Denker-Watsuji 式）トアリ、普通ノ場合ニハ前者ニテ足レリトスレド、犬齒窩面ト鼻側壁トノ爲ス角ガ銳角ニ近ク此部ニ肉芽ヲ貽ス憂アラバ後式ニヨル。〔竇内ノ搔爬〕 竇内ハ搔爬スルヨリ寧ロ注意シテ粘膜ヲ剝離シ病變アル部分ヲ全部除去スベシ。〔對孔作製〕 下鼻道骨壁ヲ可及的廣キ範圍ニ（殊ニ前下壁ヲ）切除シ、下鼻道粘膜ヲ露出シ之ヲ前上後方ニ切開シ粘膜瓣ヲ形成シ之ヲ竇内ニ移植ス。〔たんほんト縫合〕 鼻内ヨリ對孔ニたんほんヲ挿入シ（竇内ハ可成栓塞セザルヲ良シトス）口腔ノ創面ヲ縫合シテ術ヲ了ル。

第十三節 篩骨ノ手術

術式 學者ノ報告スル所多數アレド其要領ヲ摘録スレバ次ノ如シ。

鼻内手術。〔第一節〕中甲介ノ切除〔第二節〕篩骨蜂巢壁ヲ漸進的ニグリューンワルト Grünwald

鉗子又ハハルトマン氏「こんひよこむ」(Chonchiron)ヲ以テ開放スルニ在リ。

鼻内手術ニテ到達シ得ル範圍ハ中及後篩骨縫窩ナリ。

鼻外手術。

(1) 經上顎竇術式。上顎竇根治手術ヲ行ヒ中鼻道漏斗狀部ノ上縁ヲ鉗子類ニテ除去シテ進入。

(2) 經前頭竇術式、前頭竇手術ト併セテ行ヒ、其後下壁ヨリ進入ス。

第十四節 前頭竇ノ手術

第一項 自然口消息法及消息法

前頭竇ハ中鼻道ノ前上端(漏斗狀部)或ハ鼻天蓋ノ前端ニ於テ中甲介ト鼻中隔トノ間(前頭窩)ニ開口スルガ故ニ此部ニS字狀ニ彎曲セル消息子又ハ洗滌管ヲ挿入シテ洗滌ス。

第二項 キリアン氏前頭竇鼻内手術

第八十圖

術手治根竇頭前氏ンアリキ
レラセ放開 相ニ線高眼上
竇頭前ルタ 橋骨ルス當



開カレタル蝴蝶骨竇

鼻中隔

中甲介ノ前部ニ楔狀切開ヲ加ヘ其切創ノ前縁ヲハルトマン氏こんひよミーむニテ前頭窩ヨリ切開シテ竇内ニ進入ス。

第三項 キリアン氏

根治手術

術式 「皮膚切開」 眉毛生部ノ中央ニ沿ヒ皮切ヲ行ヒ其内縁ヨリ弓狀ニ之ヲ鼻根ヨリ下眼窩縁ニ延長ス、「骨膜切開」 上眼窩縁ニ沿ヒ之ヨリ下方皮切ニ一致スル切開及

第八十一圖

法息消ノ竇蝶蝴

篩狀板
蝴蝶骨
歐氏管
咽頭口



治療技術編

眼窩上縁ニ之ト並行ナル切開、「骨壁切除」、前頭竇前壁ノ鑿除、眼窩上壁ノ鑿除竇内搔爬、鼻内對孔ノ作製、皮創縫合。

第十五節 蝴蝶骨竇ノ手術

手術

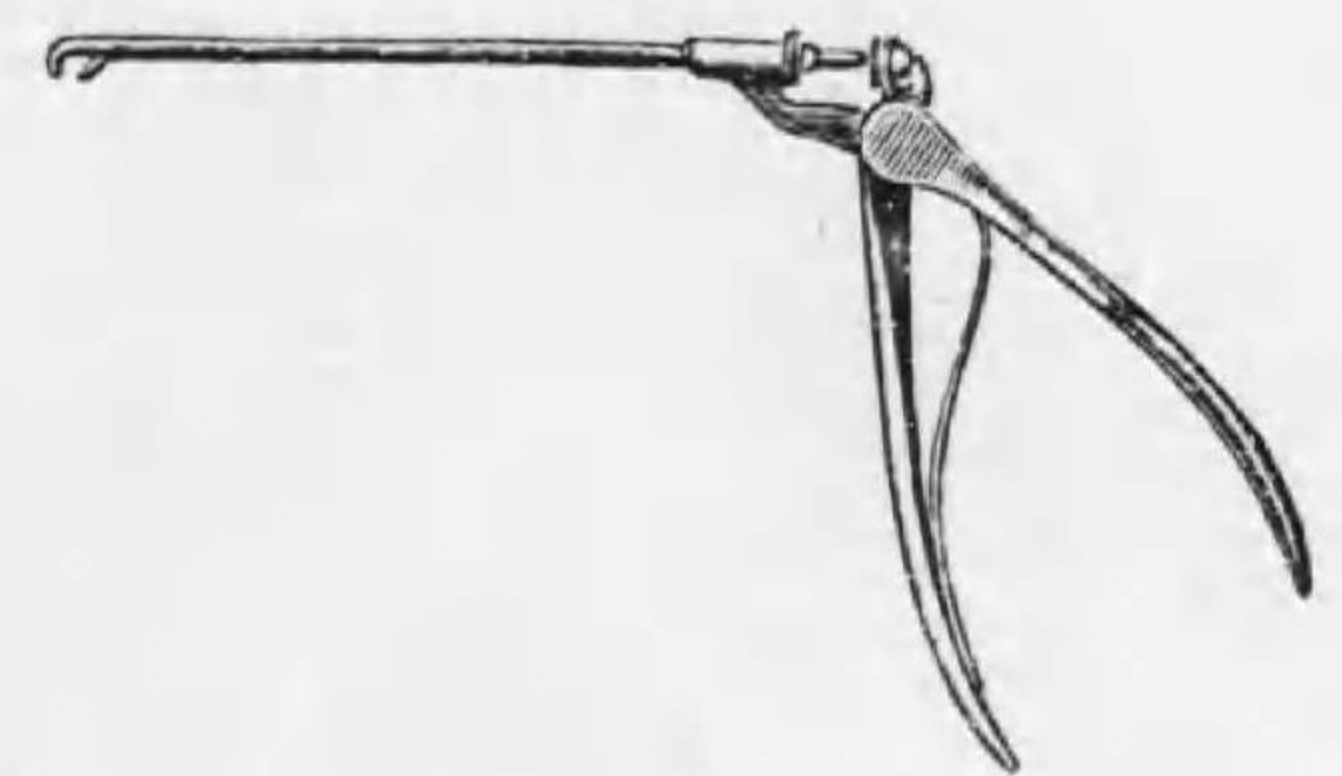
消息法 前鼻棘ト中甲介下縁ノ中線トヲ連ヌル線ノ方向ニ消息子ヲ送ル。

鼻内手術 ハーエック式手術。中甲介後端ヲ除去シ、ハーエック氏「スタンツエ」ヲ自然口ニ插入シテ前壁ヲ鑿除ス。

圖二十八第

寶骨蝶翅氏クッエーハ

器骨彫大開口然自



シド其根部ヨリ除去スルヲ得ベシ。

第十六節 扁桃腺ノ手術

第一項 扁桃腺切除術

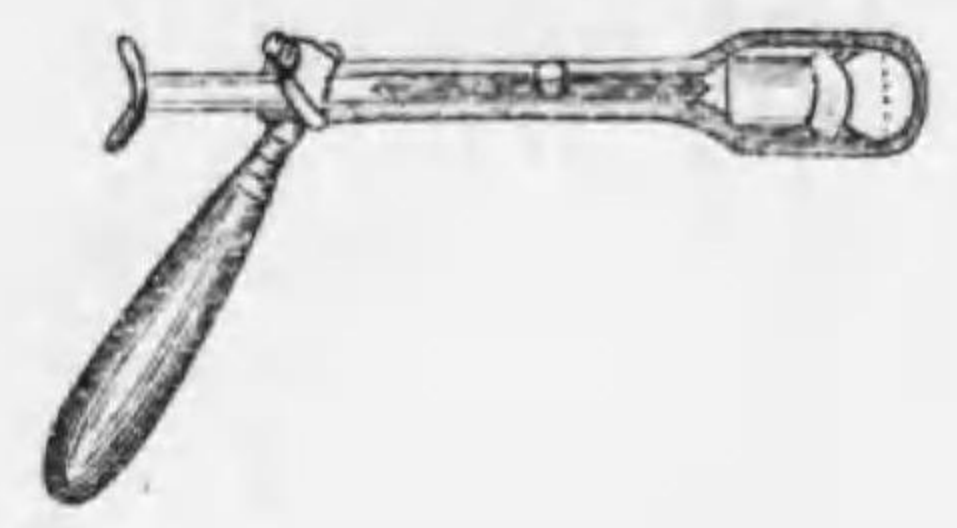
術式 マッケンジー Mackenzie 又ハマツチユー Matschew 氏

刀ヲ以テ之ヲ切除ス。刀ハ大ニ過グルヨリハ寧ロ小ナルヲ良シトシ、刀輪ヲ充分肥大セル扁桃腺ノ周圍ニ咬扼運動ヲ起ス程度ニ壓抵シ腺體ノ完全ニ刀内ニ入りシ時後下方ヨリ前上方ニ掬フガ如ク刀ヲ働カシメ刀刃ヲ進行セシム。斯クスレバ殆

第二項 扁桃腺全摘出術

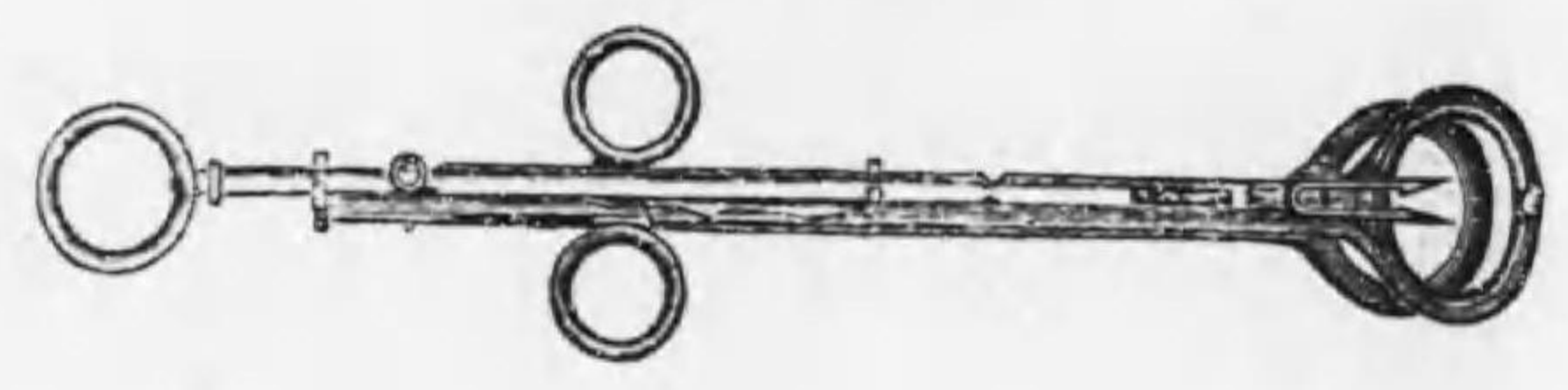
圖三十八第

刀腺桃扁氏ージンケツマ

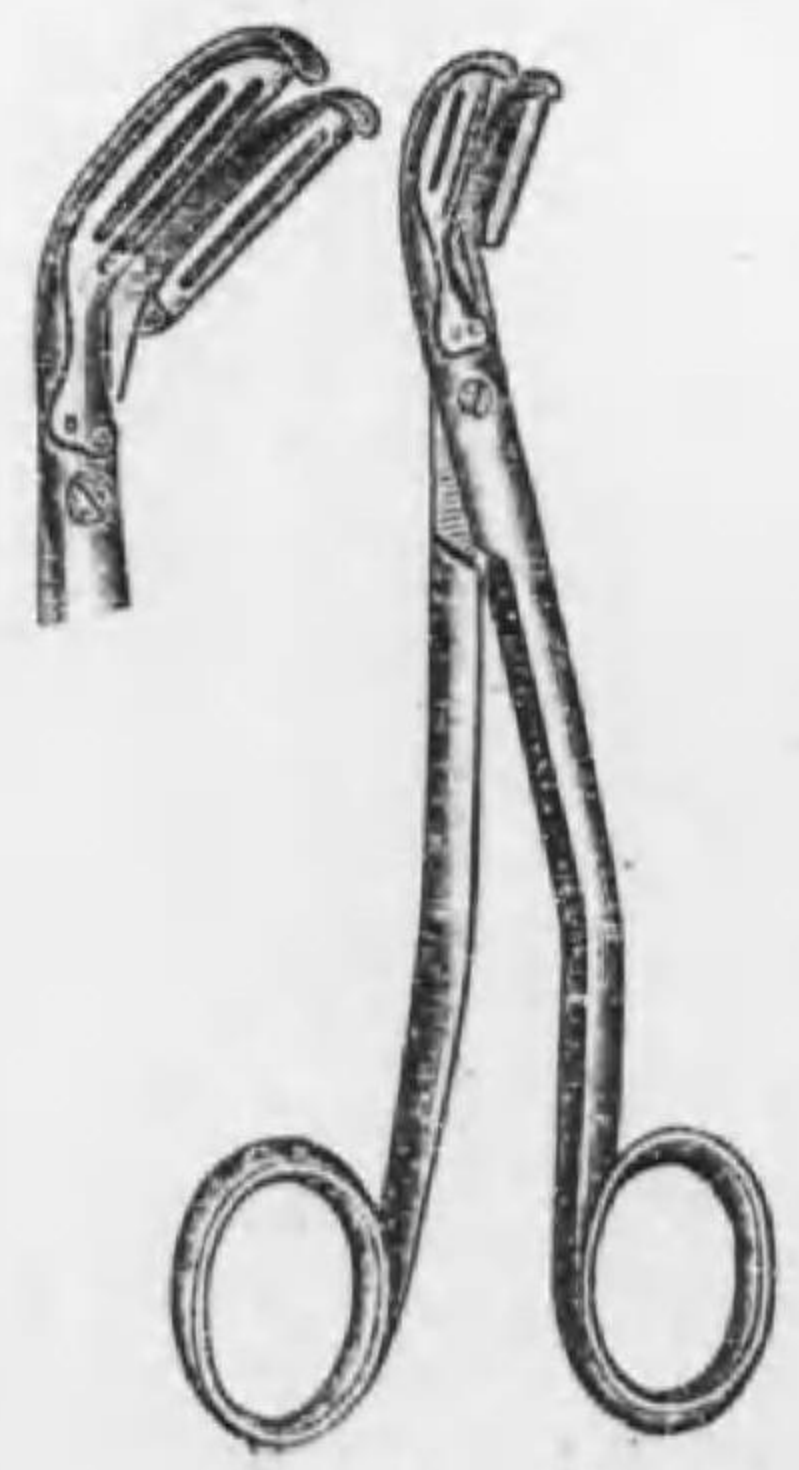


圖四十八第

刀腺桃扁氏ーユチツマ



圖五十八第 鉗腔咽鼻氏ルケンデ (用除切症殖増腺)



前口蓋弓ニ於テ粘膜ヲ切開シ、之ヨリ剝離子ヲ送り、扁桃腺囊ヲ後方ニ向ヒテ剝離シ、殘餘ヲ蹄係ニテ絞榨シツツ離斷ス。

第三項 咽頭扁桃腺切除術

輪狀刀ヲ以テスルニハ、刀ヲ全手ニ握リ軟口

蓋テ超ヘ之ヲ鼻中隔後端ニ沿ヒテ上方ニ送り、前上方ヨリ圓ヲ畫キテ後下方ニ搔キ下ス如キ氣分ニテ運行セシム。

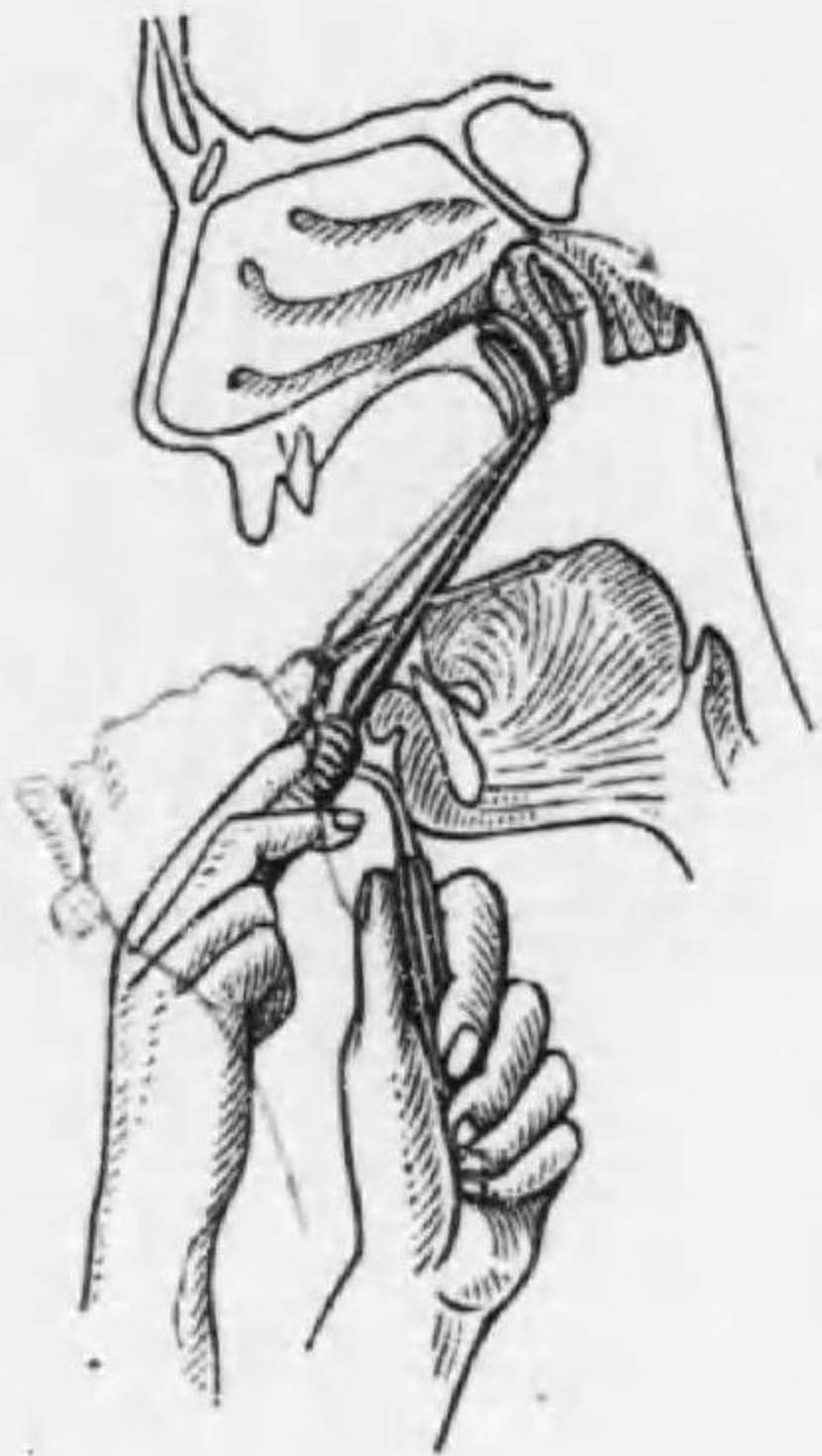
切除鉗子ヲ以テスル場合ニハ葉ヲ閉チタルママ出來得ル限リ上咽頭ニ向ヒ深ク進メ鉗子ノ葉

ヲ開キ前術式トニ反對ニ後下方ヨリ前上方ニ掬フガ如キ氣分ニテ葉ヲ閉ヂ、之ト反對ノ運動ヲナシテ鉗子ヲ抽出ス。

第十七節 扁桃腺周圍

膿瘍ノ切開

圖六十八第 術除切殖増様腺



圖七十八第 氏ンマクツベ 刀狀輪



術式 扁桃腺切開刀ヲ以テ、懸壜垂ト下顎白齒ヲ連ヌル線ニ並行シ懸

壜垂ト上顎白齒トヲ連ヌル假線ノ中央部ニ於テ切開シ、麥粒鉗子ヲ以テ創口ヲ擴大スレバ殆ン下誤ルコトナク膿瘍ニ達ス。

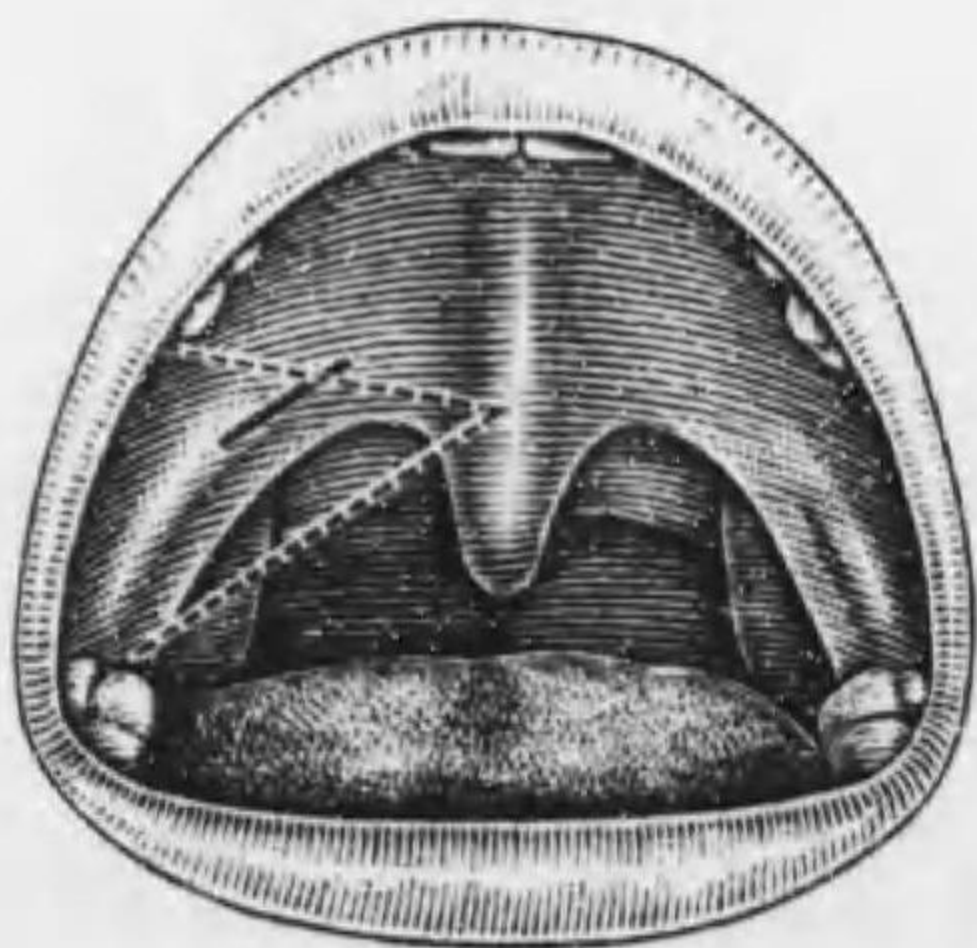
第十八節 咽後膿瘍ノ切開

小兒ノ急性咽後膿瘍ハ咽頭後壁ニ於テ其中線ヲ上下ニ切開ス、切開終レバ直ニ患者ヲ伏位ニ

圖八十八第 刀圍周腺桃扁



圖九十八第 瘍膿圍周腺桃扁 位部ノ開切

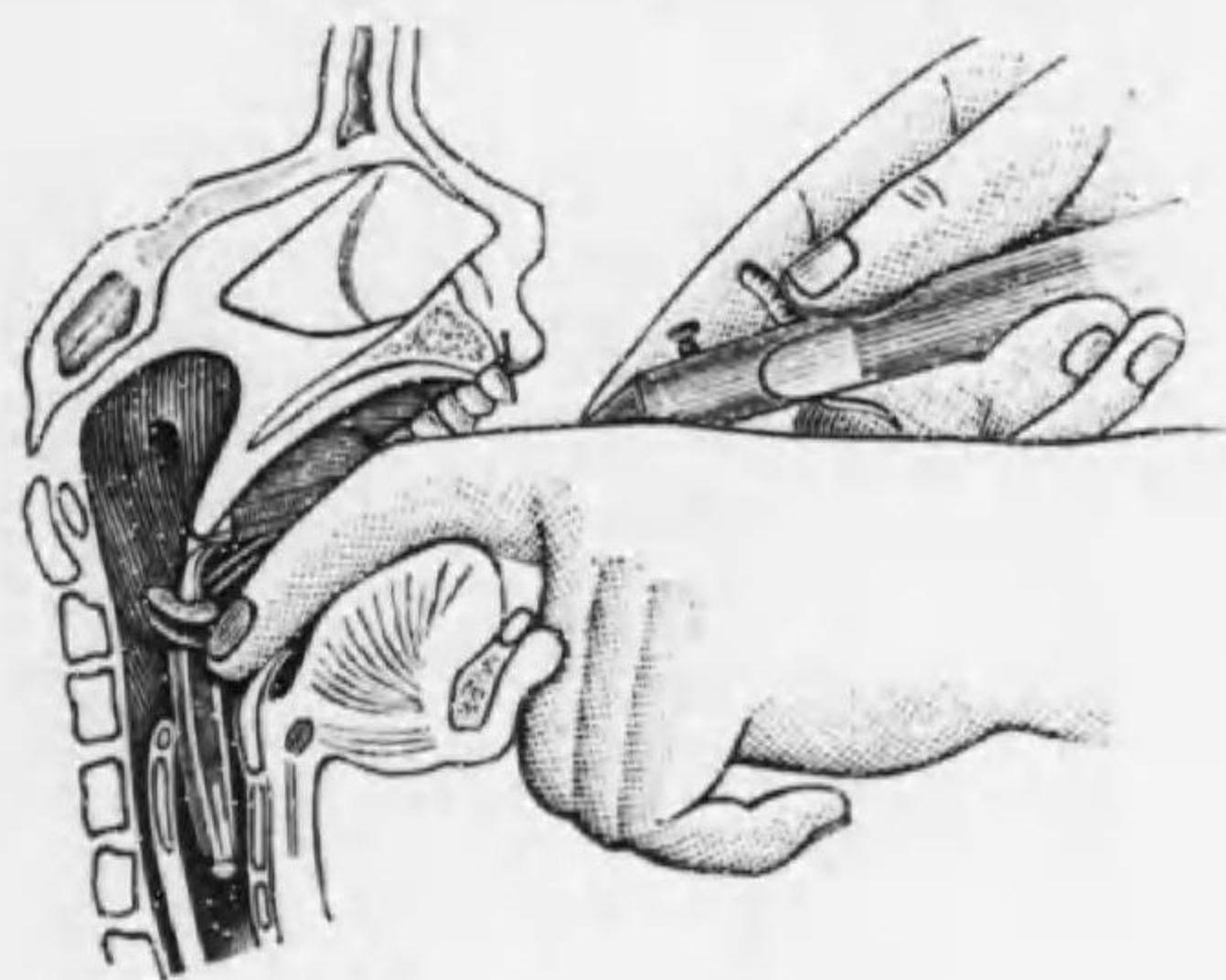


移シ口腔ヨリ膿ヲ排出セシム、然ラザレバ膿ノ誤嚥吸引等ヲ來ス。

第十九節 喉頭内手術

第九十圖

オドワイヤー氏喉頭挿管法



第九十一圖

オドワイヤー氏

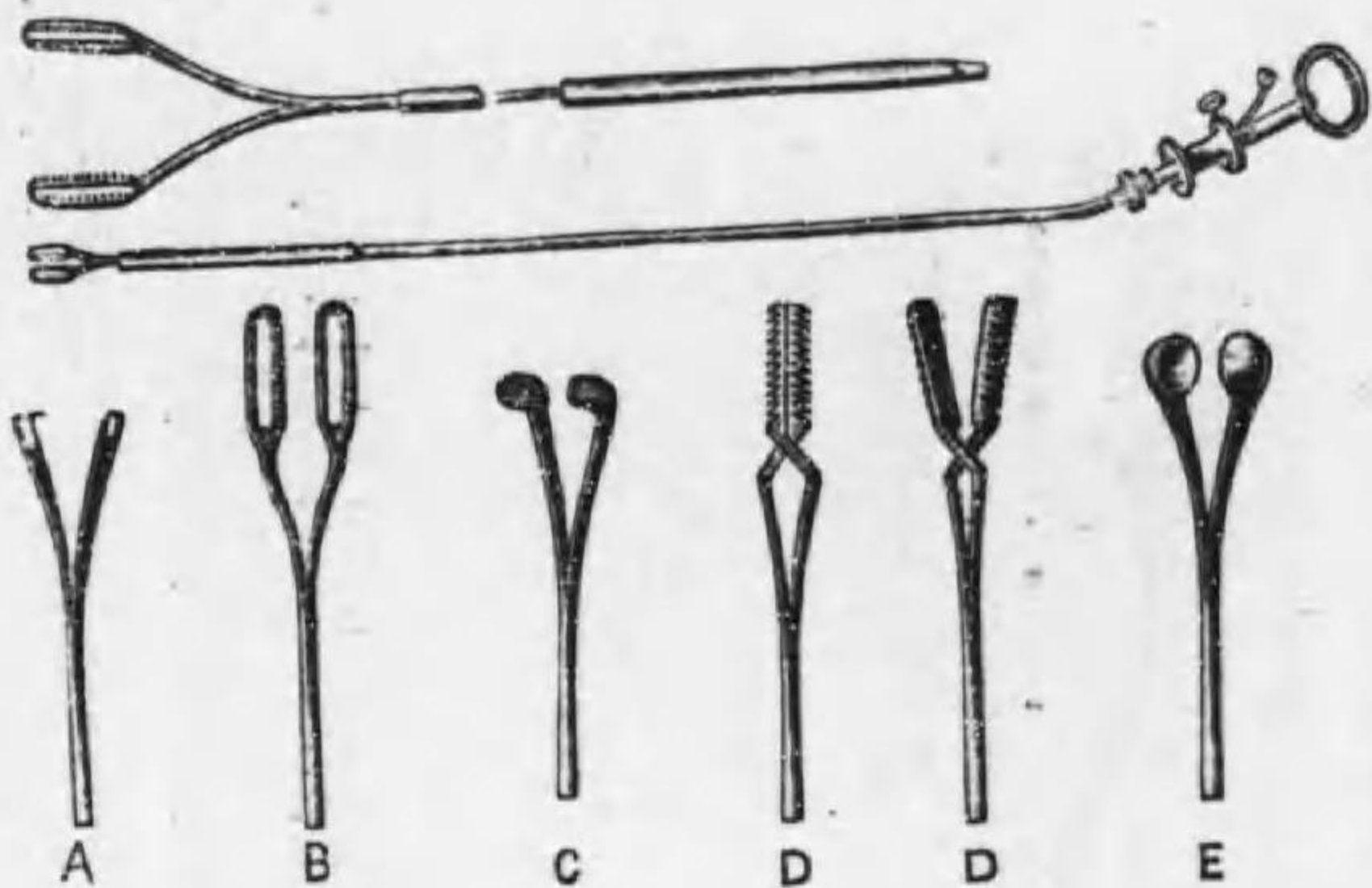
喉頭挿管具



喉頭鏡使用ノ場合ニハフレンケル氏鉗子又ハクラウゼー氏鉗子ヲ以テ行ヒ、或ハ直達鏡ノ下ニハブリューニングス氏鉗子ヲ以テス。

第九十二圖

ブリューネン氏直達用鉗子各種



第二十節 喉頭挿管法 (Intubation) (オドワイヤー O. Dwyer 氏挿管法)

術式 患者ヲ坐位又ハ半臥位ニ固定シ、開口器ニテ開口シ、術者ノ左示指ヲ以テ會厭軟骨ヲ舌根部ニ壓抵シ挿管ニハ結紮絲ヲ附シテ之ヲ挿管器ニ裝置シ、挿入セル手ノ示指ニ沿フテ會厭軟骨ヲ越ヘシメ送管器ノ把柄ヲ舉上シ挿管ノ先端ガ喉頭入口部ヲ通過スレバ之ヲ左手ノ指示ニテ喉頭内ニ進メ、同時ニ挿管器ニ裝置セル推進裝置ヲ壓シ挿管ヲ送管器ヨリ遊離ス(挿管ノ外口ニ在ル隆起ハ後方ニ向フテ正位トス)、挿管終ラバ之ニ連結セル結紮絲ハ頬皮ニ固定ス。挿管ハ之ヲ二十四時間以上放置スベカラズ。

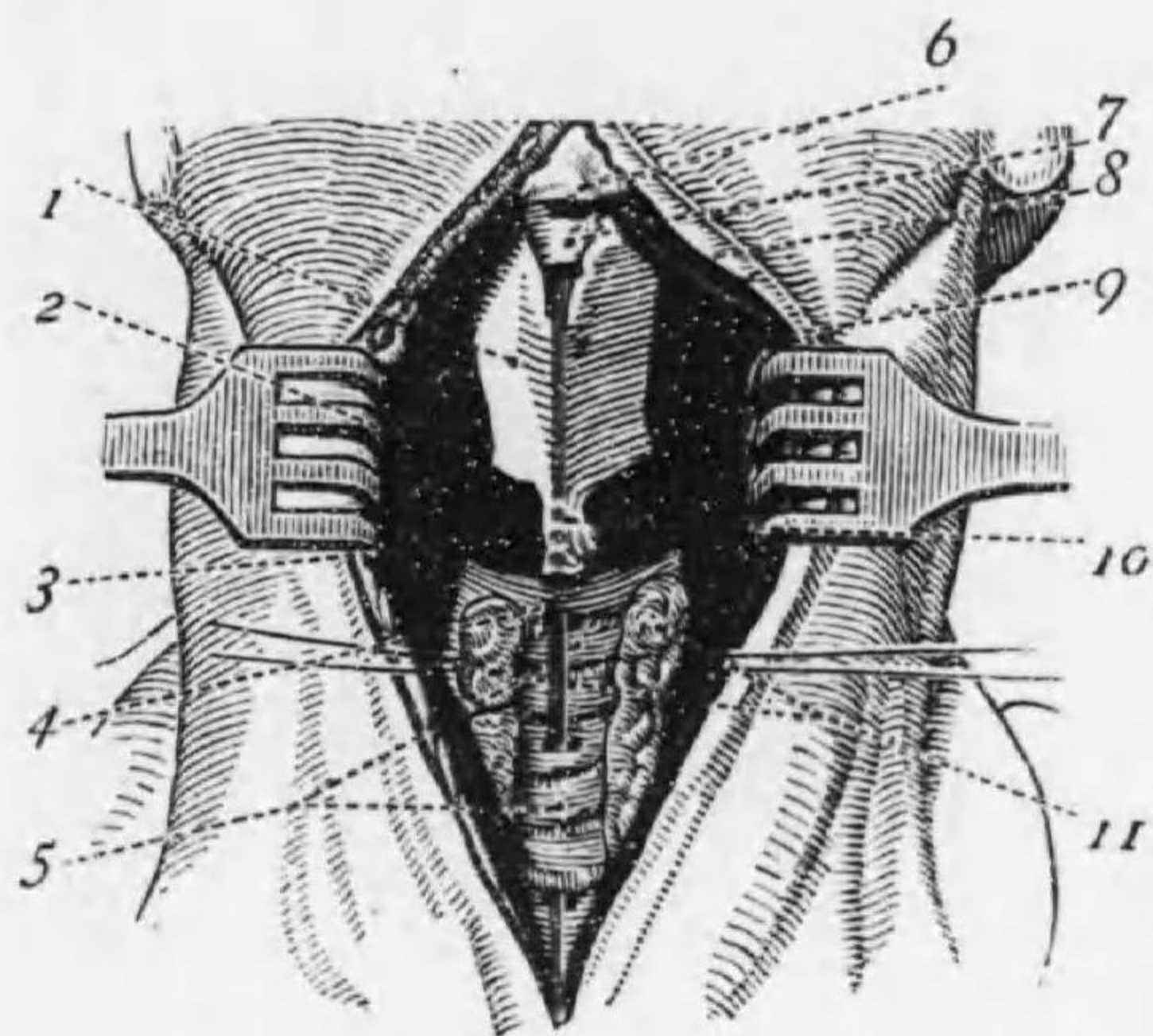
治療技術編

禁忌 異物、喉頭結核。

(注意) 喉頭插管法ハ必ず續行スベキ氣管切開術ノ準備ヲ以テ行フヲ要ス。

第二十一節 氣管切開術 Tracheotomy

圖三十九第 式術各ノ開切管氣頭喉



- 1 甲狀軟骨切開：上方ノ單赤線
- 2 環狀軟骨切開：赤點線
- 3 上氣管切開：平行赤線
- 4 下氣管切開：下方ノ單赤線
- 5 甲狀軟骨
- 6 環狀軟骨
- 7 氣管軟骨輪
- 8 舌骨甲狀軟骨帶
- 9 甲狀舌骨筋
- 10 環狀甲狀軟骨帶
- 11 甲狀腺(圖譜ニ示ス都合上假ニ兩斷セリ)

切開スベキ部位

ニヨツテ上中下ノ別アリ、三者ノ内

中氣管切開術最モ多ク行ハル。

皮膚ヲ切開シ、

皮下筋肉ヲ分離ス

レバ、甲狀腺アリ、

之ヲ其狹部ノ下縁

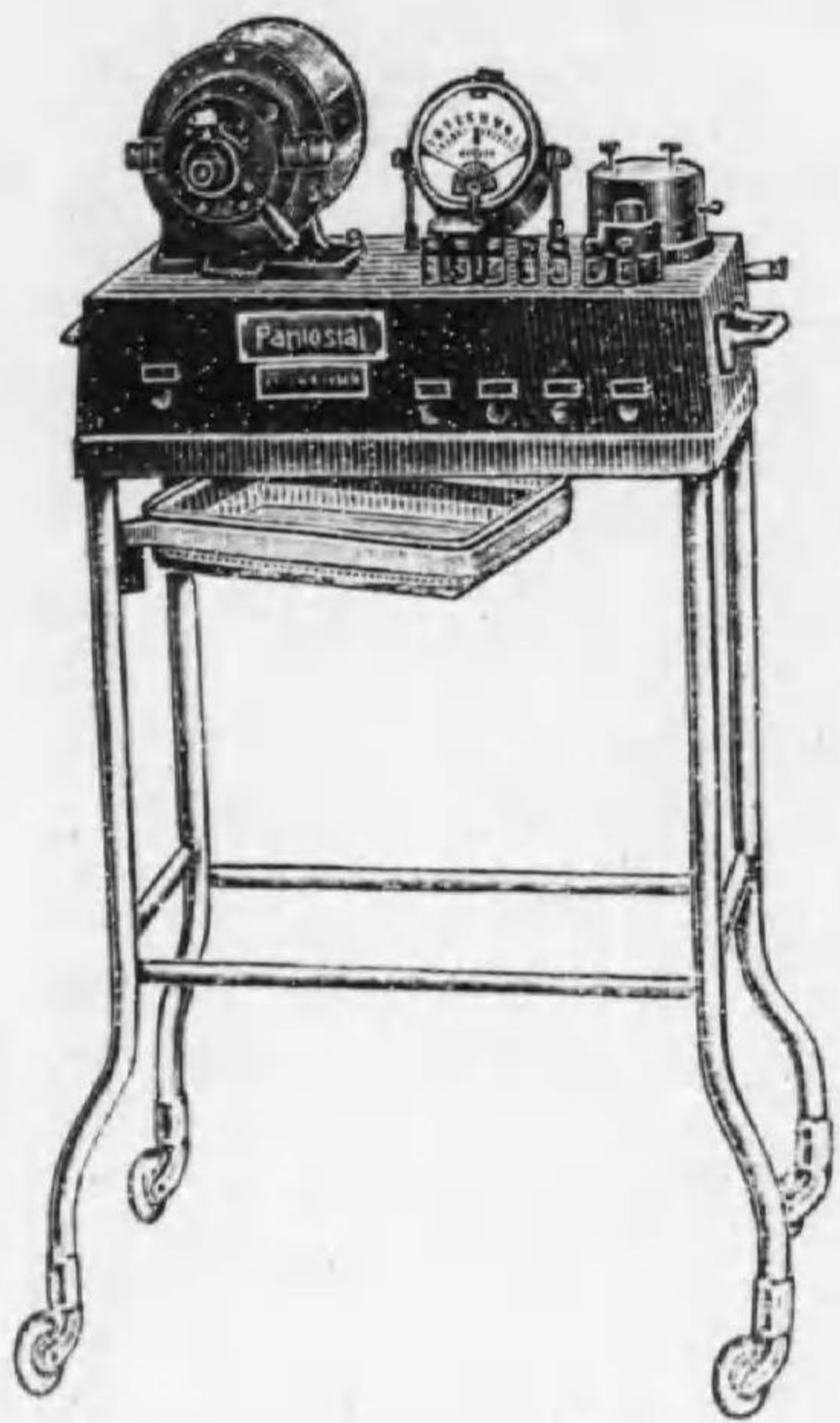
ニ於テ氣管壁ヨリ剝離シ、鈍鉤ヲ以テ上方ニ牽引シ、氣管輪ノ正中線ニ於テ之ヲ直角ニ二三ノ軟骨輪ヲ切開シ、副管ヲ插入シテ術ヲ終ル。

上氣管切開トハ甲狀腺狹部ノ上方ニ於テ環狀軟骨ノ直下(或ハ之ヲ切開スルコトアリ)ニ於テ切開シ、下氣管切開ハ甲狀腺ヲ移動スルコトナク、頸靜脈窩ニテ切開スルモノナリ。

第二十二節 電氣燒灼法

Galvano-Kautistik Galvano-Cautery

圖四十九第 (機電用況)と一たすとんば



白金燒灼子或ハ燒灼蹄係ヲ以テ行フ、電源ハ蓄電池又ハ變壓器(ばんミス)等ヲ用フニ良トス。

術式 切除ニハ白灼熱ヲ用ヒ、收斂

ノ目的ニハ赤灼ヲ以テス。白灼ノ後ニハ出血ヲ來ス場合アリ。
應用 惡性又ハ出血性腫瘍ノ除去、鬱血性下甲介肥大ノ收斂、喉頭結核ノ腐蝕。

圖 五 十 九 第
子 灼 燒 川 鼻



a 穿刺燒
灼用
b 平面燒
灼用
c 熱蹄係
用

圖 六 十 九 第
柄 把 用 汎 用 灼 燒 氣 電

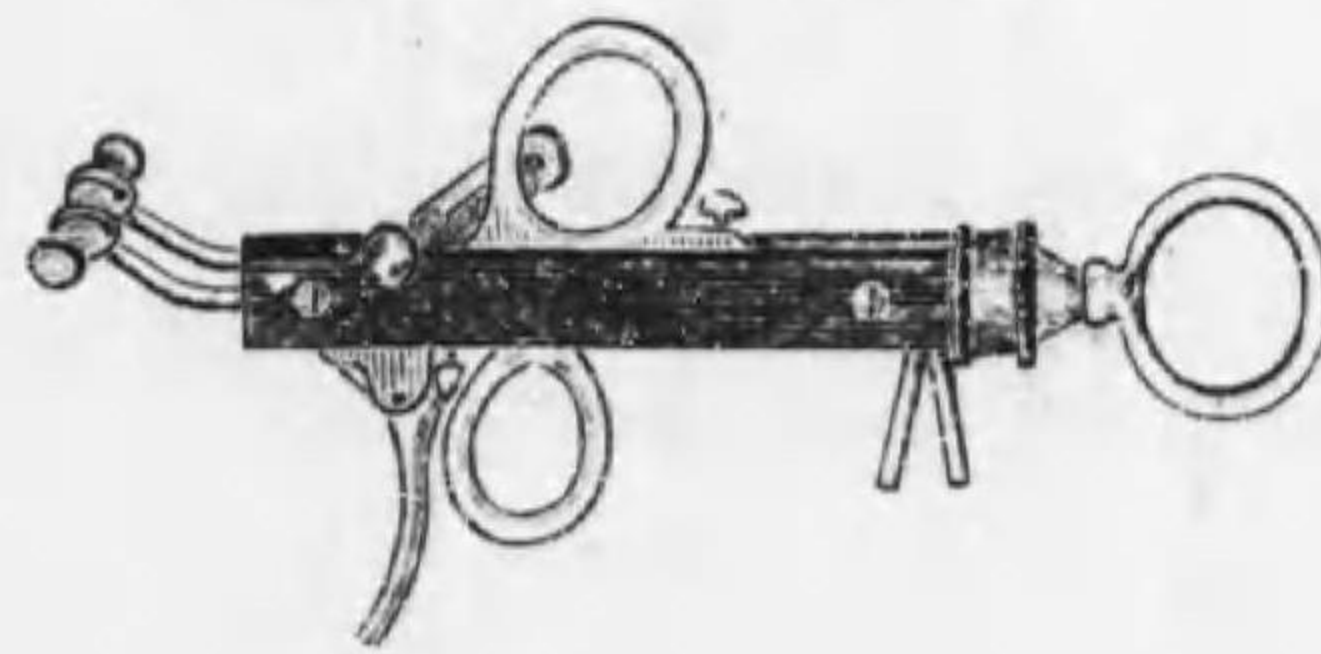


圖 七 十 九 第
子 灼 燒 頭 喉



第六章 救急療法

第一節 衄血 Epistaxis Nasenblutung Nasal hemorrhage

第一項 特發衄血

キーゼルバハ氏局所ヨリスルモノ多シ、頭部ヲ高舉シ、鼻翼ヲ中隔前端ニ向ツテ壓附ス。再三反復スルモノハくろーむ酸ヲ以テ出血點ヲ腐蝕ス、婦人ハ代償月經トシテ衄血ヲ來スコトアリ、極メテ多量ノ衄血ハ手術後出血ニ準ズ。

第二項 手術後出血

原因 鼻内手術後ノ衄血ノ原因ハ多クハ手術創面トたんほんノ一致セザルコト或ハ切斷片ノ残留ニヨルカ或ハ副鼻腔骨創面ニ露出セル動脈ヨリ來ル。

第三項 鼻出血ノ止血法

(一)鼻内が一ぜたんほん。反射光線指導ノ下ニ第一ノが一ぜハ二折シテ折返シタル端ヲ後方ニ向ヒテ挿入シ之ヲ創面ニ適合セシメ其兩葉間ヲ開キテ此間ニ第二第三ノが一ぜヲ挿入ス。

(二)上顎竇内たんほん、口腔手術創面ノ縫合ヲ開放シ、骨創ヨリ竇腔内ニが一ぜヲ挿入シ、二十四時間ノ後ニ之ヲ抽出ス、斯クスレバ創口ノ癒合モ遅延スルコトナシ、(術者ニヨレバ口腔切創ヲ縫合セズ手術後常ニ竇内たんほんヲ行フ者アリ)。

(三)ベロック氏栓塞。極メテ重篤ナル衄血ニ行フ最後ノ方法ナリ。同氏管ノ尖端ニ縫合絲ヲ附シ管ヲ鼻内ニ挿入シ其端ノ螺旋ヲ右方ニ廻轉シテ内軸ヲ一度抽出シテ再ビ挿入スレバ尖端ノ彈機裝置ハ軟口蓋ヲ廻リテ口腔ニ表ハル茲ニ於テ其部ニ附シタル縫合絲ニが一ぜ球ヲ附シ

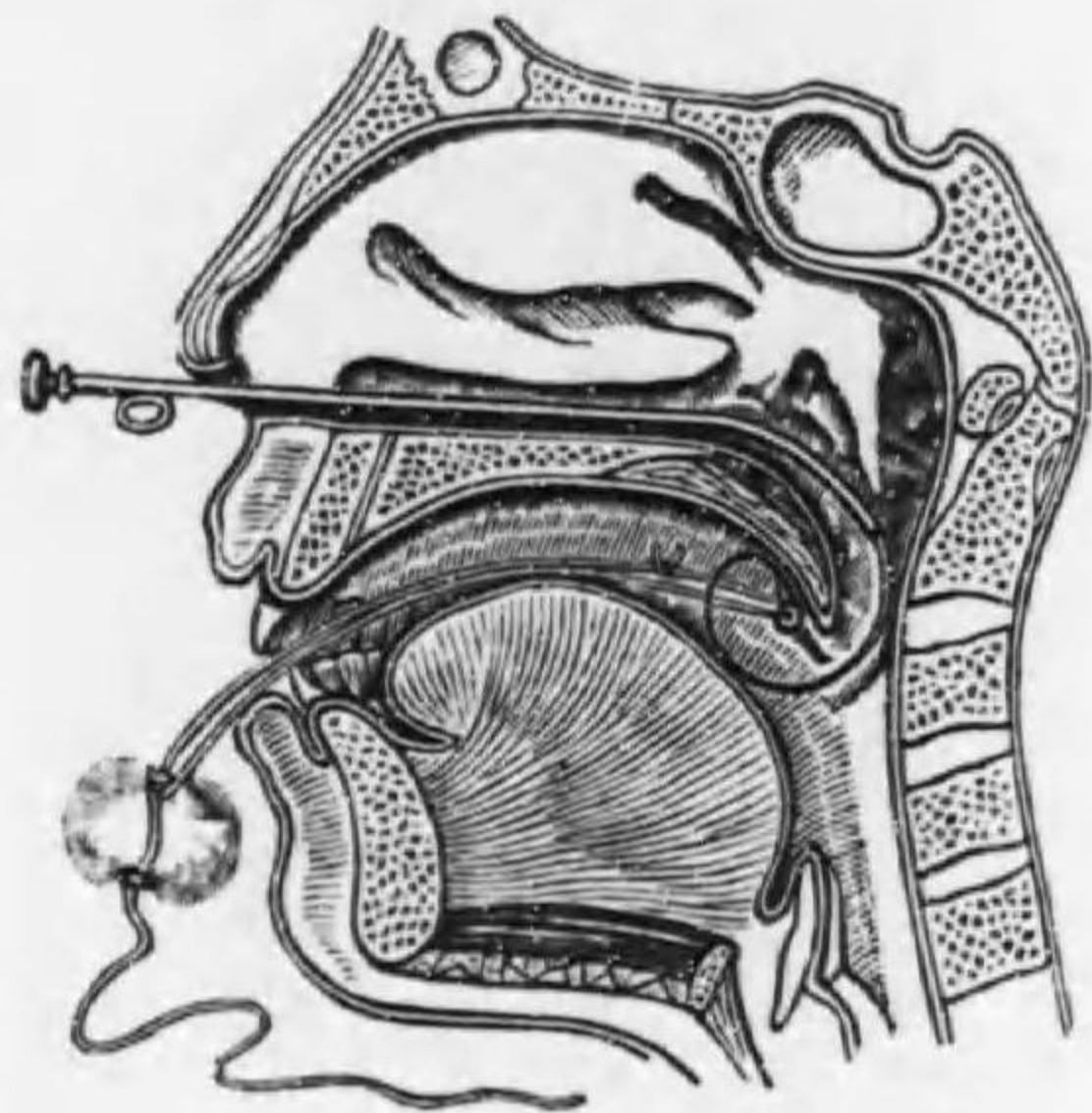
圖 八 十 九 第

管 氏 ク ヲ ロ ベ



圖 九 十 九 第

法 塞 栓 氏 ク ヲ ロ ベ



内軸ヲ抽出シツツ指頭ニテが一ぜ球ヲ鼻咽腔ニ送り此部ヲ堅ク栓塞シ、之ニ附セル結紮絲ヲ鼻口ニ抽出シ此端モ亦が一ぜ球ニテ堅ク栓塞シ鼻腔ヲ前後口ニ於テ密閉シテ止血ス。此方法ハ急性化膿性中耳炎ヲ誘發スルコト皆無ナラズ、栓塞ハ二十四時間以上放置スベカラズ。

第四項 衄血ニ際スル各種ノ注射法

(一)止血劑ノ注射

(a)けらちん(内服又ハ注射)。注射ヲ確實トス、注射用けらちんハ嚴重ナル殺菌消毒ヲ要ス故ニ信用アル製劑ヲ用フルヲ安全トス(メルク會社製注射用無菌けらちん、三共株式會社ノ注射用無菌けらちん、又ハかるちうむけらちん液、武田商店又ハ鈴村氏滅菌けらちん又ハあなぶこー

るけらちん液)。注射セントセバけらちんヲ加温液化セシメ肩胛間部又ハ上腿ノ皮下ニ注射ス。
 用量一回一〇%液一〇乃至二〇蚝トシ、止血スルマデ毎日反復注射ス。

(b)くろーるかるちうむ。一乃至二%液トシテあんぶれニ容レ殺菌セルモノ良シ、一回五乃至二〇蚝ヲ靜脈内ニ注射ス。

(c)こあぐれーん (Kocher-Fonio, Bern, 創製)水ニ可溶性ノ粉末止血劑、用ニ臨ミ新タニ生理的食鹽水若クハ殺菌蒸餾水ニ一乃至一〇%ノ割合ニ溶解シ二三分煮沸シテ殺菌(濁濁ヲ生ズルモ振盪使用シテ差閤ナシ)シテ使用、用量一乃至一〇%液一日五〇乃至一〇〇蚝ヲ皮下注射。
 (d)血清。健康動物又ハ人類ノ血清(四乃至八時間毎ニ一〇乃至三〇蚝注射)過敏症現象ヲ懼ルル場合ニハ再注射ノ都度採血動物ヲ變更スベシ。

(e)こあぐろーぜ(三共會社ヨリ發賣セル健康血清製劑)。用方一あんぶれーヲ血温ヨリ高カラザル殺菌水六乃至八蚝ニ溶解シテ注射。

(二)急性貧血ヲ來セルモノハ、食酸水又ハリンゲル液ノ注射ヲ要ス、而シテ(三)吐血アルモ

ノハ恐怖ト苦悶ニヨリ不安ナルガ故ニ鎮靜ノ爲メばんごほん、もるひね等ヲ注射スルヲ良シトス、(四)心臟機能衰弱ノ徴アレバ之ニ對シ有力ナル強心劑ノ注射ヲ要ス。一般ニ吐血ニヨル貧血死ハ稀ナリ。

第二節 咽頭及喉頭ノ手術ニ際スル出血

第一 口蓋扁桃腺手術後ノ出血。

多クハ實質的出血ニシテ、動脈出血ハ極メテ稀有ナリ(内頸動脈ハ扁桃腺門ノ外方一・五乃至二・五仙ニ在リ、直接損傷皆無。内頸動脈或ハ上行口蓋動脈ノ異常走行アレバ咽頭後壁ニ於テ側索ノ後方ニ搏動ヲ觸知ス)若シ有レバ扁桃腺動脈又ハ上行咽頭動脈分枝ノ損傷ナリ。

療法 血液凝固促進劑ノ注射。小出血ハ冷水又ハ收斂劑ノ含嗽(明礬・あるぞーるばるまん等)ニテ止血ス。奔出性出血ハ赤熱電燒又ハ止血鉗子ニテ壓迫スルカ或ハ扁桃腺止血器(ミクリツツ式・ステール式等)ニテ壓抵ス。全摘出ノ後出血ニテ創面ニがーせたんほんヲ充テ前後口蓋弓ノ縫合ヲ行フ。

第二 喉頭内手術ニ際スル出血。

殆ンド自然的ニ止血スルガ故ニ大出血ナシ、寧ロ局所麻醉ヲ施サレタル氣管内ニ吸入セラレタル血液ガ凝固塊ヲ作り窒息或ハ二次的肺炎ヲ誘起スルヲ危険トス。

第三節 呼吸困難及窒息

急性聲門水腫・兩側後筋麻痺・咽後膿瘍・喉頭實扶的里・氣管異物ノ際ハ即時氣管切開ト人工呼吸トヲ行ヒ次デ原因療法ニ及ブ。

第四節 異物

外聽道異物、耳洗法、止ムヲ得ザレバ器械的除去
鼻腔異物、ボリツェル氏法ニ從ヒ反對側ノ鼻腔ヨリ強キ通氣法ヲ行フ、止ムヲ得ザレバ器械的除去ヲ行フモノナリ、此際ハ異物體ヲ越ヘ後方ヨリ前方ニ擲ヒ取ル如キ動作ヲ要ス、咽頭ニ墜落セシムレバ喉頭氣管又ハ食道ニ移行スル懼アリ注意ヲ要ス。

咽頭異物 多クハ魚骨ナリ、鉗子ニテ除去シ得ベシ。

喉頭異物 梨子狀窩又ハモルガニ氏竇ニ介在ス、喉頭鏡ノ指導又ハ直達鏡ニテ摘出スルヲ得ベシ、聲門ニ簞頓セルモノハ直達鏡ニヨルヲ安全トス。

氣管異物 氣管切開ヲ行ヘバ多クハ創口ヨリ噴出セラルベシ、然ラズンバ直達鏡ヲ應用ス。
食道異物 直達鏡ニテ摘出、食道異物ノ胃内ニ移行セルモノハ殆ンド總テ肛門ヨリ排泄セラル。

第五節 腦貧血

鼻科手術ニ際シテハ腦貧血ヲ來スコト多シ。

診斷 皮膚蒼白・冷汗・惡心・嘔吐・眼華閃發・眩暈・脈搏微弱・深呼吸・胸中苦悶・高度ニ及ベバ搦搦・失神。

療法 手術ヲ中止シ(出血ノ懼アラバ止血法ヲ行ヒテ)頭部ヲ低クシテ仰臥セシメ、衣服ヲ緩ク

シ四肢ヲ高舉シ酒精類ヲ與フ。

第六節 急性コカイン中毒

普通手術ニ用フル量ニ於テハ稀有ニシテ、感受性アルモノニノミ之ヲ見ル。

症候 冷汗・瞳孔散大・口腔乾燥・咽頭異物感・呼吸困難・四肢痙攣・搖擗・噪暴状態・譫妄・虚脱。

療法 あみーるにこりっこノ吸入、人工呼吸、鞣酸、あるかり鹽類(重曹)ノ内服、又ハ胃洗りちね油内服、かんふる油注射。

第七節 腐蝕性藥物誤嚥ノ處置

通規 胃洗滌、解毒藥ノ投與、局所麻醉藥塗布。

A、あるかり中毒。

療法 一%酒石酸、枸櫞汁、蜜柑汁。

B、あむもにあ瓦斯吸入。

療法 人工呼吸、醋五〇・〇、溜水二〇〇・〇、吸入。

C、硝酸銀中毒。

療法 食鹽水ノ胃洗、冰片、牛乳、蛋白内服。

D、くろーむ酸及鹽類中毒。

療法 重曹水ノ胃洗、炭酸まぐねしあ重曹、鐵粉。

E、よーご中毒。

療法 澱粉五・〇、熱湯一〇〇・〇、或ハ煨性まぐねしあ。

F、鹽素酸加里中毒(含嗽劑ノ誤用)。

療法 胃洗、吐劑、醋酸かりうむ液、食鹽水注入、びろかるびん注射。

G、石炭酸及びぞーる中毒。

療法 吐劑、まぐねしあ、硫酸あるかり、砂糖、石灰。

救急療法

II、燐中毒。

吐劑、〇・一乃至三%過まんがん酸かりうむ又ハ一乃至三%過酸化水素水ノ胃洗。
I、昇汞中毒。

療法 吐劑、燐性まぐねしあノ胃洗、生卵白・牛乳。

J、鹽酸(硫酸・硝酸・鹽酸)中毒。

療法 燐性まぐねしあノ胃洗、内服。

第八節 血清中毒

原因 過敏性又ハ其素因アル場合血清再注射(殊ニ五日以後ノ再注射)ニ多シ。

症候 しよつく現象(呼吸困難、痙攣、血行障碍)ハ少ナク人體ニ就テハ寧ロ所謂血清病ノ形式ヲ探リ、注射ノ直後或ハ數時間内ニ發熱・關節痛及腫脹・全身發疹ヲ來スコト多シ。

豫防法 鹽化あざりなりん〇・五珪ノ豫防注射、又ハ血清ノ分割注射 Fraktionierte Injektion (先

ヅ極少量ノ血清ヲ注射シ患者ノ状態ヲ監視シ、漸次增量シツツ數回ニ分チテ注射)ヲ行フ。

療法 發病ニ對シテハ對照的療法ヲ行フ。

第七章 處方集

第一節 診察場ニ常備スベキ藥品

- 一% 鹽酸こかいん水溶液 一〇 耗
- 二% 同上 一〇 耗
- 五% 同上 一〇 耗
- 一〇% 同上 一〇 耗
- 二〇% 同上 一〇 耗
- 一% 滅菌鹽酸こかいん水溶液(注射用) 一〇 耗
- 五% のほかいん(或ハばんかいん)水溶液 一〇 耗
- 一% 滅菌のほかいん(或ハばんかいん)溶液 (注射用) 一〇 耗
- 一:一〇〇〇〇〇倍 鹽化あざりなりん溶液 一〇 耗

- 一・五〇〇〇〇倍 鹽化あざりなりん溶液
- 一・五〇〇〇〇倍 滅菌鹽化あざりなりん溶液 (注射用)
- 二% ぶろたるごーる溶液
- 五% 同上
- 一% 硝酸銀溶液
- 五% 同上
- 一〇% 同上
- 硝酸銀加硝石桿
- 結晶くろーむ酸

一% 鹽化亞鉛水溶液

二% 同上

ルゴール氏溶液

一〇% めんこーる||おれーふ油

五% あねすてじん|| (又ハちくろふおるむ)

おれーふ油

二% 食鹽水

〇・八五% 食鹽水

一% 昇汞酒精

過酸化水素水

二% 硼酸水

硼酸末

亞鉛華澱粉

二% りぞーる水

處方集

二% 石炭酸水

〇・五% あるぞーる (或ハあるみぞーる) 水

溶液

おたるがん

白降汞軟膏(處方参照)

町睥水

おるこふ るむ

あいろーる

でるまこーる

亞鉛華泥膏

二% ぴちろーる軟膏

ウキルソン氏軟膏

爹硫膏

ちくろふおるむ軟膏

- 五%ばるまん軟膏
- 注射用 ぢがーれん
- 同 かんふる油
- 同 一%鹽酸もるひね
- 同 ばんごほん(或ハなるこほん)

第二節 耳鼻咽喉科一汎的疾ノ處方

○濕疹

一、急性濕疹

- (撒布料)
- 一、亞鉛華 五・〇
- 澱粉 五・〇
- 右撒布料
- 二、亞鉛華 五・〇

- 注射用 ばんごほんIIすこほらみん
- 麻醉用 えーてる
- 麻醉用 くろろふおるむ
- 酒精
- シユライヒ氏局所麻醉藥

- 滑石 五・〇
- 右撒布料
- 三、あるぞーる撒布藥 (Athenstaedt & Redeker) 右撒布料

四、酸化亞鉛

- 炭酸まぐねしうむ 二・〇
- 白陶土 三・〇
- 赤陶土 三・〇
- 澱粉 一・〇
- 右撒布料
- 五、亞鉛華 各五・〇
- 泥葛根末 二・〇
- 滑石 二・〇
- 澱粉 一・〇
- 右撒布料
- 六、さりちーる酸 一・〇
- 滑石 一・〇
- 右撒布料
- 七、次硝酸蒼鉛 一・〇
- 處方集

滑石

- 右撒布料 一〇〇・〇
- 八、硼酸末 等分ノモノ 澱粉 右爲撒布料
- 九、硼酸末 等分ノモノ 澱粉 右爲撒布料
- 亞鉛華 等分ノモノ 澱粉 右爲撒布料
- 二、硝蒼 五乃至一〇〇
- 澱粉 一〇〇
- 右爲撒布料
- 三、でるまこーる 一〇〇
- 滑石 一〇〇
- 二五

右撒布料

三、でるまこーる

亞鉛華

澱粉

右爲撒布料

三、米澱粉

明礬末

亞鉛華

いりす根末

右撒布料

四、炭酸まぐねしうむ

酸化亞鉛

滑石

澱粉

右撒布料

一、澱粉

いりす根末

二、ぶろもこーる

亞鉛華

阿列布油

右爲泥劑塗布料(止癢用)

(塗布料)

一、ちもーる

酒精

右塗布料(癢痒ニ用フ)

二、石炭酸

酒精

三、石炭酸

酒精

らへんでる精

ケルン水

ぐりせりん

右塗布料(使用後撒布藥ヲ用フ)

四、さりちーる酸

酒精

らへんでる精

ケルン水

ぐりせりん

右塗布料(塗布後撒布藥ヲ用フ)

五、亞鉛華

處方集

各五・〇

各一五〇・〇

二・五

一・〇

各二五・〇

二・五

六、滑石末

澱粉

ぐりせりん

稀次硝酸鉛液

二%硼酸水

右塗布料(ベック氏りにめんミ)

七、ちくろふおるむ

おれーふ油

右塗布料(止癢止痛)

八、亞鉛華

二三七

各一〇〇・〇

四〇・〇

各一〇〇・〇

〇・五

二五・〇

三〇・〇

おれーふ油 二五・〇

右混和泥劑トシテ外用

九、亞鉛華 三〇・〇

おれーふ油 二五・〇

いひちおーる 一・〇

右塗布用

一〇、硼酸末 五乃至一〇・〇

華攝林 一〇〇・〇

右混和爲塗布料

一一、白降汞 二・〇

華攝林 各五〇・〇

刺納林 各五〇・〇

右一日數回鼻前庭濕疹塗擦

一二、單鉛軟膏 二〇・〇

おれーふ油 二〇・〇

右塗擦用

一三、赤降汞(又ハ黃降汞) 〇・二

わぜりん 一五・〇

右患部塗布

一四、つめのーる 各三・〇

澱粉 各二五・〇

亞鉛華 各二五・〇

ぐりせりん 一五・〇

餡水 一〇〇・〇

右塗料

一五、硝蒼 一〇・〇

華攝林 一〇〇・〇

右混和爲外用

一六、白色酸化亞鉛 各一二・五

澱粉 乃至二五・〇

華攝林 一〇〇・〇

右ばすたト爲シ外用

一七、黃降汞 一・〇

華攝林 五〇・〇

刺納林 五〇・〇

右混和爲外用

一八、白降汞 二・〇

華攝林 五〇・〇

刺納林 五〇・〇

右混和爲外用

一九、知母爾 一・〇

阿列布油 五〇・〇

右混和爲外用

(痂皮軟化ノ目的)塗擦料

二〇、亞鉛華 各二五・〇

澱粉 各二五・〇

わぜりん 五〇・〇

さりちーる酸 一・〇

右塗擦料(ラッサル氏撒酸ばすた)

二一、つめのーる 五・〇

亞鉛華 各二五・〇

澱粉 各二五・〇

わぜりん 五〇・〇

右塗擦料

二二、單鉛硬膏 各一〇〇・〇

亞麻仁油 各一〇〇・〇

右塗擦料(ヘブラ氏膏)

三、單鉛硬膏

わぜりん

各三〇・〇

右爲塗擦料(カボシ氏鉛わぜりん軟膏)

二四、木爹兒

二乃至五・〇

白色酸化亞鉛

澱粉

各二二・五

華攝林

右混和爲外用

一〇〇・〇

二五、攝兒矢爾酸

一乃至二・〇

酸化亞鉛

澱粉

各二五・〇

華攝林

右混和爲外用(ラッサール氏泥)

五〇・〇

二六、安息香酸末

豚脂

三・七五
一八〇・〇

右混和二十四時間文火ニテ攪拌シツツ

酸化亞鉛ヲ混ズ

右外用(ウキルソン氏軟膏)

二七、ちおのーる

三・〇

亞鉛華

五・〇

安息香酸

一・〇

ウキルソン氏軟膏

豚脂

三〇・〇

(ちおのーるウキルソン氏軟膏)

二八、樺爹兒

精製硫黃

亞鉛華

豚脂

各一〇・〇

(爹硫膏)

三〇・〇

右塗擦用

二九、五%びちろーる軟膏

(松浦氏法ちゅーぶ入)

右塗擦料

(罨法料)

一、硼酸

六・〇

餾水

二〇〇・〇

右罨法料

二、二%ばるまん溶液

二〇〇・〇

○皮膚丹毒

(外用藥)

一、ちおのーる(或いひちおーる)

五・〇

くろろふおるむ

五・〇

處方集

右罨法料

三〇、ブロー氏液

右罨法料

二〇〇・〇

四、二%硼酸水

一〇〇・〇

次硝酸蒼鉛

二・〇

右罨法

五、あるぞーる(又ハあるみぞーる)

一・〇

水

二〇〇・〇

右罨法料

樟腦丁幾

五〇・〇

右塗布料

いひちおーる

各五・〇

- ころぢうむ 一〇・〇
- 右塗布料
- 二、ちおのーる(或いひちおーる) 三・〇
- ころぢうむ 一〇・〇
- えーてる 五・〇
- 右塗布料
- 三、いひちおーる 各一〇・〇
- わぜりん
- 右一日二乃至四回塗布
- 四、いひちおーる 各五・〇
- えーてる
- ころぢうむ 一〇・〇
- 右塗布料
- 五、いひちおーる 各八〇・〇

- 澱粉 八〇・〇
- 蛋白 二・〇
- 餾水 四〇・〇
- 右塗布料(ウシナ氏方)
- 六、れぞるちん 一〇・〇
- 豚脂 三〇・〇
- 右爲塗布料
- れぞるちん 五・〇
- 酒精 一〇・〇
- 七、ぐりせりん 各二五・〇
- 餾水
- 右毛生部塗布
- 八、ちけのーる
- 右塗擦料

九、

- ちけのーる 各一〇・〇
- えーてる精
- ころぢうむ 二〇・〇
- 右塗布料
- 一〇、亞鉛華 各二五・〇
- おれーふ油
- 右塗布料

(内川藥)

- 一、硫酸きにーね 一・〇
- 白糖 二・〇
- 右爲五包一日三乃至五包
- 二、樟腦 〇・一五
- 白糖 一・五
- 右分三包一日分

○皮膚狼瘡(結核ノ部ヲモ參照)

- 一、三%れぞるちん軟膏
- 右塗擦料
- 二、一〇%焦性没食子酸軟膏

- 三、硝酸銀桿
- 右塗擦料
- 右結節腐蝕川

○癬瘡(耳及鼻ノ)

一、白降汞

一・〇

華攝林

各五〇・〇

刺納林

右混和(たんほん)綿栓塗布料トナス

白降汞

一・〇

荳蓉越幾斯

一・五

刺納林

各二〇・〇

華攝林

たんほん塗布料

二、おいろふえーん

五・〇

流動ぱらふるん

一〇・〇

右混和同上塗布料トナス

三、醋酸礬土

五・〇

刺納林

五〇・〇

右混和同上塗布料トナス

四、いひちおーる

五・〇

刺納林

一〇・〇

右混和同上塗布料トナス

五、醋酸礬土

一・〇

鉛糖

一・五

縮水

一〇〇・〇

右耳卷法料ト爲ス

六、ブロー氏液

右卷法料

七、二%ぱらまん溶液

八、阿片越幾斯

〇・〇一

けらちん

適宜

右混和爲坐藥一個一日一回乃至四回外

聽道ニ一個宛挿入

九、鹽酸莫爾比涅

〇・〇〇五

けらちん

適宜

右混和坐藥一個用法同前

○鼻翼瘡瘡

(内川藥)

一、精製硫黃

若干量

右朝夕一茶匙宛分服

二、精製硫黃

各一分

茴香末

旃那末

甘草末

白糖

六分

處方集

二〇、さりちーる酸

一・〇

松脂硬膏

九・〇

右爲外聽道坐藥、一日一回乃至二回挿入

入

(外用藥)

三、硫黃華

一一・〇

かんふる

一・〇

護謨漿

六・〇

石灰水

一〇〇・〇

ろーぜ水

一〇〇・〇

右クンメルフェルド氏液、毎夕一回振

盪液又ハ沈澱物ヲ塗布ス

四、昇汞

亞刺比亞護膜

偲利設林

苦扁桃水

酒精

餹水

右晝間塗布

〇・一

五・〇

五・〇

二〇・〇

二五・〇

一〇〇・〇

五、昇汞

亞鉛華

偲利設林

苦扁桃水

餹水

右同上

〇・二

各一〇・〇

三〇・〇

一五〇・〇

六、硫黃華

偲利設林

かんふる丁幾

薔薇水

右用時振盪シテ塗布スベシ

七、硫黃華

亞鉛華

滑石

偲利設林

餹水

右毎夕塗布

八、ウキルソン氏軟膏

硫黃華

右外用

一五・〇乃至二〇・〇

一〇・〇

三〇・〇

五〇・〇

四〇・〇

六〇・〇

一〇・〇

一〇・〇

一〇・〇

三〇・〇

三〇・〇

九、刺納林膏(土肥方)

ちおのゝる

右朝夕瘡瘡上ニ薄ク塗布ス

頑症ニハ左ノ剝離軟膏ヲ使用スベシ其ノ

用法ハ毎日一時間宛厚ク塗布シテ數日ヲ

經テ表皮ノ黒褐色ニ變ジテ剝離スルニ至

レバ一旦中止シ其ノ上ニ亞鉛華軟膏ヲ貼

用ス

三〇・〇

三〇・〇

二、べーたなふミール

かんふる

華攝林

白堊

加里石鹼

硫黃華

右オステルライヒ氏方

各一〇・〇

五〇・〇

一五・〇

五〇・〇

處方

一、べーたなふミール

硫黃華

華攝林

加里石鹼

右ラッサール氏方

一〇・〇

五〇・〇

二〇・〇

二〇・〇

三、れぞるちん

撒里矢兒酸

硫黃華

澱粉

亞鉛華

華攝林

右エスチル氏方

各四・〇

各四・〇

二〇・〇

二〇・〇

四、べたなふこーる
撒里矢兒酸
れぞるちん

各五〇

○酒 皷

一、ちおのーる

四〇

亞鉛華

一〇〇

澱粉

一〇〇

ぐりせりん

一五〇

餹水

五〇〇

右毎夕塗布

二、硫黃華

一〇

樟腦精

二〇

らへんでる精

二〇

澱粉、硫黃華
華攝林、加里石鹼
右ベニエー氏方

各二五〇

香水

四〇

餹水

六〇〇

右毎夕塗布

三、硫黃、乳香、巴豆、輕粉

各等分

右四味爲末、撒布料

四、精製硫黃

四〇

れぞるちん

二・五

わぜりん

四〇〇

右塗布料(臨臥塗布翌朝洗除ス)

五、硫黃乳

一〇〇

ぐりせりん

各五〇

醋酸

右塗布料

六、沈降硫黃

炭酸かりうむ

各一〇〇

ぐりせりん

橙花水

酒精

七、ちのぞーる

三〇乃至五〇

ぐりせりん

水

八、沃度、沃度加里

各五〇

ぐりせりん

一〇〇

いひちおーる

一〇乃至五〇

れぞるちん

二〇乃至五〇

あらぶりん

二五〇

おれーぶ油

一〇〇

餹水

五〇〇

右塗布料

九、ちおのーる

一〇〇

亞鉛華

各二〇〇

澱粉

豚脂

五〇〇

右塗布料

○面 疱

- 一、沈降硫黄 三・〇
- らのりん 三〇・〇
- 二、精製硫黄 五・〇
- れぞるちん 二・五
- わぜりん 三〇・〇
- れぞるちん 五・〇
- 三、亞鉛華澱粉 各一・二・五
- わぜりん 五〇・〇
- 四、陶土 二〇・〇
- 右何レモ臨臥時局所ニ塗布翌朝洗滌ス

- ぐりせりん 一五・〇
- 醋 一〇・〇
- 右塗擦料
- 五、かり石鹼精 五〇・〇
- 右塗擦料
- 六、なふこーる 五・〇
- 沈降硫黄 二五・〇
- わぜりん 各一五・〇
- 綠石鹼 各一五・〇
- 右爲軟膏塗擦料

○凍 傷

- 一、いひちおーる 各一・〇
- 的列竝底油
- こころぢゅーむ 一二・〇
- 右混和爲塗布料
- 二、樟腦 〇・二
- 白臘 一〇・〇
- 亞麻仁油 一五・〇
- 右混和爲塗布料
- (ポリチエール氏劑)
- 三、ちくろふおるむ 五・〇
- わぜりん 九五・〇
- 右外用

- 四、石炭酸 一・〇
- 銀軟膏 各二〇・〇
- らのりん
- 扁桃油 一〇・〇
- らへんでる精 三十滴
- 五、樟腦 三・〇
- 右塗布料
- わぜりん 各一五・〇
- らのりん
- 右塗擦料
- 六、硝酸銀 〇・三
- べるばるさむ 三・〇

處方集

- わぜりん 三〇・〇
- 右塗擦料
- 七、樟腦精 各七・五
- 阿片丁幾
- 石炭酸 〇・六
- 酒精 各一五・〇
- 餽水
- 右塗布料
- 八、よーご 〇・二
- ころぢごむ 一〇・〇
- 右塗布料
- 九、よーご 〇・二

○上氣道粘膜炎急性加答兒性疾患

- 酒精 一〇・〇
- 右塗布料
- 一、よーご 各〇・二
- たんにん酸
- 蠟軟膏 三〇・〇
- 右塗布料
- 二、苛性加里 〇・五
- 酒精 各二〇・〇
- 酒 精
- ぐりせりん
- 餽水 六〇・〇
- 右外用(ベルツ水)

全身療法用處方

(發汗劑)

- 一、さりぴりん 〇・五乃至一・〇
- 右爲一包一日二乃至三包
- 二、あんちぴりん 〇・五
- 右爲一包一日二乃至三回一包
- 三、ふえなせちん 〇・二五
- 右爲一包一日二包
- 四、ぴらみざん 〇・二乃至〇・三
- 右爲一包一日三回一包宛
- 五、あすぴりん 〇・三乃至〇・五
- 右爲一包一日三回一包宛

處方集

A. 汎發性急性加答兒

- 六、のぐあすぴりん 〇・五乃至一・〇
- 右爲一包一日三回一包宛
- 七、あすぴふえにん錠 (二錠〇・五、一日二乃至三錠)
- 八、さりちる酸きにーね 〇・二
- ふえなせちん 〇・一五
- 樟腦 〇・〇二五
- 右爲一包一日六包
- 九、鹽酸きにーね 〇・二
- 右爲一包、一日三回
- (鎮靜劑)
- ふえなこちん錠

右一錠宛頭痛時

二、みぐれにん

〇・三乃至〇・五

右爲一包頓服

三、ドーフル氏散

〇・五

右爲一包頓服

(鎮咳劑)

一、せねが根浸

(五・〇)乃至一八〇・〇

あんもにあ茴香精

三・〇

あるてあ舎利別

二〇〇・〇

右毎二時一茶匙宛

二、せねが根浸

五・〇乃至二〇〇・〇

あんもにあ茴香精

五・〇

燐酸こでいん

〇・一

單舎

八・〇

右二日分一ヶ三回分服

三、ぶろちん

一・〇乃至二・〇

杏仁水

六・〇

燐酸こでいん

〇・一

單舎

八・〇

餽水

二〇〇・〇

右二日分、一日三回分服

四、ぶろちん

一・〇

燐酸こでいん

〇・〇六

乳糖

〇・五

右爲三包一日三回分服

五、鹽酸もるひね

〇・一

杏仁水

一〇〇・〇

右混和咳嗽時

十三滴

六、鹽酸へろいん

〇・一

杏仁水

一〇〇・〇

右混和咳嗽時十五滴

七、燐酸こでいん

〇・〇三

乳糖

〇・五

右爲一包咳嗽時一包

八、燐酸こでいん

〇・一

杏仁水

一〇〇・〇

右混和咳嗽時十五滴

九、ばんさほん

〇・〇二

B. 急性鼻加答兒

一、のほかいん(或ハばんかいん) 〇・〇一

一千倍鹽化あざれなりん(又ハほすみん)

二〇滴

硼酸

〇・三

餽水

一〇〇・〇

右小兒急性鼻炎に點鼻

乳糖

〇・五

右爲三包咳嗽時一包

二、ぢおにん

〇・三

餽水

二〇〇・〇

右咳嗽時十五滴

二、めんこーる

二・〇

流動ばらふいん

五〇・〇

右點鼻

三、石炭酸

各五・〇

苛性安母尼亞液

酒精

一五・〇

餾水

一〇・〇

右混和五乃至十滴ヲ手巾又ハ海綿ニ浸シ毎二時數分時嗅引(ハーゲルブラン

ト Hager-Brand 氏法)

四、鹽酸古加乙涅

〇・二五

餾水

一五〇・〇

薄荷腦油

二滴

右混和一日數回噴霧法ヲ行フ。(但シ

兩三日間ニ限り使用ヲ許ス)

五、薄荷油

一・〇

おいかりぶっす油

一〇・〇

右手巾に滴して嗅入

六、えすごらーる

右小綿栓ニ浸シ鼻入口ニ插入嗅入

七、こりふいん(えちーるぐりこーるめんご

ーる)

同上

八、ふおるまん、(又ハるる)(化學的ニハ

$C_{10}H_{19}O_2CH_2Cl$)

同上

九、こりつおーる(ふおるまりんとおいかりぶ

っす油トノ合劑)

同上

一〇、鹽酸こかいん

〇・一

薄荷腦

〇・一

乳糖

一〇・〇

右研和一日三回鼻内吹粉

二、れのふおるむ(すぶられにん、硼酸トノ

合劑)

一六、鹽酸こかいん

〇・四

れぞるちん溶液(〇・一)

一〇・〇

右一日三回十乃至十五滴綿片ニ浸漬鼻

内插入

一七、鹽酸こかいん

〇・二

鹽酸もるひね

〇・〇五

硝蒼

一〇・〇

右研和一日數回少量宛鼻内吹粉

一八、硝酸銀

一・〇

陶土

二〇・〇

右混和鼻内吹粉

餾水

一〇・〇

右混和五乃至十滴ヲ手巾又ハ海綿ニ浸シ毎二時數分時嗅引(ハーゲルブラン

ト Hager-Brand 氏法)

四、鹽酸古加乙涅

〇・二五

餾水

一五〇・〇

薄荷腦油

二滴

右混和一日數回噴霧法ヲ行フ。(但シ

兩三日間ニ限り使用ヲ許ス)

五、薄荷油

一・〇

おいかりぶっす油

一〇・〇

右手巾に滴して嗅入

六、えすごらーる

右小綿栓ニ浸シ鼻入口ニ插入嗅入

C. 急性咽頭加蓋兒

右一日數回鼻内吹粉

三、りのくりん(ばらねふりんトあねすてじ

んとノ合劑)

同上

三、あねすてじん

右同上

四、そごよぎーるなごりうむ

二・〇

硼酸末

六・〇

同上(加蓋兒ノ初期ニ用フ)

一五、鹽酸こかいん

〇・一乃至〇・三

れぞるちん溶液(〇・一)

一〇・〇

右一日數回五乃至十滴鼻内點滴

(内服藥)

- 一、あすぴりん糖 各〇・五
右混和爲一包一日三回一包宛服用
- 二、安息香酸 〇・六
達刺侃篤末 〇・四
- 白糖 各適宜
單舍利別 各適宜
右爲錠劑十個一日三回三個宛服用
- 三、鹽素酸加里 〇・三
達刺侃篤末 〇・四
白糖 各適宜
單舍利別 各適宜
右錠劑一個ニ作與十個一日三回一乃至
- 四、めんこーる 〇・五
重炭酸なこりーむ 二・五
糖末 一・〇
亞刺比亞護謨 〇・五

(外用藥)

- 二個宛服用
- 一、格魯兒亞鉛 二・〇乃至三・〇
偲里設林 三〇・〇
餽水 三〇・〇
右爲塗布料一日一回宛
- 二、明礬 二・〇
薄荷水 二〇・〇
水 四〇〇・〇
右爲含嗽料一日分
- 其他含嗽ハあんぎーなニ準ズ
- 三、めんこーる 三・〇
最白流動ばらふるん 三〇・〇
右爲塗布料一日一乃至二回塗布

D. 急性喉頭加答兒

(内川藥)

- 一、ぜねが浸(三・〇乃至四・〇) 一〇〇・〇
鹽酸もるひね 〇・〇一五
杏仁水 四・〇
單舎 八・〇
右混和一日四回分服
- 二、鹽酸あほもるふね 各〇・〇一五
鹽酸もるひね

單舍利別

- 適宜
- 五、〇・五%ばるまん溶液 適宜
右含嗽料

稀鹽酸

- 一・〇
- 單舎 八・〇
- 餽水 一〇〇・〇
右混和一日三回分服
- 三、食鹽 各二・〇乃至四・〇
重曹 各二・〇乃至四・〇
臭那 二〇〇・〇
水 二〇〇・〇

處方集

右混和爲吸入料

四、古塚乙涅 〇・一五

杏仁水 各一〇・〇

酒精 各一〇・〇

右爲滴劑一日三回十滴宛

五、へろいん 〇・〇〇五

乳糖 〇・五

右爲一包與六包一日三回一包宛

六、食鹽 四・〇

いひちおーる 三・〇

水 二〇〇・〇

右混和爲吸入料

七、鹽酸もるひね 各〇・〇一五

鹽酸あほもるひね

乳糖 二五〇

八、鹽酸きにーね 右一日分トシテ三回分服 一・五

礮砂 一・五

甘草末及煎 二・五

右五十九トナシ一日三回三粒ヅツ 適量

九、臭剝 六・〇

鹽酸こかいん 〇・二

餽水 二〇〇・〇

右吸入料一回五〇ヅツ

一〇、たんになん酸 〇・一

餽水 一〇〇・〇

右吸入料

一一、荳蓉越幾斯 〇・一

白糖 二二・〇

右混和十包トナシ一日三回一包ヅツ

三、ミーぶる酸 一・〇

乳糖 〇・五

右分三包一日三包

E小兒ニ對スル特別ノ處方

三、吐根浸(〇・三) 一〇〇・〇

ひよす越幾斯 〇・一

橙皮舍利別 五・〇

右每一時小兒匙

四、ひよす越幾斯 〇・二

あらびあごむ漿 二〇・〇

杏仁水 五・〇

單舎 三〇・〇

處方集

右爲舐劑毎二時一茶匙

一、礮砂 各八・〇

重曹 三〇・〇

ぐりせりん 三〇・〇

餽水 三七〇・〇

右混和爲洗滌料一日二三回灌洗

二、食鹽 各八・〇

重曹 各八・〇

ぐりせりん 三〇・〇

餽水 三七〇・〇

右同前

三、礮酸 各八・〇

重曹 各八・〇

ぐりせりん 三〇・〇

硼水 三七〇・〇

右同前

四、めんじーる

〇・一

硼砂 五・〇

白糖 五・〇

右爲鼻腔吹撒料單純性鼻炎ニ一日二、三回應用

五、硝蒼 五・〇

白糖(又ハ硼酸末) 一〇・〇

右爲鼻腔吹撒料單純性鼻炎ニ一日二乃至三回吹入

六、ぞつおよごーるなごりゅーむ 三・〇

硼酸末 六・〇

右爲鼻腔吹撒料單純性鼻炎ニ一日三四

回吹入

七、薄荷腦 〇・一乃至〇・二

硼酸末 五・〇

澱粉 五・〇

八、酒石炭醋酸礬土 一分

硼酸粉末 一乃至二分

右混和爲吹撒料

九、鹽酸こかいん 〇・二

硝酸銀 一・〇

陶土 二〇・〇

右研和爲吹撒料一日二乃至三回

二、沃度 〇・五

沃度加里 二・五

ぐりせりん 一・二五〇

右混和爲塗布料一日一乃至二回

二、食鹽 〇・六

常水 一〇〇〇・〇

右鼻腔洗滌料

三、重曹 一・〇

○慢性肥厚性鼻咽腔炎

一、硝酸銀 一・〇

餾水 二〇〇・〇

右爲塗布料每二日一回塗布

二、沃度 一・五

沃度加里 五・〇

堀里設林 五〇〇・〇

食鹽 〇・七

一千倍鹽化あぎれなれりん水溶液

水 十滴

右鼻腔洗滌料 一〇〇〇・〇

薄荷腦油 七滴

右混和每二日一回塗布

三、ぷろたるごーる 二・五乃至五・〇

餾水 五〇〇・〇

右爲塗布料一日一回塗布

四、沃度 〇・五乃至一・〇

- 沃度加里 一・〇乃至二・〇
- 偲里設林 三〇・〇
- 右混和毎二日一回塗布
- 五、格魯兒亞鉛 一・五
- 餛水 四〇・〇
- 薄荷腦油 七滴
- 偲里設林 一〇・〇

○慢性咽頭加答兒

- 一、沃度 〇・五
- 沃度加里 二・五
- 偲里設林 二五・〇
- 右混和一日一回塗布 (ルゴール氏弱液)

- 右混和毎日一回塗布
- (副鼻腔洗滌液)
- 一、生理的食鹽水
- 右副鼻腔洗滌料
- 二、〇・二乃至〇・一%りばのーる溶液
- 右副鼻腔洗滌液

- 二、沃度 〇・七五
- 沃度加里 二・五
- 偲里設林 二五・〇
- 右每二乃至三日一回塗布 (ルゴール氏液中等液)

- 三、沃度 一・〇
- 沃度加里 二・〇
- 偲里設林 二五・〇
- 右每二乃至三日一回塗布 (ルゴール氏強液)
- 四、ぞつおよーぎる亞鉛 三・〇乃至五・〇
- 刺納林 五〇・〇
- 溶製ばらふいん 五〇・〇
- 右混和爲塗布料毎一日乃至二日一回宛
- 五、ぞつおよぎーる亞鉛 一・〇乃至二・〇
- 澱粉 一〇・〇
- 右混和爲吹撒料一日一回宛
- (含嗽藥)
- 一、あるぞーる(又ハあるみぞーる) 二・〇

- 餛水 四〇〇・〇
- 右含嗽料
- 二、〇・五%ばるまん溶液
- 右含嗽料
- 三、礪砂 二・〇
- みるら丁幾 四・〇
- 餛水 二〇〇・〇
- 右含嗽
- 四、らたにあ丁幾 一〇・〇
- 淨水 五〇〇・〇
- 右含嗽料
- 五、皓礬 二・五
- 薄荷水 各二五〇・〇
- 淨水

右含嗽

○慢性喉頭加答兒

- 一、一乃至二%くろーる亞鉛水
右注入料
- 二乃至五%ぶろたるごーる
五千倍鹽化あざれなりん
右注入料
- 二、ぞつおよごーる亞鉛 一・〇乃至二・〇
乳糖(若クハ滑石) 一〇・〇
右混和一日一回宛約小豆大量ヲ發聲時
ニ吹撒ス
- 三、明礬
澱粉
等分ノモノ

○慢性乾性喉頭炎

- 一、沃度加里 一・〇
純沃度 〇・二
肝油 一五・〇
薄荷油 二滴
右混和爲喉頭内注射一日一回宛發聲時
注入(まんごる液)
- 二、おいろふえーん 一・〇
甘扁桃油 一〇・〇
右混和毎日一回發聲時喉頭内注入
- 三、沃度加里 一・五

○削瘦性鼻炎

- 四、硝酸銀 〇・〇五乃至〇・二
滑石 一〇・〇
右混和爲吹撒料
- 五、單寧
澱粉 等分ノモノ
右混和吹撒料一日一回吹撒
- 六、礫 砂 各二・〇
ぐりせりん
餾水 一〇〇・〇
右吸入料

- 純沃度 各〇・五
石炭酸
肝油 一五・〇
餾水 五〇・〇
右混和水ヲ加へ稀釋シ武蘭埜色トナシ
毎日一回喉内注入
- 四、めんごーる 一・〇
阿列布油 一〇・〇
右混和一日一回喉内注入

- 一、沃度加里 一・〇
- 沃度 〇・二五
- ぐりせりん 二〇・〇

○實扶的里

- 一、石灰水 二〇〇・〇
- 右含嗽料
- 二、鹽剝 五・〇
- 薄荷油 二滴
- 餽水 二〇〇・〇
- 右含嗽料
- 三、あるぞーる 一・〇乃至二・〇
- 淨水 二〇〇・〇
- 右含嗽料

薄荷油 二滴
右鼻内栓塞用一日二三回交換

- 四、安息香酸なごりうむ 一〇・〇乃至二〇・〇
- 餽水 二〇〇・〇
- 右吸入料
- 五、炭酸りちうむ 〇・五乃至四・〇
- 餽水 二〇〇・〇
- 右吸入料
- 六、石灰水 各五〇・〇
- 餽水

右吸入料

七、乳酸

餽水

五・〇乃至一〇・〇

二〇〇・〇

右一回吸入料

八、臭剝

沃剝

各四・〇

餽水

二〇〇・〇

右吸入料

九、おいかりぶっす油

酒精

五・〇

水

二〇〇・〇

右五回ニ分チ吸入

ざろーる

六・〇

二〇、酒精

九〇・〇

處方集

餽水

右咽頭塗布料

一〇・〇

二、薄荷腦

過くろーる鐵液

三・〇

ころおーる

三・〇

酒精

三五・〇

右咽頭塗布料(レフレル氏液)

三五・〇

三、昇汞

酒石酸

〇・五

餽水

五〇〇・〇

右咽頭塗布料

三、れぞるちん

三・〇

ぐりせりん

三〇・〇

右塗布料

四、よーご

酒精

くろろふおるむ

右塗布料

五、硼酸

ぐりせりん

留水

右塗布料

〇・四

二〇・〇

二・〇

五・〇

各一〇・〇

〔實扶的里後麻痺〕

一、硝酸すこりきにーね

留水 一〇・〇

右二分ノ一乃至一筒皮下注射

二、蕃木髓丁幾 五・〇

復方桂皮丁幾 一〇・〇

右一日二乃至三回十滴宛

〇猩紅熱咽頭炎

一、鹽酸こかいん

鹽化あざりなりん

ぶろたるごーる

水

〇・五

二・〇

一・〇

二〇・〇

右咽頭塗布料

二、石炭水

右含嗽料

二〇〇・〇

〇いんふるえんざ

急性加答兒性咽上氣道加答兒ニ準ズ

〇痲疾

〔鼻痲〕

一、五%ぶろたるごーる

鹽化あざりなりん

右點鼻一日數回

二、そぞよぎーるなごりうむ

硼酸末

右混和鼻内吹粉料

一〇・〇

一・〇

一・〇

六・〇

〔口腔痲〕

三、一%こるらるごーる

右口腔内塗布

四、〇・五%硝酸銀

右口腔内塗布

五、かみつれ浸

右口腔清淨用

〇馬鼻疽

- 一、苛性かり
右局所腐蝕用
- 二、硝酸

○放線狀菌病

- 一、沃度加里
苦味丁幾
單舍

○・六乃至八
二・〇
五・〇

- 三、石炭酸
右局所腐蝕用

○亞布答

- 一、硼砂
ぐりせりん
右塗布料
- 二、ひのりん

五・〇
二五・〇
〇・四

水
右一日三回分服

一〇〇・〇

- ぐりせりん
酒精
右塗布料

一〇・〇
一〇・〇

○鴛口瘡

- 一、過まんがん酸かりうむ
縮水
- 二、重曹
右口内洗滌用
縮水

〇・〇五
二〇〇・〇
八・〇
二〇〇・〇

- 三、硼砂
右口内洗滌用
- ぐりせりん
右口内清拭用

五・〇
一五・〇

○眞性臭鼻症

- 一、硼砂
かるほーる
ぐりせりん
蒸餾水
右鼻内噴霧料

四五〇・〇
一〇・〇
一〇〇〇・〇
二五〇〇・〇

- 二、生理的食鹽水
右鼻内噴霧料
- 三、〇・二五%過滿俺酸加里液
同上
- 四、〇・五乃至一・〇%重曹水

右鼻内噴霧料

五、食鹽 一五・〇

重曹 一五・〇

水 一〇〇〇・〇

右洗鼻料一日三回洗滌法施行

六、重曹 一〇・〇

硼砂 二〇・〇

縮水 一〇〇〇・〇

右洗鼻料一日數回洗滌

七、食鹽 五・〇

鹽素酸加里 五・〇

縮水 五〇〇・〇

右鼻洗料一日三乃至四回

八、ありすこーる 〇・五

右鼻内撒布

九、硼砂 各二〇・〇

重曹 各二〇・〇

偲里設林 七〇・〇

縮水 九三〇・〇

右洗鼻料一日數回洗滌

一〇、いひちおーる 〇・一

薄荷腦油 四滴

偲里設林 一〇〇・〇

縮水 三七〇・〇

右洗鼻料一日二乃至三回

二、そづおよこーる亞鉛 一・〇

鹽酸古加乙涅 〇・二

華攝林 各五・〇

刺納林

右混和一日一回 (ゴットスタイン氏綿

栓法施行)

三、めんこーる 一・〇

華攝林 五〇・〇

右綿棒ニ塗抹粘膜按摩一日一乃至二回

三、いひちおーる 一・〇

刺納林 各五・〇

華攝林 各五・〇

右綿棒ニ塗抹粘膜按摩一日一乃至二回

四、硝酸銀末 〇・五

澱粉

右鼻内吹撒一日一回

五・〇

一五、ぢおにん 一・〇

硼酸末 九・〇

右混和一日數回鼻内清淨後吹粉

一六、ぢおにん 一・〇

蒸餾水 一〇・〇

右鼻内清淨後隔日一回塗布

一七、一〇%殺菌食鹽水 一二・五

右無痛狀態ニナシタル甲介粘膜ニ隔日

注射、八乃至十回反復

○上氣道微毒

〔乳兒ノ遺傳微毒〕

本症ハ主トシテ微毒性鼻炎トシテ吾人ノ處置スル場合多シ

一、さるばるさん製劑最モ有效ナレドモ其靜脈内注射ハ極メテ困難ニシテ大顛門ヲ通シ頭蓋内ノ矢狀靜脈竇ニ注射スルヲ可トス

二、水銀塗擦療法

水銀軟膏

緩和軟膏

各二・〇

右五剂量トシ時々塗擦（但シ短期ニ限ル）

三、内服藥處方

甘汞

一・〇

白糖

右分十五包、朝夕一包ヅツ八乃至十回

反復

四、第一沃度汞

白糖

一〇・二

右分十包、朝夕一包ヅツ

五、甘汞

含糖炭酸鐵

白糖

一〇・五

右研和散分十五包朝夕一包ヅツ

六、皮膚發疹又ハ潰瘍

赤降汞

〇・五

らのりん

わぜりん

各五・〇

右軟膏トシ局所ニ貼用

七、白降汞

〇・二〇

らのりん

わぜりん

各五・〇

右軟膏トシテ貼用

〔鼻閉塞〕

八、鹽化あざりなりん

二・〇〇

ぶろたるごーる

二・〇〇

縮水

二〇・〇〇

右點鼻料

〔後天微毒〕

一、局所療法

一、のほかいん

一・〇〇

ぶろたるごーる

二・〇〇

處方集

縮水、

一〇・〇〇

右咽頭塗布

二、よーぎ

〇・一

よーぎかりうむ

ぐりせりん

一・〇〇

水

一五・〇〇

右咽頭塗布

三、甘汞

〇・一

硼酸

一・〇〇

右潰瘍面ニ撒布

二、全身療法

A、注射療法

a. さるぐあるさん及其製劑

處方集

靜脈内注射ヲ良シトス、濃厚溶液ノ注射亦有效ナリ、本邦製劑決シテ輸入品に劣ラズ

b、水銀製劑

さるぐあるさんヲ併用シテ差問ナシ

一、さりちーる酸水銀

流動ばらふいん

二、昇汞

鹽化なごりうむ

縮水

右毎日一回一筒宛注射(三十乃至四十回反復)

三、甘汞

縮水

右毎日一〇珉宛加温臀筋内注射

d、蒼鉛製劑

一、むたのーる

一―二あんぶるヲ症状ニヨリ一日置キニ注射ス十本ヲ以テ一くーるトス十日間ノ間隔ヲ置キテ後經過ノ如何ニヨリくーるヲ反復スルヲ要ス、筋肉内深ク殊ニ臀筋内注射ヲ推奨ス

B、内服療法

a、水銀劑

一、たんにん酸水銀

阿片

甘草羔及末

處方集

おれーふ油

右爲乳劑每週一回一筒宛臀筋内注射

四、あずろーる

縮水

右注射料隔日一回三十回注射

五、いまみこーる

右隔日注射(三十回反復)

るえすちん

右隔日注射(二十乃至三十回)

六、一%青酸化汞

右一日一cc靜脈内注射一週一日休止ス

ルノ外連用ス

c、よーご製劑

一、よちびん

右百丸トナシ一日三回食後一丸乃至二丸

二、たんにん酸水銀

甘草羔及末

右六十九丸トナシ一日三回毎食後一乃至二丸

三、さりちーる酸汞

甘草末

龍膽越幾斯

右爲六十九丸、一日三回食後一丸

四、昇汞

食鹽

甘草羔及末

右爲三十九丸毎食後一丸宛

二六九

b、沃度劑

一、沃度鐵舍利別

餽水

每日三食匙

二、黃色よーぎ汞

甘草羔及末

右爲三十九一日三回食後一丸ヅ、

三、沃剝

龍膽末及越幾斯

右爲六十九一日三回五乃至一〇丸宛

四、よーぎすたりん錠

右一日二乃至六錠食後内服

五、さよちん錠(〇・五)

右毎日二乃至六錠

五〇・〇

一五〇・〇

〇・五

適量

三・〇

適量

六、沃剝

苦丁

單舎

餽水

右一日量三回乃至六回分服

七、沃剝

甘草羔

あるてあ末

ごむ漿

右爲三十九一日三回一乃至二丸分服

C、塗擦療法

灰白軟膏、水銀れぞるびん、水銀えれく

ころいぎ、よちおん、よーぎわぞけーん、

一〇%よーぎ軟膏等ノ塗擦

〇・六乃至二・〇

三・〇

五・〇

一〇〇・〇

一〇〇・〇

三・〇

一・〇

適宜

塗擦療法ハ、治療後ノ攝生の療法トシテ
行ハルルコト多シ、

D、燻煙療法

水銀劑ヲ燻煙シテ其蒸氣ヲ吸入ス、歴史

○上氣道ノ結核

A 粘膜炎瘡

一、潰瘍面ヲ搔爬シ五〇乃至八〇%乳酸ヲ以
テ腐蝕、其他ハ結核性潰瘍ニ準ズ

二、皮膚狼瘡ハ別項ニ在リ

B 一般療法的處置

的價值アルノミ實用ニ適セズ

E、チットマン氏煎

殆ンド歴史的價值アルノミ

一、くりそろがん Krysolgan

〇・一乃至〇・二

右新鮮一〇%溶液トナシ毎八乃至十日

目ニ靜脈内注射

C 潰瘍ノ鎮痛及治療

一、めんミール(薄荷腦)

五・〇乃至一〇・〇

- おれーふ油 一〇〇・〇
- 右潰瘍面塗布
- 二、めんこーる 五・〇
- ちくろふおるむ
- (或ハあねすてじん)
- おれーふ油 一〇〇・〇
- 右同上
- 三、ちくろふおるむ 一・〇
- こりふゐん 一〇〇・〇
- 流動ばらふゐん 五・〇
- おいかりぶこ油 〇・二
- 右混和塗布料
- 四、あねすてじん 一・〇
- こりふゐん 一〇〇・〇

- 流動ばらふゐん 一〇〇・〇
- 右混和塗布料
- 五、五〇乃至八〇%乳酸
- 右潰瘍搔爬ノ後塗布
- 六、鹽酸こかいん(或ハのほかいん又ハばん
かいん) 〇・二乃至〇・五
- 鹽酸もるひね 〇・二
- ぐりせりん 各五・〇
- 溜水
- 七、右潰瘍面塗布 一・〇乃至二・〇
- おれーふ油 一〇〇・〇
- 右潰瘍面塗布

八、おるこふおるむ

右吹入

一・〇

九、あねすてじん

薄荷腦

〇・五

〇・〇五

硼酸末

一・〇

右混和少量ヲ潰瘍面ニ向テ吸入

一〇、鹽酸こかいん(又ハのほかいん或ハばん

かいん)

〇・二乃至〇・五

鉛糖

二・〇

白糖

八・〇

右研和吹入料

D、バンチンステール氏

療法

處方集

〔第一法〕

A、沃剝

一乃至二・〇

苦丁

二・〇

單舎

五・〇

水

一〇〇・〇

B、過酸化水素水

一〇・〇

蒸餾水

四〇・〇

右一日量トシテA處方内用後三十分ヲ

經テ、Bノ處方ヲ吸入

〔第二法〕

A、第一吸入液

沃度なこりうむ

二・〇

水 二〇〇・〇

B、第二吸入液

おきしふる

四〇・〇

稀醋酸

一・〇

淨水

一六〇・〇

右第一液三〇乃至五〇吸入ノ直後

第二液五〇・〇乃至一〇〇・〇ヲ吸入

〔第三法〕

五乃至一〇%沃度なきりうむ 一〇・〇

右滅菌靜脈内注射

二十分乃至三十分ヲ經テ第二法第二吸入

液ヲ以テ吸入セシム

E、鎮咳ノ目的

一、臭剝

二・〇

鹽酸こかいん

〇・〇二乃至〇・〇五

水

五〇・〇

右一回吸入料

二、攝涅瓦浸

三・〇(一〇〇・〇)

杏仁水

四・〇

磷酸こでいん

〇・〇六

苦丁

三・〇

單舍

五・〇

右一日量三回分服

三、鹽酸へろいん

〇・〇〇三乃至〇・〇〇五

乳糖

〇・五

右混和爲一包咳嗽頻發時

四、阿片丁幾

一五滴

右咳嗽時頓服

五、鹽酸もろひね

〇・一

杏仁水

一〇・〇

縮水

一〇・〇

右一日三乃至五回十五乃至二十五滴宛

○咽頭癩

一、撒里矢爾散

〇・五

右爲一包與十包おぶらーミニ入レ一日

三回一包宛

第三節 耳科處方

○町聘栓塞

一、重曹

一・〇

ぐりせりん

五・〇

處方集

内用

六、磷酸こでいん

〇・一

杏仁水

一〇・〇

右一日數回六滴宛

二、大楓子油

五・〇

右入膠囊一日三回分服漸次増加一五・〇

〇ニ至リ持長ス可シ

縮水

一五・〇

右爲點耳料(一日六回)

○急性外聽道炎及耳癬

一、白降汞

らのりん

わぜりん

右たんほん川

二・〇

二五・〇

二五・〇

三、ばるまん

らのりん

わぜりん

右たんほん川

〇・五

各五・〇

二、白降汞

蕒若越幾斯

わぜりん

右たんほん川

一・〇

〇・五

二五・〇

四、えたいのきしーる

乳糖

右分三包一日分

一・〇一・五

〇・五

○慢性外聽道炎

一、ちくろふおるむ軟膏

右たんほんニ塗布外聽道ニ插入(鎮瘡)

二、亞鉛華泥

川)

三、さりちる酸

らのりん

右たんほん川

〇・五

一〇・〇

四、昇汞

酒精

右外聽道清拭川

〇・一

一〇・〇

○耳 茸

一、酒精

蒸餾水

右一日一回點耳十五分間持續

一〇・〇乃至二〇・〇

二〇・〇乃至一〇・〇

二、硼酸末

右耳内吹粉

○鼓膜炎

A急性鼓膜炎

一、鹽化あざりなりん

處方集

一・〇

鹽酸こかいん

淨水

一・〇

五・〇

右綿花ニ浸シ鼓膜面ニ壓抵

二、石炭酸

ぐりせりん

一・〇
二〇・〇

右一日一回點耳料

三、〇・五%あるぞーる

二〇〇・〇

右耳部褻法料毎二時交換

四、二%ばるまん溶液

右同様

B 慢性鼓膜炎

一、鉛糖

〇・一五

安息阿片丁幾

二〇〇滴

餽水

四〇・〇

右一日三回毎十滴點耳

二、硫酸亞鉛

〇・四

煨製明礬

餽水

〇・四
四〇・〇

右耳清淨後點耳

三、結晶くろーむ酸

右消息子ニ附シ肉芽腐蝕後二%食鹽水

ニテ中和

C 鼓膜瀾濁

ぐりせりん

一〇〇・〇

よーざかりうむ

一〇〇

よーざ

〇〇・一

右鼓膜面ニ塗布

○中耳加答兒

一、よちおん

五・〇

くろろふおるむ

一・〇

阿列布油

四四・〇

右小たんほんトナシ外聽道ニ插入二時

○中耳炎

A 急性中耳炎

一、一〇%鹽酸こかいん液

一〇〇・〇

一〇〇〇倍鹽化あざれなりん

二・〇

右點耳料

二、一〇%のほかいん液

一〇〇・〇

右點耳料

處方集

三、おたるがん Otalgan

(主劑・阿片ノ無水ぐりせりん越幾斯)

右たんほん料トシテ外聽道ニ插入本劑

モ亦時トシテ疼痛ヲ緩和ス

四、鹽酸こかいん

一一・〇

めんミール

一一・〇

處方集

石炭酸

〇・五

酒精

一〇〇〇

本處方ハ鼓膜穿孔ニ際シ局所麻醉ノ目的ニモ用ヒラル

五、えたいのきしーる

一〇一・五

乳糖

〇・五

右分三一包ヅツ

B 慢性化膿性中耳炎

一、硼酸粉末

一〇〇

明礬末

一〇〇乃至三〇〇

右混和爲鼓室撒布料

二、硼酸末

右穿孔大ナル慢性中耳炎ノ外聽道ニ充填(ジーベンマン氏療法)

二八〇

三、硼酸粉末

澱粉

各一〇〇

べーたIIなふこーる

〇・一

右混和爲鼓室撒布料

四、硼酸粉末

八〇〇

酸化亞鉛

四〇〇

澱粉

八〇〇

右混和鼓室撒布料

五、硼酸粉末

八〇〇

きせろほるむ

二〇〇

右爲鼓室撒布料

六、硼酸

二〇〇

無水あるこほーる

蒸餾水

各五〇〇

右混和一日一回十五滴點耳

七、れぞるちん

四〇〇

酒精

四〇〇

殺菌水

六〇〇

右爲點耳料

八、沃度仿留謨

一〇〇

偲里設林

六五〇

蒸餾水

二五〇

達拉侃篤護謨

〇・一

右混和爲點耳料(使用ニ際シ能ク攪拌

振盪スベシ)

純沃度

〇・一乃至〇・二

九、沃度加里

一〇〇

偲里設林

五〇〇

處方集

右朝夕二回十滴ヅツ點耳

二〇、醋酸鉛

〇・二

蒸餾水

一〇〇

右爲點耳料

二、沃度兒

二〇〇

硼酸末

一〇〇

右混和爲鼓室撒布料

三、過酸化水素

五〇〇

餾水

一五〇乃至四五〇

耳洗料

三、一%りぞーる溶液

耳洗料

四、〇・二乃至〇・五%昇汞水

耳洗料

二八一

一五、殺菌水

ふおるまりん

耳洗料

一六、五百倍りばのーる溶液

耳洗用

一〇〇〇〇

三乃至四滴

一七、あるこほーる(八〇%)六五〇 } 60%

水 } 三五〇 } alcohol

右耳浴料

一八、ばるまん

右耳内撒布料

○聽神經炎

一、硝酸すこりきにーね

蒸餾水

〇・一

一〇〇〇

右一日一回頭部皮下ニ注射シ最初1/4筒
ヨリ漸次増量1/4筒ニ至リテ止ム(連用
八乃至一〇回)

○耳硬化症

二、鹽酸びろかるびん

〇・〇一(小兒〇・〇〇一乃至〇・〇〇二五)

右注射發汗セシム

禁忌 老人、呼吸系循環系諸疾患

〔内川〕

一、燐

肝油

〇・〇一

一〇〇〇〇

右混和一日二回半食匙ツツ服用(ジ―

ペンマン氏)

二、沃度那篤留謨

苦味丁幾

一・〇

二・〇

餽水

一〇〇〇〇

右一日三回分服(ポリチエール氏)

三、沃剝

臭剝

苦丁

〇・八

二・〇

一・〇

餽水

右一日三回分服

一〇〇〇〇

四、ふるふろりじん

掘里設林

一・〇

一・〇

殺菌水

右毎日一筒皮下注射

一〇〇〇

五、ちおぢなみん

あんちぴりん

一五・〇

五・〇

殺菌水

右加溫溶解隔日一回皮下注射(當初半
筒漸次増加一筒ニ至ル)

一〇〇〇〇

第四節 鼻科的處方

○急性並慢性鼻加答兒(第二節參照)

甲介ノ肥厚

- 一、1、五%のほかいん水
- 2、五千倍鹽化あざりなりん
- 3、五%ぶろたるごーる

布

- 二、まぐねしん
- 右123ノ順序ニ肥厚セル鼻粘膜ニ塗
- 右下甲介粘膜下ニ注射
- 一・〇乃至二・〇

○削瘦性鼻炎

一〇%食鹽水

二・五

右無痛狀態トナセル鼻粘膜下ニ注射

○乾燥性前鼻炎

一、白降汞

〇・二

二、硝蒼

〇・五

華攝林

華攝林

刺納林

刺納林

各五・〇

各五・〇

右塗布料

右塗擦料

○副鼻腔疾患

全身症狀ニ關スル療法ハ急性並慢性鼻加

答兒ニ準ズ

一、二%硼酸水

右副鼻腔洗滌川

二、〇・八%生理的食鹽水

同上

三、五百倍りばのーる溶液

同上

四、〇・二%過まんがん酸加里液

同上

五、五%おきしふる溶液

同上

○嗅覺脱失

一、硝酸すこりきにーね

〇・〇〇五

右鼻内吹粉川

澱粉

〇・一

○血管神經性鼻感冒

- 一、一〇%のほかいん溶液
右鼻粘膜ニ塗布
- 二、臭剝
繙草丁幾

三・〇
二・〇

單舎
淨水
右一日分一日三回食後分服

五・〇
一〇〇・〇

○枯草熱、枯草喘息、秋季加答兒

- 一、ほらんちん
- 二、ぐらみのーる

三、よーごちりん(或ハちれおよぢん)

○衄 血(救急療法参照)

- 一、結晶くろーむ酸
右鼻内出血點腐蝕川
- 二、一〇%けらちん溶液
右一日三回分服

一〇〇・〇

三、五%麥角浸
鹽化あざりなりん
右一日五六回ニ分服

一〇〇・〇
一五乃至二〇滴

四、ふえろびりん
右一日三回分服

一八・〇乃至二〇・〇

縮水

右鼻内塗布

一〇〇・〇

六、明 礬 末

ころふおにうむ末

各一〇・〇

五、おきしふる

一〇・〇

あらびあごむ末

鹽化あざりなりん

一・〇

右鼻内吹入

右鼻内塗布又ハ栓塞用

第五節 咽喉科學處方

○加答兒性疾患並安魏那

- 一、一、二%鹽酸こかいん水
 - 二、五千倍鹽化あざりなりん
 - 三、五%ぶろたるごーる
- 右123ノ順序ニテ三日間毎日二乃至三回塗布
- 一、あすびりん

一・五

乳糖

〇・五

右一日分一日三回分服

三、あるぞーる(又ハあるみぞーる)

一一・〇乃至四・〇

淨水

四〇〇・〇

右含嗽料

- 四、あるてあ根煎(一〇〇〇) 二〇〇〇〇
阿片丁幾 十五滴
- 右含嗽料
- 五、さりちーる酸 一〇〇
鹽剝 二〇〇
炭酸なこりうむ 〇・五
常水 三〇〇〇〇
- 右含嗽料
- 六、ざりぴりん 〇・五乃至一〇
右爲一包一日三回一包宛
- 七、石灰水 二〇〇〇〇

○連鎖球菌性咽頭熱性病

一、抗連鎖球菌血清

二〇〇〇

右三四日間毎日皮下注射

- 八、過まんがん酸かりうむ 〇・一
常水 四〇〇〇〇
- 右含嗽料
- 九、硼酸 六〇〇
常水 三〇〇〇〇
- 右含嗽料
- 一〇、おきしふる 四〇〇〇
硼酸 八〇〇
常水 三六〇〇〇
- 右含嗽料

○扁桃腺周圍膿瘍

- 一、癩瘡木丁幾 一〇〇〇
右滴瓶ニ入レ毎二時十滴ヲ水約一〇珩
ニ滴下シテ内服
- 二、鹽剝 一・五
癒瘡木丁幾 三十滴
苦味丁幾 二・〇

○口蓋帆竝ニ喉頭筋麻痺

- 一、硝酸すこりきにーね 〇・〇五
偲里設林 五〇〇
溜水 五〇〇

處方集

二八九

- 溜水 一五〇〇
右混和爲大人一日量一日五回分服
- 三、鹽剝 三・〇
溜水 二〇〇〇〇
右毎二時一食匙宛服用

右混和殺菌爲皮下注射料隔日一回半筒宛

○聲門水腫

(氣管切開ノ準備ヲ要シ試ニ吐劑ヲ與フ)

一、吐根浸

(二・〇)八〇・〇

吐酒石

〇・二

單舎

一〇・〇

右毎十五分二食匙ヲ與ヘ奏效スルマデ

○聲門痙攣

與フ

二、鹽酸あほもるひね

〇・〇一

餹水

一・〇

右新鮮溶液ヲ一筒注射

一、燐

〇・〇一

肝油

一〇〇・〇

右毎日一茶匙發作時

二、くろろふおるむ

五・〇乃至一〇・〇

右嗅入

三、えーてる

五・〇乃至一〇・〇

右嗅入

四、かみつれ浸(二〇・〇)

二〇〇・〇

阿魏

二・〇

右灌腸量(小兒ハ半量)

五、纈草浸(五・〇)

一〇〇・〇

阿魏

二・〇

○含嗽代用舐劑

同上

一、ふおるまみんご錠

二、こりふいんほんほん

○こかいん代用品

三、ばんふらざん(三共商店發賣)

一、ころばこかいん

二、べーた||おいかいん

三、すこわいん

四、ますいしん

五、あろかいん||えす

六、のほかいん

七、ばんかいん

八、ねおかいん

九、つこかいん

一〇、ありぴん

○鎮靜及鎮痛劑

一、ばんごほん

皮下注射トシテ用量通常〇・〇一乃至〇・

〇二

二、なるこほん

三、ぶろーむ水素酸すこほらみん

皮下注射トシテ一回ノ用量〇・〇〇〇五

乃至〇・〇〇一

イ、ぶろーむ水素酸すこほらみん

〇・〇〇〇三

鹽酸もるひね

〇・〇〇一

水

一・〇

右手術前二時間及一時間ニ皮下注射、

必要ニヨリテハ更ニ第三回注射ヲ施ス

ロ、ばんごほんニすこほらみん

處方例

ばんごほん

〇・〇四

ぶろーむ水素酸すこほらみん

〇・〇〇〇六

ハ、なるこほんニすこほらみん

處方例

なるこほん

〇・〇四

ぶろーむ水素酸すこほらみん

〇・〇〇〇六

手術前四十五分乃至一時間ニ之ガ〇・

五乃至〇・八ヲ注射ス

急性中耳炎ノ部

えたいのきしーる

一・〇一五

乳糖

〇・五

右分三包一日分

耳癩ノ部

らのりん

各二五〇

わぜりん

ばるまん

一・〇

右混和壓搾たんほん用

同

えたいのきしーる

一・〇一五

乳糖

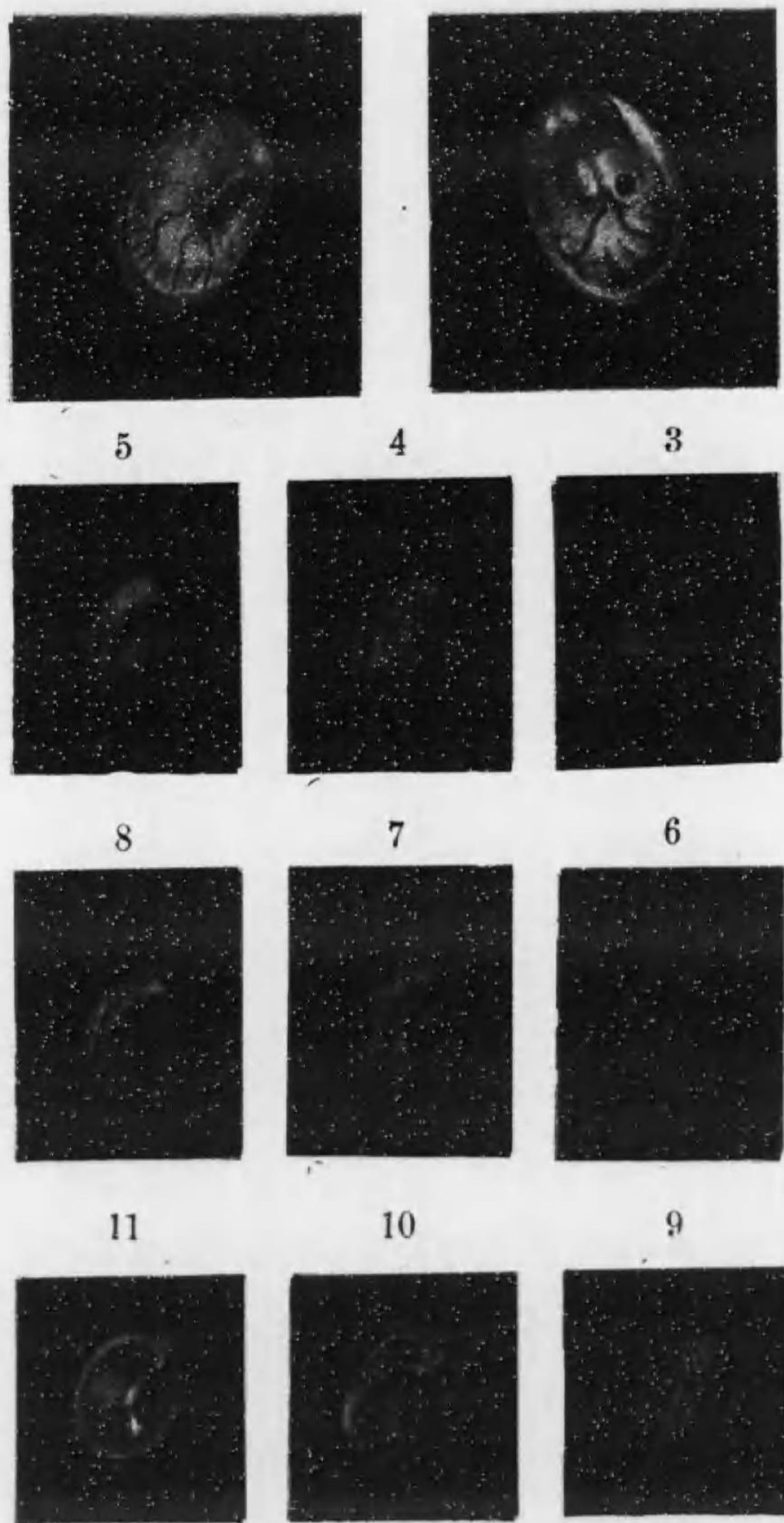
〇・五

右分三包一日分

第一圖 鼓膜所見圖

- 1、慢性化膿性中耳炎。鼓膜臍部ノ後方ニ於テ中心性小穿孔ヲ有シ、シユラプ子ル氏膜部ニ耳茸ヲ形成ス
- 2、急性化膿性中耳炎(自發的穿孔ヲ來サントスル直前ニシテ高度ノ膨隆ヲ來ス)。
- 3、急性化膿性中耳炎ノ良好ナル全經過。
- 3、第一日 髓骨後方ノ輕度膨隆ト鼓膜ノ發赤
- 4、第二日 膨隆ト發赤トノ增強
- 5、第三日 鼓膜膨隆後半部ニ互ル(鼓膜穿刺ヲ行ヘリ)
- 6、第四日 炎症減退ノ狀況ヲ呈ス
- 7、第六日 炎症頓ニ消退、光錘發現
- 8、第十二日 鼓膜殆ンド正常ニ外見シ穿刺創癒痕ヲ以テ癒合ス
- 9、結核性中耳炎。
- 10、鼓膜内陷。
- 11、正常鼓膜。

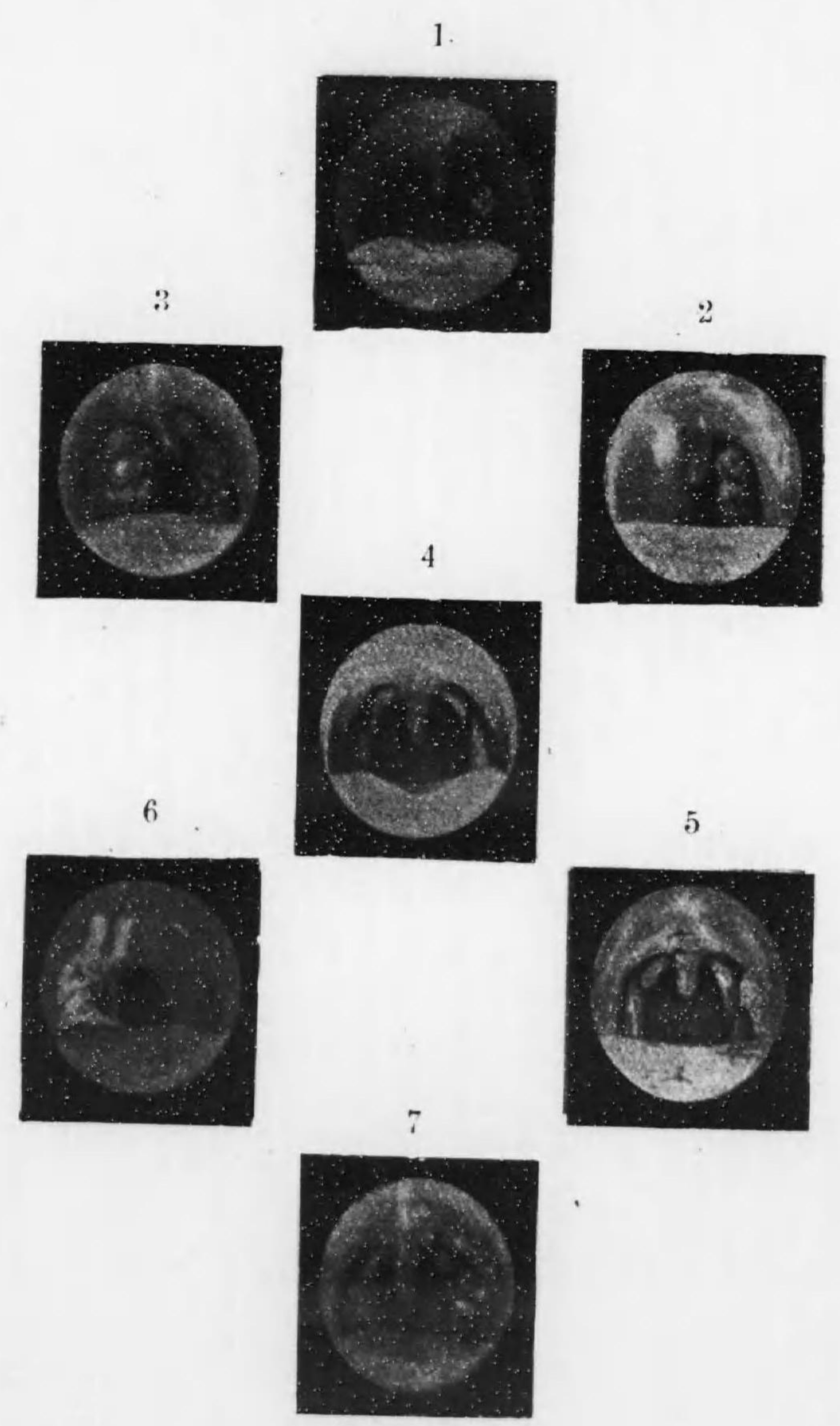
第一圖 鼓膜所見圖



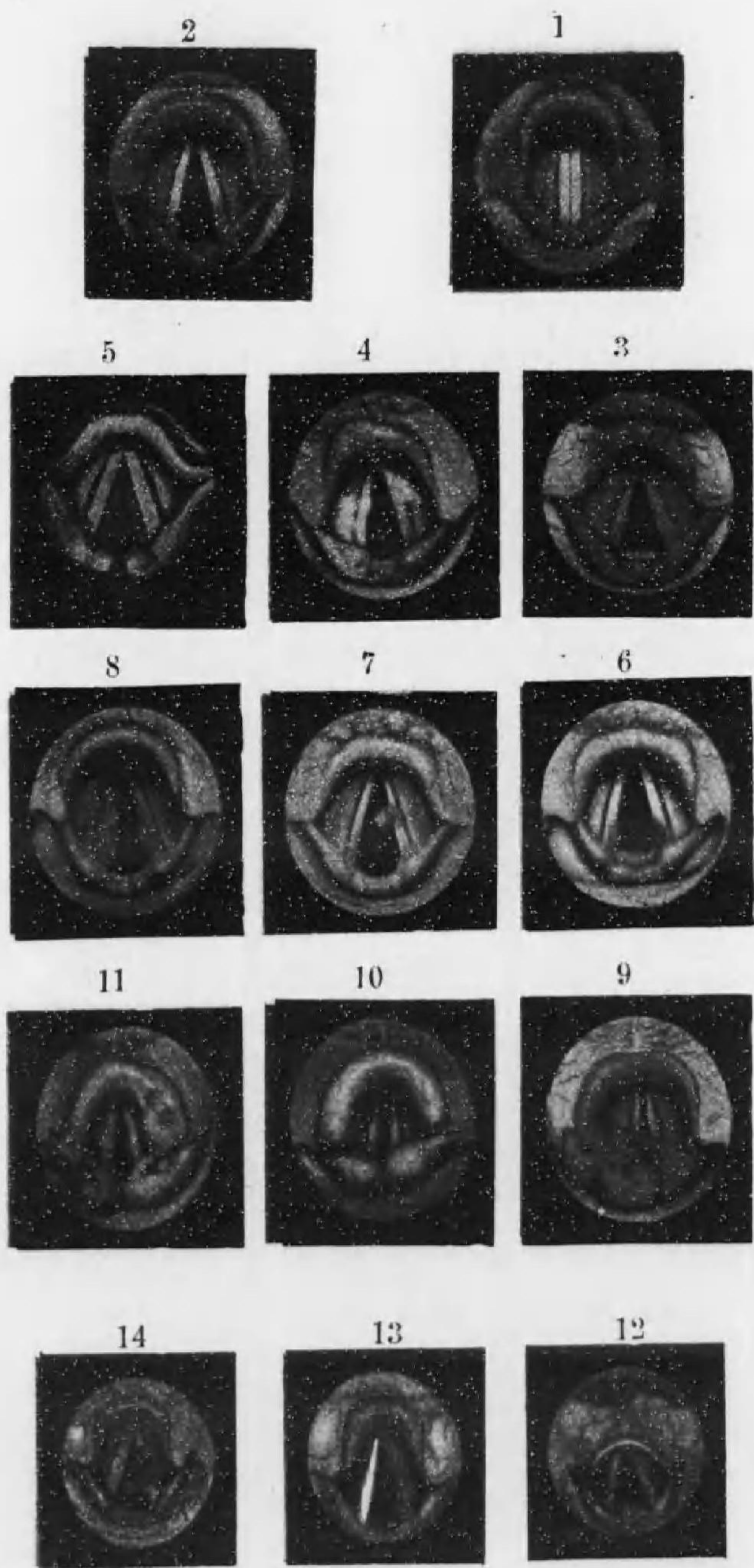
第二圖 咽頭諸疾患

- 1、ヴァンサン氏あんぎーな及其附近ニ於ケル急性咽頭炎。
- 2、(右側)扁桃腺周圍膿瘍。
- 3、(右側)濾胞性あんぎーな、(左側)扁桃腺膿瘍。
- 4、慢性顆粒性咽頭炎。
- 5、咽頭狼瘡。
- 6、咽頭微毒ニ因ル瘢痕狹窄。
- 7、左側扁桃腺癌腫。

第二圖 咽頭諸疾患



第三圖
喉頭所見圖



第三圖 喉頭所見圖

- 1、正常喉頭像、
(發聲時)。
- 2、同上、
(呼吸時)。
- 3、急性喉頭加答兒。
- 4、喉頭實扶的里。
- 5、慢性聲帶下喉頭炎。
- 6、慢性喉頭炎(鞏皮症ヲ合併)。
- 7、聲帶茸腫(纖維腫)。
- 8、喉頭ノ葡萄狀乳嘴腫。
- 9、下咽頭及喉頭入口部ノ癌腫。
- 10、喉頭結核、(會厭軟骨及披裂軟骨骨膜炎)。
- 11、喉頭結核、(聲帶潰瘍及會厭軟骨、披裂軟骨、披裂會厭皺襞ノ潰瘍、肉芽腫浸潤及軟骨膜炎)。
- 12、喉頭結核、(披裂軟骨間部即喉頭後壁ノ結核性組織增殖)。
- 13、喉頭結核、(左聲帶ノ浸潤潰瘍)。
- 14、左假聲帶乳嘴腫。

索引 (五十音順)

ア

あ	あくちのみこーぜ……………	70.262
	あすびりん……………	287
	あてろーむ……………	80
	あでのいど＝腺様増殖症	
	あなぶとーる＝げらちん……………	213
	あふてん……………	137.262
	ありびん……………	292
	あるぞーる……………	61.288.215
	あるみぞーる……………	57.288
	あんぎーな＝安魏那	
	あんちふおん……………	147
悪	悪臭アル耳漏……………	87
	悪臭アル鼻……………	71.82
壓	壓榨たんぽん……………	56.88.179
	壓痛	
	——, 耳後……………	100
	——, 耳翼……………	3
安	安魏那(あんぎーな)……………	131.133.287
鞞	鞞法……………	231
鞍	鞍鼻……………	73

イ[井]

- い いひちおーる……………55
 いまみこーる……………268
 いんつばちおん=挿管法
 いんふるえんざ, 上氣道ノ……………68.261
 ——性中耳炎……………98
 異 異物, 耳ノ……………8.87.171.216
 ——, 上氣道ノ……………46.121.138.145.216.217
 萎 萎縮性咽頭炎……………141
 ——鼻炎(削瘦性鼻炎)……………257
 咽 咽後膿瘍……………136.205
 咽頭異物=異物. 上氣道ノ
 咽頭炎=上氣道ノ加答兒性炎
 咽頭加答兒……………58.247.254
 ——, 急性……………58.134
 ——, 慢性……………52
 咽頭角化症……………143
 咽頭結核……………74
 咽頭側索炎……………134
 咽頭丹毒……………134
 咽頭黴毒……………72
 咽頭扁桃腺増殖症=腺様増殖症
 咽頭扁桃腺ノ手術……………203.204
 咽頭狼瘡……………74

ウ

- ウ ヴエーベル氏法……………13
 ヴアルザルバ氏法……………169
 ヴキリス氏錯聴……………111
 ヴ ゴアンサン氏安魏那……………132
 う うちん……………187
 運動性失語症……………101

エ

- え えそふいらきしー……………59
 えたいのきしーる……………277.280
 會 會厭軟骨囊腫……………80
 會 會厭軟骨膜炎……………139
 嚥 嚥下痛及嚥下困難……………138
 嚥 鹽剝……………289
 嚥 鹽酸あほもるひれ……………290

オ[ヲ]

- お おいちうむ=あるびかんす……………71
 おきしふる……………287
 おたるがん……………280
 おつえーな……………71.263
 おとすこーぶ……………168
 おるとふおるむ……………273
 おるふわくとめーとる……………38
 オ ドロイヤー氏喉頭挿管法……………206.207
 歐 歐氏管狹窄……………168.170

	歐氏管通氣法	165
	歐氏管ふじー	170
横	横筋麻痺	155
	横走披裂筋=横筋	
	横竇血栓炎	102
	音叉	10
温	温性眼振	25
	——ニ因ル偽聾看破法	28

カ

か	かてーてる挿入法	166
	ガルトン笛	10
下	下氣管切開術	209
	下氣管直達検査法	51
	下行性加答兒	58
	下喉頭神經麻痺=廻歸神經麻痺	
	下甲介切除術	163.193
火	火傷	58
化	化膿性急性中耳炎	96.279
	化膿性慢性中耳炎	96.280
加	加答兒性安魏那	132
	加答兒性咽頭炎	58.247.254
顆	顆粒性咽頭炎	141
鷺	鷺口瘡	71.263
介	介達の喉頭検査法	40
	介達の鼓膜穿孔	113

懷	懷中時計	19
廻	廻歸神經麻痺	154.156
	廻轉性眼球振盪	25
外	外耳ノ疾患	83
	外聽道異物	8.216
	外聽道炎	88.165.276.277
	外聽道上棘	186
	外聽道眞珠腫	85
	外傷,鼓膜ノ	82.113
	——,外耳ノ	111
咳	咳嗽	275
角	角化症=咽頭角化症	
感	感冒	58
乾	乾燥性前鼻炎	117.284
	乾燥性中耳加答兒	95
	乾燥性咽頭加答兒	141
	——性喉頭炎	257
環	環狀甲狀筋麻痺	152
眼	眼振	23
	——,温性	25
	——,廻轉性	25
	——,自發的	24
	——,電流性	25
痛	癌腫	81
顔	顔面神經麻痺	103.188
	顔面神經損傷	189
含	含嗽料處方	288.291

蝦	蝦蟇腫	80
キ		
キ	キーゼルバハ氏部位	180.211
	——噴霧器	178
	キリアン氏喉頭検査位	45
	——氏根治手術法	200
	——氏中鼻鏡	33
	キリアン=プリューニングス氏鉗子	206.207
き	きせろふおるむ	281
	きにーれ中毒	108
	気管異物	217
氣	気管くるーぶ	54
	気管狭窄	146
	気管切開術	208
	気管挿管法=いんつばちおん	
	気導ノ検査	11
畸	畸形, 外耳ノ	83
偽	偽聾看破法	27
急	急性咽頭加答兒	58
	急性副鼻腔炎	122
	急性單純性中耳炎	96.279
	急性化膿性中耳炎	98.279
	急性中耳加答兒	95
	急性乳嘴突起炎	99.181.185
	急性喉頭加答兒	59.249
吸	吸引療法	97.181

球	球性喉頭麻痺	152
嗅	嗅覺検査法	38
	嗅覺脱失	126.285
	嗅覺計	38
恐	恐水病	147
狭	狭窄, 歐氏管ノ	168
	——, 咽頭ノ	73
	——, 喉頭ノ	73
	狭窄性雑音	168
棘	棘	119
逆	逆リン子氏法	16
均	均衡障碍	21

ク

ク	クラウゼ氏下鼻道穿刺法	196
	——氏噴霧器	175.177
	グラツエル氏鑷鏡	37
く	くりそるがん	272
	くろーむ酸腐蝕法	173.180.211
	くろーるかるちうむ	214
偶	偶發的眼振=自發的眼振	
擴	擴大喉頭鏡	41
	擴大性蓄膿症	125

ケ

ケ	ケルチル氏上皮成形術	190.191
---	------------	---------

	ゲラチン	213	
頸 血	頸靜脈炎	103	
	血管神經性鼻感冒	126	
	血管腫	80	
	血清療法	66.133.134	
	血腫, 耳ノ	112	
	——, 鼻中隔ノ	120	
	結核, 上氣道ノ	74.118.149.271	
	——, 聽器ノ	99	
	結核性鼻中隔穿孔	118	
	結石, 扁桃腺ノ	142	
結 懸 檢 喧 捲 言 眩 限	懸垂喉頭検査法	50	
	檢鼻法	29	
	喧嘩ニヨル鼓膜ノ披裂	92.113	
	捲綿子	171.172	
	言語ニヨル聽力検査	16	
	眩暈	175	
	限局性外聽道炎	56	
	コ		
	コ	コールドウエル＝リユーク氏手術	198
		コプリク斑	67
ゴットスタイン氏捲綿子		176	
ゴットスタイン氏栓塞		265	
こあぐれーん		214	
ごにおめーたー		22	
こかいん中毒		218	

こ	こりふいん	272
	こりふいんぼんぼん	291
呼	呼吸困難	66.143.216
	呼吸斑	37
枯	枯草熱及ビ枯草喘息	127.286
	鼓膜ノ正常所見	3.5
鼓	鼓膜ノ臨牀的區分	6
	鼓膜ノ病的所見	90
	鼓膜炎	94.278
	鼓膜外傷	92
	鼓膜成形術	173
	鼓膜穿孔	7, 8.91
	鼓膜臍	6
	鼓膜穿刺術	97.164.183
	鼓膜破裂	169
	蝴蝶竇炎	124.201
口	口蓋高舉	131
	口蓋帆麻痺	389
	口蓋扁桃腺肥大	130
	——ノ手術	202.203.215
甲	甲介切除術	163.193.194
	甲状軟骨舉上器	44
光	光錐	5.6
	光錐ノ移動	91
	光源	2
	廣	廣汎性咽頭炎
硬	硬腦膜炎	102

- 絞 絞断器・耳用……………89.182
 ——,鼻用……………192
- 抗 抗連鎖球菌血清……………289
- 喉 喉頭狭窄……………73
 喉頭異物……………217
 喉頭加答兒……………256
 喉頭鏡……………40
 喉頭鞏皮症……………149
 喉頭筋痙攣……………147
 喉頭筋麻痺……………155.389
 喉頭卷綿子……………177
 喉頭検査法……………40
 喉頭結核……………74.139
 喉頭ちふてりあ……………144
 喉頭注入法……………179
 喉頭腫瘍……………139.145
 喉頭軟骨膜炎……………75.139
 喉頭ぼりーぶ……………80.148
- 後 後筋麻痺……………155
 後鼻鏡検査法……………32.34
- 骨 骨導検査法……………12
 骨導ト氣導トノ比較検査=リン子氏法
- 根 根治手術・耳ノ……………188
 ——,上顎竇ノ……………197

サ

さるばるさん……………266.267

シ

- シ ヨミット氏探膿針……………195.196
 ——氏噴吹粉器……………178
 シュラプ子ル氏膜(弛緩膜)……………5.6
 ——ノ穿孔……………7
 シュワルツエー氏手術……………185
 ——氏腱切断刀……………185
 シュワーマハ氏法……………14
 シエグル氏通氣漏斗……………4.181
 ジーベンマン氏療法……………280
 シアクソン氏直達鏡……………47.48.51
 ジーエレー氏試験法……………14
 シツク氏反應……………64
- 屍 屍體位置(聲帯ノ)……………156
- 指 指甲……………35.36
- 叫 叫語……………16
- 試 試驗的上顎竇穿刺……………197
 試驗的眼振……………25
- 篩 篩骨蜂窠炎……………198
 篩狀鼓膜……………92
- 耳 耳海綿様變性=耳硬化症
 耳鏡……………4
 耳鏡検査法……………3
 耳硬化症……………180.283
 耳血腫……………112

- 耳後腫脹……………3.100
 耳茸……………89.182.277
 耳性頭蓋內合併症……………101
 耳性下垂咽後膿瘍……………137
 耳性靜脈竇炎……………103
 耳性腦膿瘍……………101
 耳清淨法……………172
 耳癬……………56.88
 耳洗法……………171
 耳洗水銃……………171
 耳痛……………96
 耳鳴……………94.106
 耳浴法……………172
 耳翼火傷……………84
 耳翼外傷……………84
 耳翼丹毒……………55
 耳翼凍瘡及凍傷……………57
 耳翼濕疹……………54
 耳漏……………87
 自聲強聽(自家強聽)……………14
 自發性眼振……………23.24
 濕疹……………54.165.224
 手術三角部……………186
 腫瘍……………79.81.145.148
 酒渣鼻……………56.238
 出血ニ對スル應急處置……………211,212

濕
手
腫
酒
出

- 出血性中隔茸腫……………80
 秋季加答兒……………127
 充血,鼓膜ノ……………90
 ——,迷路ノ……………105
 ——,上氣道粘膜ノ……………60
 衄血……………180.211.286
 削瘦性咽頭炎……………141
 削瘦性鼻炎……………71.263.284
 小腦膿瘍……………102.120
 小兒ノ咽後膿瘍……………205
 唱者結節……………149
 硝酸銀棒……………180
 猩紅熱……………68.260
 猩紅熱性中耳炎……………98
 ——性咽頭炎……………260
 燒灼子……………210
 硝酸すとりきに一枚……………282.286.289
 上顎竇炎……………123
 上鼓室化膿……………7.97.172
 上鼓室管……………173
 上咽頭檢查法……………34
 上喉頭神經麻痺……………152
 上氣管直達鏡檢查法……………51
 上氣管切開術……………209
 上行性加答兒……………58
 靜止機能……………21
 靜脈竇炎……………101

靜

食	食道異物	217
	食道炎	139
職	職業的難聴	111
眞	眞性臭鼻症	71.263
	眞珠腫	85
進	進行性迷路性難聴	109
人	人工鼓膜	173

ス

ス	スタッカー氏手術	188
	——氏顔面神経保護器	189.190
	すとりとーる=喘鳴	
	すふれー	177
水	水銀療法	266.270
吹	吹粉法	178

セ

セ	ゼモン=ローゼンバハ氏法則	150.155
成	成形術	190
清	清浄法	175
嘶	嘶嘎	76.148.150
聲	聲帯筋麻痺=内筋麻痺	
	聲帯ほりーぶ=喉頭ほりーぶ	
	聲門水腫	139.144.290
	聲門痙攣	147.290

切	切除術.下甲介ノ	163.193
	——,鼻中隔ノ	119
	——,中甲介ノ	194
	——,扁桃腺ノ	164.202
櫛	櫛	119
癩	癩,耳	56.88.233.276
	——,鼻入口	56.233
顫	顫顫線	186
舌	舌壓子	33.34
	舌扁桃腺肥大	121
先	先天性耳瘻孔	83
	——,外聽道閉塞	85
穿	穿孔,鼓膜ノ	91
	——,口蓋ノ	73
	穿孔性中耳炎	96
	穿刺術(鼓膜)	183
洗	洗滌法,外聽道異物ノ	171
	——,鼻腔ノ	175
腺	腺様増殖症	130.203
潜	潜水夫病	106
纖	纖維腫	80
全	全鑿開術	188
	前頭竇炎	199
前	前鼻鏡検査法	29

ソ

そ	そぞよどーるなとりうむ	252
挿	挿管法	207
騒	騒鳴器	28
瘰	瘰癧	89
側	側筋麻痺	154
	側索炎	134
損	損傷	
	——, 顔面神経ノ	189
	——, 頭蓋底ノ	111

タ

た	たんぼん, 耳壓榨	56.265
	——, 鼻内	175.179.212
	——, ベロツク氏	212
	——, ゴットスタイン氏	176.265
大	大脳皮質性喉頭麻痺	151
	大楓子油	276
	代償性衄血	211
代	丹毒	55.134.231
丹	單純性中耳炎	96
單	對壓喉頭検査法	49
對	體位均衡障礙	21
體		

チ

ち	ちおちなみん	283
	ちくろふおるむ	272
	ちくろふおるむ軟膏	277
	ちのぞーる	139
	ちふてりあ=實扶的里	
弛	弛緩膜	5.6
	弛緩膜穿孔	7
	實扶的里	63.98.144.258
	實扶的里菌染色法	6.5
	實扶的里血清	66
聽	聽力検査法	9.10
	聽神經炎	108.282
	聽野	12
腸	腸窒扶斯性中耳炎	89
	腸窒扶斯性加答兒	69
蓄	蓄膿症	123
中	中咽頭検査法	32
	中甲介肥大	114
	中甲介切除術	194
	中樞性喉頭麻痺	151
	中耳炎	
	——, 結核性	99
	——, 猩紅熱性	98
	——, 眞珠腫性	97.188
	——, 化膿性	95

	——, 急性單純性	96
	——, 慢性	97
	中耳加答兒	94.180
	中耳根治手術	188
	中鼻鏡検査法	32
注	注意不能症	131
	注入法	169
	直達鏡検査法, 喉頭ノ	46.179
	——, 食道ノ	53
	——, 氣管ノ	51

ツ

ツ	ツアールデマーケル氏嗅覺計	38
	つとかいん	162.292
髓	髓骨摘出術	184
	髓骨柄	5.6
通	通氣法	166
	通氣度計	37
	通氣漏斗	4
頭	頭蓋内合併症	104

テ

テ	デルスタンシ氏鼓膜按摩器	188
	デンケル和辻式手術	197
	デンチ氏手術法	192
町	町疔栓塞	86.171
	町疔水	276
蹄	蹄係, 耳用(ワイルド氏)	182

	——, 鼻用(クラウゼー氏)	192
點	點耳法	172
天	天疱瘡	69
顛	顛倒角度計	22
電	電氣性眼球振盪	25
	電氣燒灼法	209
	電氣徹照法	38

ト

ト	トラウトマン氏耳鏡	4
	トルンワルド氏病	142
塗	塗布法	176
	塗擦療法	266.270
痘	痘瘡	69
凍	凍瘡	57
	凍傷	57.241
特	特發衄血	211
	特發性中隔穿孔	117

ナ

な	なるこぼん製劑	292
内	内筋麻痺	154
	内耳炎	106
	内耳ノ血行異常	105
軟	軟口蓋麻痺	152

二

に	にすたぐむす=眼振	
乳	乳嘴腫	80
	乳嘴突起炎	99
	乳嘴突起鑿開術	185.188
	乳嘴突起部ノ腫脹	100
肉	肉腫	82

子

粘	粘膜下有窓切除法	119
---	----------	-----

ノ

腦	膿瘍	101
膿	膿瘍	
	——, 咽後	136.205
	——, 扁桃腺周圍	136.204
	——, 耳周圍	100.186
囊	囊腫	80.81

ハ

ハ	ハイマン氏剪	193
	ハルトマン氏捲綿子	176.177.193
	——氏鼻鏡	30
	パン子ンスチール氏療法	77.273
	ばるまん	215.278.282

	ばるまん軟膏	277
	ばんふらぶいん	290
	ばんとぼん製劑	292
	ばんとすたーと	209
馬	馬鼻疽	70.261
黴	黴毒, 上氣道ノ	72.118.149.565
	黴毒性耳炎:	99.107
白	白聖膠=げらちん	
	白降汞軟膏	277
薄	薄荷腦=めんとーる	
發	發汗療法	243
反	反射鏡	2

ヒ

ひ	ひおつえーれ	125
	ひすてりー性暗啞	151
	ひすてりー性喉頭麻痺	151
	ひどろつえーれ	125
	びろかるびん	108
	ひのりん	262
皮	皮膚丹毒	55.231
披	披裂軟骨交錯	156.157
肥	肥厚性鼻炎	114
	肥厚性喉頭炎	141
	肥大, 扁桃腺ノ	129
鼻	鼻咽頭加答兒	245
	鼻咽腔纖維腫	81

	ベロツク氏栓塞	212
	べーたなふとーる	280
	へのぼち油難聴	108
	へるべす	138
	べるきしーる=なきしふる	
表	表皮栓塞	85
扁	扁桃腺全摘出術	163.202.215
	扁桃腺結石	142
	扁桃腺切除術	142.202.215
	扁桃腺周囲膿瘍	136.204.289
	扁桃腺周囲刀	205
	扁桃腺栓子	142
	扁桃腺刀	203
	扁桃腺炎	131
	扁桃腺肥大症	129
	——, 咽頭	130
	——, 嚥	130
	——, 舌	131

ホ

ホ	ポリツエル氏球	170.167(第四十七圖左)
	——氏聽力計	9.19
	——氏通氣法	170
	ほりーぶ, (聲帯)	80.148
	——, 鼻腔ノ	89.120
補	補聽器	173
膨	膨隆(鼓膜ノ)	91

硼	硼酸末	280.281
---	-----	---------

マ

マ	マツチュー氏扁桃腺刀	202.203
---	------------	---------

	マツケンヂー氏扁桃腺刀	202.203
--	-------------	---------

ま	まぐねじん	284
---	-------	-----

	まつさーじ	180
--	-------	-----

麻	麻疹	67
---	----	----

	麻疹中耳炎	98
--	-------	----

	麻痺, 喉頭筋	151
--	---------	-----

	——, 廻歸神經	153
--	----------	-----

	——, 顔面神經	103
--	----------	-----

	——, 實扶的里後	152
--	-----------	-----

慢	慢性中耳炎	96.280
---	-------	--------

	慢性咽頭炎	62.254
--	-------	--------

	慢性喉頭炎	62.256
--	-------	--------

	慢性鼻炎	2
--	------	---

	慢性中耳加答兒	95
--	---------	----

ミ

耳	耳(ジノ部)	
---	--------	--

ム

む	むこつえーれ	125
---	--------	-----

	無疹猩紅熱	68
--	-------	----

	むるとすたーと	209
--	---------	-----

メ

鼻炎急性	284
——,慢性	284
鼻鏡	30
鼻鏡検査法	28
鼻硬化症	79
鼻茸	89.120
鼻茸絞断法	89
鼻性注意不能症	128
鼻石	121
鼻洗法	175
鼻中隔穿孔	117
鼻中隔血腫	120
鼻中隔粘膜下切除術	194
鼻中隔彎曲症	119.194
鼻内異物	121.216
鼻内癒著症	119.195
鼻黴毒	118
鼻癢	69
鼻癩	78
鼻瘤	56
鼻狼瘡	55
瀰漫性外聽道炎	88

瀰

フ

フリードライヒ=デンケル=デンケル	
フレンケル氏舌壓子	33

——,氏鉗子	206
——,氏鼻鏡	30
——,氏法	123
ブリューニングス氏擴大喉頭鏡	40.41
——氏舌壓子	34
——氏直達鏡	47.50
プロ=ヴァンサン氏安魏那	132
ふ	
ふれんける氏鼻鏡	30
ふいぶろりじん	283
ふえろびりん	287
ふおるまりん	282
ふおるまみんと鏡	291
ふおるまん	246
ふおるみだいん	
ふーじー	170
副	
副鼻腔炎	121.285
噴	
噴嚏	127.177
噴霧器	175
分	
分葉肥大	115
へ	
ヘーリング氏徹照電燈	39
ベツクマン氏剪	194
ベツオールド氏乳嘴突起炎	100.186
ベルツ水	242
ペレー氏桿菌	72

	ペロツク氏栓塞	212
	ペーたなふとーる	280
	へのぼち油難聴	108
	へるべす	138
	へるきしーる=なきしふる	
表	表皮栓塞	85
扁	扁桃腺全摘出術	163.202.215
	扁桃腺結石	142
	扁桃腺切除術	142.202.215
	扁桃腺周圍膿瘍	136.204.289
	扁桃腺周圍刀	205
	扁桃腺栓子	142
	扁桃腺刀	203
	扁桃腺炎	131
	扁桃腺肥大症	129
	——, 咽頭	130
	——, 嚙	130
	——, 舌	131

ホ

ホ	ポリツエル氏球	170.167(第四十七圖左)
	——氏聽力計	9.19
	——氏通氣法	170
	ぼりーぶ, (聲帯)	80.148
	——, 鼻腔ノ	89.120
補	補聽器	173
膨	膨隆(鼓膜ノ)	91

硼	硼酸末	280.281
---	-----	---------

マ

マ	マツチュー氏扁桃腺刀	202.203
	マツケンヂー氏扁桃腺刀	202.203
ま	まぐれじん	284
	まつさーじ	180
麻	麻疹	67
	麻疹中耳炎	98
	麻痹, 喉頭筋	151
	——, 廻歸神經	153
	——, 顔面神經	103
	——, 實扶的里後	152
慢	慢性中耳炎	96.280
	慢性咽頭炎	62.254
	慢性喉頭炎	62.256
	慢性鼻炎	2
	慢性中耳加答兒	95

ミ

耳	耳(ジノ部)	
---	--------	--

ム

む	むこつえーれ	125
	無疹猩紅熱	68
	むるとすたーと	209

メ

メ	メニール氏症候	106
め	メントール	272
	めんとーる"おれーふ油	272
迷	迷路血栓成生	106
	迷路出血	106
	迷路振盪症	110
	迷路性眼振	23
	迷路性顛倒	23
	迷路性難聴	110
面	面疱	57.240

モ

モ	モルガニー氏竇翻轉症	149
毛	毛囊炎	56

ヤ

夜	夜驚	147
---	----	-----

ユ

ユ	ユースタキ氏管=歐氏管	
癒	癒著症, 鼻内	119
	癒著症剝離手術	196
	癒瘡木丁幾	289

ヨ

よ	よーどすたりん	270
	よーどわぞーげん	271

	よどーる	282
	よちおん	279
沃	沃度療法	270

ラ

ラ	ライヘルト氏甲狀軟骨擧上器	44
	ランゲンベツク氏指甲	35.36
癩	癩	78.276

リ

リ	リン子氏法	15
	りばのーる	159.187.284
梨	梨子状窩	197
麻	麻疾	69.261
輪	輪状力	204
燐	燐	290

ル

ル	ルプリンスキー氏甲狀軟骨擧上器	44
	ルーツエー氏かてーてる	166
	——氏耳鏡	4
	——氏壓迫消息子	180
	ルードウイヒ氏あんきなー	133
瘻	瘻孔徴候	26

レ

れ	れぞるちん	281
	れぶととりつくす"ぶつかーりす	143

- 連鎖球菌性咽頭熱性病……………134.289
 連鎖球菌血清……………133.134

□

- ロ ローゼンミュルレル氏窩……………35.167
 ロンベルグ氏現象……………22
 濾胞性安魏那……………132
 聾……………109
 蒼若越幾斯處方……………234.250.276
 老人性難聽……………109
 狼瘡……………55.271
 ——皮膚……………233

ワ

- ワ ワイルド氏耳用蹄係……………182
 ——氏耳鏡……………4
 ——切開……………100.186
 ワルダイエル氏扁桃腺輪……………83

大正十三年九月八日印刷
大正十三年九月廿一日發行

【正價金貳圓五拾錢】



耳鼻咽喉科
附典醫療診

著者 廣瀨 涉
著者 東海林 重信

發行者 永井 幸一郎
發行者 柴山 則常

印刷者 柴山 則常

發行所

東京市本郷區本富士町二番地
振替東京二七九八一・電小石川七七六七番
東京市本郷區新花町九十七番地
振替東京三八八四八・電小石川七六八七番

克誠堂書店
鳳鳴堂書店

東京市本郷區新花町九十七番地 電話小石川七七六七番
東京市本郷區本富士町二番地 電話小石川七六八七番
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
杏林舍 印刷所

291

797

終